

AURES 取扱説明書

お詫びと訂正

取扱説明書の記載内容に誤りがありましたのでお詫び申し上げます。正しくは下記のとおりです。

<取扱説明書149ページ>

■ Bluetooth を設定する 以下1行目より

誤	本機はスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと無線で繋がります。弊社提供のアプリケーションをスマートデバイスにインストールすると、本機をアプリケーションから操作したり、MIDIデータの送受信をすることができます。アプリケーションのご使用前に、下記の河合ホームページより各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。 http://www.kawai.jp/
正	本機はスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと無線で繋がります。本機をアプリケーションから操作したり、MIDIデータの送受信をすることができます。

<取扱説明書177ページ>

■ iPadについて ⇒

正	全文削除
---	------

<取扱説明書179ページ>

8. ATX3仕様

誤	鍵盤センサー	GP-IHSS (Grand Piano Integrated Hammer Sensing System) 非接触型光センサーシステム
正	鍵盤センサー	IHSS (Integrated Hammer Sensing System) 非接触型光センサーシステム

補 足

本機では、Pianist画面 / Sound画面それぞれで演奏曲を録音できますが、録音フォーマットは、下記の通りとなります。

録音（保存）先	Pianist画面での録音	Sound画面での録音
本体メモリー (インターナル録音モード)	MP3形式	内部フォーマット形式
USBメモリー (USB録音モード)		MP3形式 WAV形式

本機では、本体メモリーに録音（保存）した演奏曲をUSBメモリーへ保存する機能がございしますが（取扱説明書68ページ）、Pianist画面で本体メモリーに録音（保存）したMP3形式の演奏曲をUSBメモリーへ保存することはできません。

Pianist画面での演奏をUSBメモリーに録音（保存）するには、あらかじめUSBメモリーを本体に接続して、USBメモリーに直接演奏を録音してください。（取扱説明書92ページ）

KAWAI

AURES 取扱説明書

JA

AURESを楽しむ

演奏の準備

演奏を楽しむ前に

いろいろな演奏方法

いろいろな機能を楽しむ

演奏を録音・再生する

AURESを設定する

付録

このたびは、KAWAIハイブリッドアコースティックピアノAURESを
ご購入くださりまして、誠にありがとうございます。
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただくためにも、
この取扱説明書をよくお読みになり、
大切に保管してくださいませようお願い申し上げます。

はじめに

■ 取扱説明書について

取扱説明書では、AURESをすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録ではデモ曲一覧などの資料を見ることができます。

取扱説明書のカラー液晶タッチパネル(LCD)のイラストはバージョンによっては実機と異なる場合があります。

■ 本製品の特徴

高性能の響板スピーカーを搭載し、ピアノとしての機能とオーディオとしての楽しさを提供

“AURES”(オーレス)は、Audio(オーディオ)+Resonance(レゾナンス・共鳴)の造語です。アップライトピアノの響板に高性能の加振器を取り付けることにより、響板スピーカーというオーディオ機能が備わりました。音楽データや電子音を、響板特有の振動を活かした雄大な音の拡がりや音量感で楽しめます。

カワイが誇る最高のグランドピアノを最新の音源技術で再現

AURESの電子音は、タッチの強さにより滑らかに変化する音色とグランドピアノならではの音の拡がりを再現するマルチチャンネル方式の音源と、ピアノ特有の複雑で豊かな音の響き、共鳴音を創り出す新開発のモデリング技術を融合することで、グランドピアノで得られる演奏の心地良さ、タッチに対する優れた音のレスポンスを実現しました。

ヘッドホン機能

拡がり方の種類までも選択できる「スペシャルヘッドホンサウンド」や、使用するヘッドホンのタイプに適した音質を提供する「ヘッドホンタイプ」を搭載し、AURESには欠かせないヘッドホンの機能にもこだわりました。

スマートフォン感覚で操作ができる800×480dotカラー液晶タッチパネル

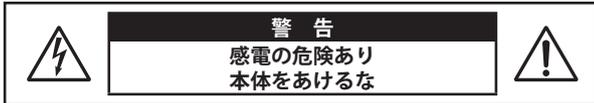
AURESは、スマートフォンのように操作ができるカラー液晶タッチパネルを搭載しています。5インチという大型画面に表示される画像と文字をタッチして、AURESの豊富な機能を直観的に操作することができます。また、演奏中に画面をOFFすることもできるため、アコースティックピアノの雰囲気をおろそかなく演奏することもできます。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、お子様の安全のために、保護者の方の管理の下、お子様に注意事項を守っていただきますようお願いいたします。

■ 製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないでください。



このマークは感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■ 警告と注意、記号表示について



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告



100V以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

- ・電圧の異なる電源を使用しないでください。
- ・発火の恐れがあります。
- ・付属のACアダプタを使用してください。



本機専用

付属のACアダプタは本機でのみ使用する

- ・付属のACアダプタ以外を本機で使用しないでください。
- ・付属のACアダプタおよびその電源コード部を他の機器で使用しないでください。



電源コードを熱器具に近付れたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



濡れた手で触らない

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



水がかかる場所で使用したり、水に濡らす(つける,かける,こぼす)などしない

漏電によって、感電や発火の原因になります。



照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない



異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。



落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

- ・怪我および破損の恐れがあります。
- ・運搬の際は、必ず2人以上で運んでください。



使用しない

イスは次のように使用しない

- イスで遊んだり、踏み台にしない
- イスには2人以上で座らない
- イスの高さ調節は、イスから降りて行う(調節機能付きの場合)
- イス組立時、ネジをしっかり締める
- ・イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。
- ・不安定な場所に置かないでください。
- ・長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



長時間使用禁止

ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。



分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

故障、感電、ショートの原因になります。



異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



プラグ部分を持つ

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
 - 戸外など極端に温度の低い場所
 - 極端に湿度の高い場所
 - 砂やホコリの多い場所
 - 振動の多い場所
- 故障の原因になります。

⚠ 注意



プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しないときは必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。



ゆっくりしめる

鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。



電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。



もたれない

本機の鍵盤にもたれない

本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。



他電気機器から離す

テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

- ・本機が雑音を発する恐れがあります。
- ・本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用ください。



からまないようにする

電源コード、接続コード類は本体で踏んだりからまないように接続する

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



電源プラグはすぐに抜くことができる状態にしておく

本機は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグはすぐに抜くことができる状態にしておいてください。



ベンジン/シンナー禁止

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

- ・色落ちや、変形の原因になります。
- ・清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いてください。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。



タッチパネルの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けない

傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押しついたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。



強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をタッチパネルに与えない

傷の発生や破損の原因となることがあります。



以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります

- 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - タッチパネルに水滴が付着または結露している状態での操作
- 誤動作の原因となりますのでご注意ください。



本製品は常にBluetooth®接続がスタンバイの状態になっているため、一度接続したお手持ちの機器側の自動再接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に再接続される場合があります。意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。



タッチパネルを乾いた布で擦らない

お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、タッチパネルに傷がつく場合があります。

ヘッドホン使用時は、構造上打鍵音が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

パネル上のディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用ください。

■ 保証書について

- 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
- 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。

■ Bluetooth®について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社河合楽器製作所はライセンスに基づき使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。
その他の商標または製品名は、一般に各所有権者が所有する登録商標あるいは商標です。
- 無線周波数帯2400～2483.5MHz, 最大送信出力2.5mw (BLE)、4.5mw (A2DP)
- * SCMS-T規格には対応していません。



目次

はじめに.....	3
安全上のご注意.....	4
目次.....	8

“AURES”

ピアノの新しい楽しみ方
オーディオとしてお使いいただくための
クイックガイド

“AURES”でできること.....	I
1. 音楽鑑賞を楽しむ.....	I
2. お気に入りの曲とのアンサンブルを楽しむ.....	II
3. ひと味違ったアコースティックピアノの 音色を楽しむ.....	II
4. 小さな音で楽しむ.....	II
“AURES”クイックガイド.....	III
●準備.....	III
1. 音楽鑑賞を楽しむ.....	III
2. お気に入りの曲とのアンサンブルを楽しむ.....	V
3. ひと味違ったアコースティックピアノの 音色を楽しむ.....	VI
4. 小さな音で楽しむ.....	VI

演奏の準備

10

1. 各部の機能と名称.....	10
2. 演奏の準備.....	12
■ 電源を入れる.....	12

演奏を楽しむ前に

14

■ 画面操作について.....	14
1. 画面の各部の名称とはたらき.....	15
■ Pianist画面.....	15
■ ピアニストメニュー画面.....	18
2. メトロノーム/リズムを使う.....	19
■ メトロノームのON/OFF.....	19
■ メトロノームの設定.....	19
3. リバーブとエフェクトを設定する (Sound画面のみ).....	22
■ Sound画面に切り替える.....	22
■ リバーブ.....	22
■ エフェクト.....	26

いろいろな演奏方法

29

■ Sound画面に切り替える.....	29
1. 通常演奏(シングルモード).....	29
■ シングルモードで演奏する.....	29
■ 音色を変更する.....	30
2. デュアル演奏.....	32
■ デュアル演奏モードに入る.....	32
■ デュアル演奏の音色を変更する.....	33
■ デュアル演奏の設定を変更する.....	33
3. スプリット演奏.....	35
■ スプリット演奏モードに入る.....	35
■ スプリット演奏の音色を変更する.....	36
■ スプリット演奏の設定を変更する.....	37
4. 4ハンズモード(連弾演奏).....	39
■ 4ハンズモードに入る.....	39
■ 右側・左側の音色を変更する.....	40
■ 4ハンズ演奏の設定を変更する.....	41

いろいろな機能を楽しむ

43

■ Music画面を表示する.....	43
1. デモ曲を聴く.....	44
■ デモ曲モードに入る.....	44
■ デモ演奏を停止してデモ曲モードを終了する.....	45
2. ピアノミュージックを聴く.....	46
■ ピアノミュージックモードに入る.....	46
■ 演奏を停止してピアノミュージックモードを 終了する.....	47
■ 片手で練習する.....	48
3. レッスン.....	50
■ レッスン機能でできること.....	50
■ レッスンモードに入る.....	50
■ 練習曲を聴く.....	53
■ レッスンモードを終了する.....	53
■ 再生モードを設定する.....	54
■ 練習曲の聴きたい範囲を繰り返し再生する.....	54
■ 片手で練習する.....	55
4. コンサートマジック.....	57
■ コンサートマジックモードに入る.....	57
■ コンサートマジックを楽しむ.....	60
■ コンサートマジック曲を聴いてみよう.....	60

■ コンサートマジックを設定する.....	62
■ コンサートマジックを終了する.....	63
5. レコーダー再生	64
■ 再生可能なファイルに関して.....	64
■ レコーダー再生モードに入る.....	64
■ 再生モードを設定する.....	66
6. USBメモリープレーヤー	72
■ USBメモリーのロード/セーブについて.....	72
■ USBメモリープレーヤーモードに入る.....	73
■ USBメモリーの曲を再生する.....	75
■ 再生モードを設定する.....	75
■ 聴きたい範囲を繰り返し再生する.....	76
■ ボリューム、ソングトランスポーズを設定する...77	
7. フェイバリットについて	79
■ Favorite画面に入る.....	80
■ フェイバリットに記憶する.....	81
■ フェイバリットを呼び出す.....	82
■ フェイバリットの名前を変更する.....	83
■ フェイバリットを編集する.....	83
■ 起動時に Favorite画面を表示する.....	85

演奏を録音・再生する 86

1. 録音・再生機能について	86
■ 録音フォーマット形式について.....	86
■ 録音中の設定変更について.....	86
■ 本体録音について.....	86
2. 本体に録音する	87
■ 録音(インターナル)モードに入る.....	87
■ ソングとパートの設定をする.....	88
■ 録音をスタートする.....	89
■ 録音をストップする.....	89
■ 録音した曲を聴く.....	90
■ ソングを消去する.....	91
3. USBメモリーに録音する	92
■ 録音モード(USB)に入る.....	92
■ USBレコーダーを設定する.....	93
■ 録音する.....	95
■ 曲を聴きながら演奏を重ねて録音する (オーバーダビング).....	97

AURESを設定する 98

1. ピアニストメニュー	98
■ ピアニストメニューの設定項目.....	98
■ ピアニストメニューを表示する.....	99
2. サウンドメニュー	103
■ サウンドメニューの設定項目.....	103
■ サウンドメニューを表示する.....	105
3. コンサートチューナー	108
■ おまかせ設定と詳細設定.....	108
■ 詳細設定の種類と内容、電源ON時の設定.....	108
■ コンサートチューナーを表示する.....	109
■ コンサートチューナーの各項目を設定する.....	112
4. サウンドセッティング	135
■ サウンドセッティング画面を表示する.....	135
■ サウンドセッティングの各項目を設定する.....	138
5. その他のセッティング	145
■ その他のセッティングの種類と初期設定.....	145
■ セッティング画面を表示する.....	146
■ Bluetoothを設定する.....	149
■ USBを設定する.....	150
■ MIDIを設定する.....	154
■ カラー液晶タッチパネル(LCD)などを設定する...159	

付録 162

1. 困ったときは?	162
2. デモ曲一覧	164
3. ピアノミュージック/レッスン曲集一覧	165
■ ピアノミュージック.....	165
■ レッスン曲集.....	165
4. コンサートマジック曲目一覧	166
5. リズム一覧	167
6. 各音色に対応する 送受信プログラムナンバー一覧	168
7. 他の機器との接続	176
■ USBドライバーについて.....	177
■ iPadについて.....	177
■ USBに関するご注意.....	178
■ Bluetoothに関するご注意.....	178
8. AURES仕様	179
MIDIインプリメンテーションチャート	180

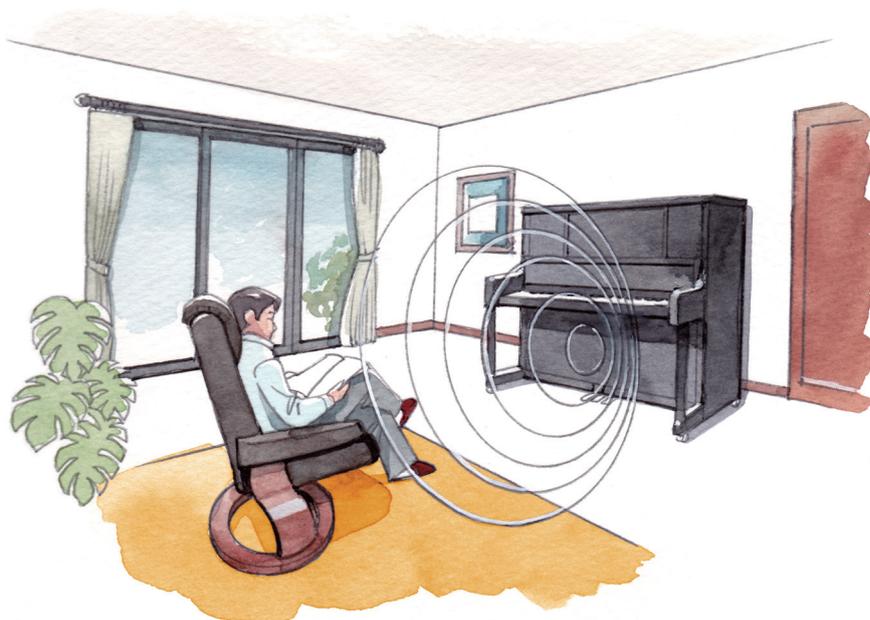
“AURES” ピアノの新しい楽しみ方 オーディオとしてお使いいただくためのクイックガイド

“AURES”でできること

“AURES”(オーレス)は、Audio(オーディオ)+Resonance(レゾナンス・共鳴)の造語で、アップライトピアノの響板に高性能の加振器を搭載して、スピーカーとしての機能を持たせた新しいアップライトピアノです。この響板スピーカーの機能を使って、ピアノとしてだけではなく、オーディオとしての楽しみ方ができるようになります。

1. 音楽鑑賞を楽しむ

響板特有の振動による雄大な響きで、様々な曲の音楽鑑賞が楽しめます。(P.III)



Bluetooth搭載の携帯音楽プレイヤーやスマートフォンを使って、お手持ちの音楽データやYouTube(ユーチューブ)の音声などを、響板スピーカーで再生することができます。

CDも、ラインイン入力を使って再生することができます。

2. お気に入りの曲とのアンサンブルを楽しむ

響板スピーカーで再生する曲のピアノパートをアコースティックピアノで弾いて、1人でもアンサンブルが楽しめます。(P.V)



3. ひと味違ったアコースティックピアノの音色を楽しむ

アコースティックピアノの音と、内蔵の電子音を重ね合わせて、新しい響きで演奏することができます。(P.VI)



4. 小さな音で楽しむ

アコースティックピアノの音を鳴らさずに、電子ピアノとしてヘッドホンを付けずに演奏することができます。音量の調節も可能ですので、小さな音にして、周囲に配慮しながら演奏することもできます。(P.VI)

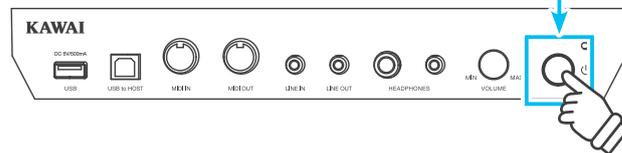


“AURES”クイックガイド

●準備

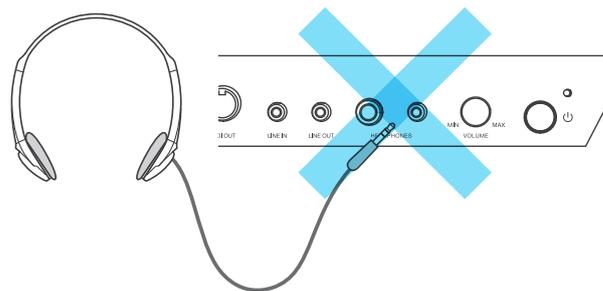
[POWER]スイッチを押して、電源をオンにします。(P.12)

[POWER]スイッチ



響板スピーカーを使用するときは、ヘッドホンを接続しないでください。

ヘッドホンを接続すると、響板スピーカーからは音が出なくなります。



ヘッドホンを接続しない

1. 音楽鑑賞を楽しむ

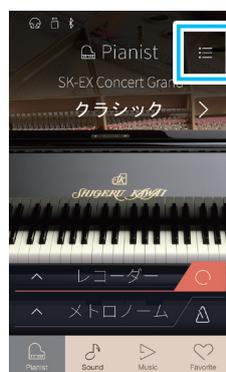
<再生できる曲の種類>

- ① Bluetooth搭載の携帯音楽プレイヤーやスマートフォンから送信する音楽データやYouTube(ユーチューブ)音声
- ② USBメモリーに保存された音楽データ(再生方法 P.72~)
- ③ CD・カセットテープ(再生方法 P.176)
- ④ AURES本体に録音した曲(再生方法 P.64~)
- ⑤ 内蔵曲(再生方法 P.46~)

②~⑤は再生方法の各ページをご覧ください。

① Bluetooth搭載の携帯音楽プレイヤーやスマートフォンから送信する音楽データやYouTube(ユーチューブ)音声

1. セッティング画面でBluetoothオーディオをオンにします。(詳細 P.149)

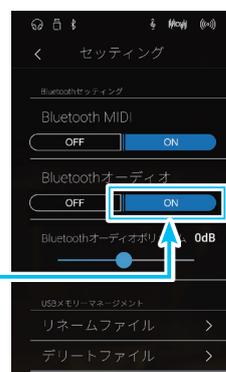


メニューボタンを
タップします



セッティングボタンを
タップします

メニュー画面



Bluetoothオーディオの
ONをタップします

セッティング画面

Pianist画面
または
Sound画面

2. 携帯音楽プレーヤーやスマートフォンのアプリケーションのBluetooth機能を、AURESの近くでオンにします。
接続候補として「ATX3,AR Audio」と表示されますので、タップして接続してください。
※ 携帯音楽プレーヤーやスマートフォンの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
3. 携帯音楽プレーヤーやスマートフォンで、聞きたい音楽データやYouTubeを再生します。
※ 携帯音楽プレーヤーやスマートフォンの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
➡ 響板スピーカーから音楽が再生されます。
4. 聞く曲の音質を調整したいときは、トーンコントロールの種類(詳細 P. 139～)やウォールEQ(詳細 P. 143～)で調整してください。
5. 音量が大きすぎたり小さすぎたりするときは、セッティング画面のBluetoothオーディオボリューム(P. 150)や、[VOLUME]つまみ(P. 13)、携帯音楽プレーヤーやスマートフォンの音量調整(それぞれの取扱説明書参照)で調整してください。



Bluetoothオーディオボリュームの slider を左右に動かして、音量を調節します

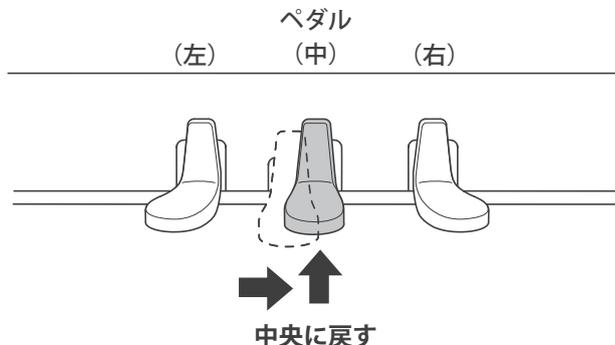
セッティング画面

再生する音量が大きいと音が歪む場合があります。その場合も、音量を小さくしてください。
トーンコントロールの種類(詳細 P. 139～)を変更すると、歪まなくなる場合もあります。

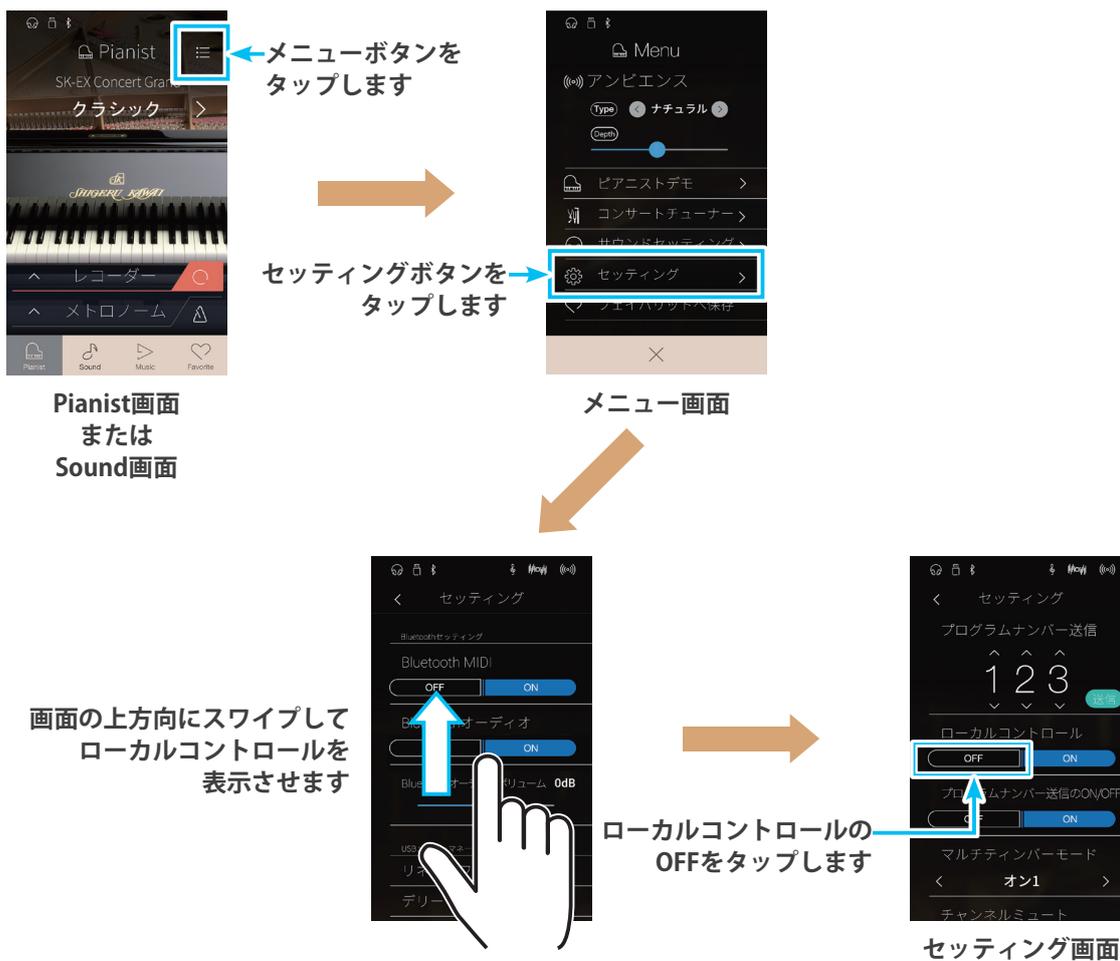
6. 再生を止めるときは、携帯音楽プレーヤーやスマートフォンで再生を止める操作をしてください。
※ 携帯音楽プレーヤーやスマートフォンの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

2. お気に入りの曲とのアンサンブルを楽しむ

1. 「1. 音楽鑑賞を楽しむ」の方法で、アンサンブルしたい曲を再生します。
2. アコースティックピアノの音が消音されている場合は、消音切り替えペダルを中央に戻します。



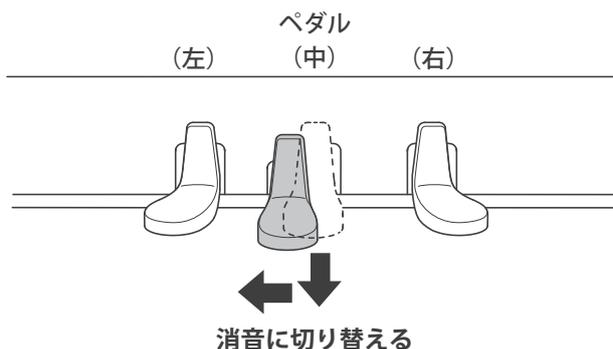
3. セッティング画面でローカルコントロール(詳細 P. 157)をオフにします。ピアノを弾いても、電子音が鳴らないようになります。



4. ピアノを弾くと、響板スピーカーで再生する曲と一緒に、アコースティックピアノの音で演奏することができます。
※ 電子音を鳴らして使用するときは、ローカルコントロールをオンにしてください。

3. ひと味違ったアコースティックピアノの音色を楽しむ

1. 電子音の音色を選択するために、アコースティックピアノの音を一旦消します。
消音切替えペダルを左にスライドして踏み込みます。
(P.13)



2. アコースティックピアノの音と重ね合わせたい電子音を選択します。(詳細 P.30~)

アコースティックピアノと相性の良い、お薦め音色

スロースtringス

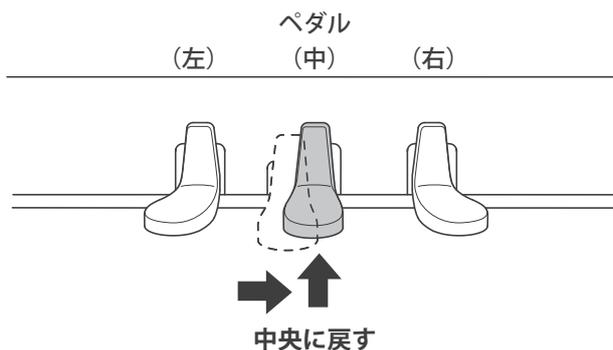
オーケストラや弦楽合奏をアレンジしたピアノ曲にピッタリです。

チャーチオルガン

オルガンの荘厳な響きが、クリアなピアノ音で縁どられて一層引き立ちます。

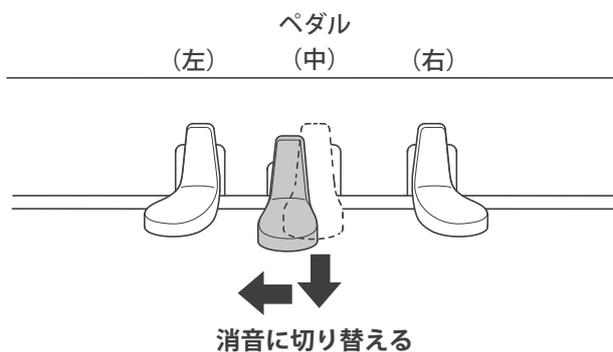
3. 消音切り替えペダルを中央に戻します。

4. ピアノを弾くと、アコースティックピアノの音と、2.で選択した電子音が、同時に鳴ります。

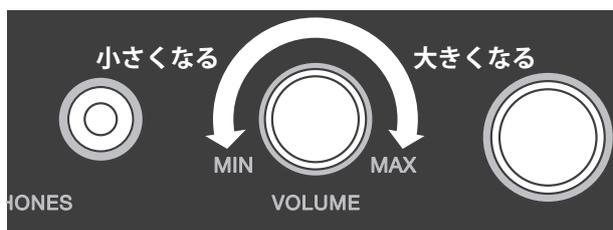


4. 小さな音で楽しむ

1. アコースティックピアノの音を消します。
消音切替えペダルを左にスライドして踏み込みます。
(P.13)

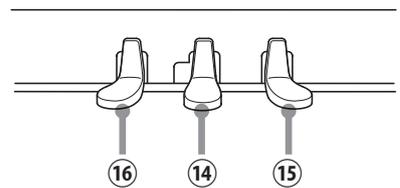
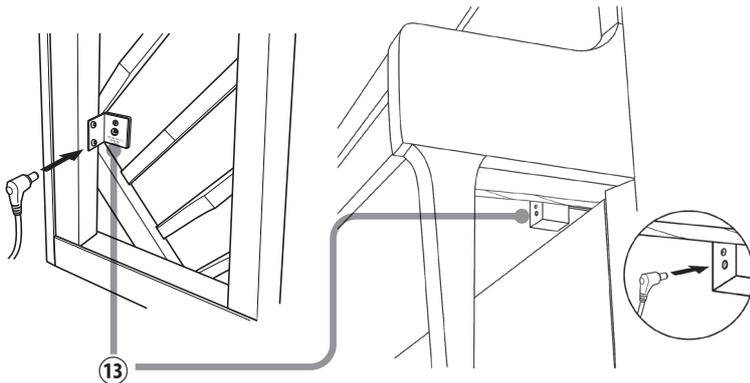
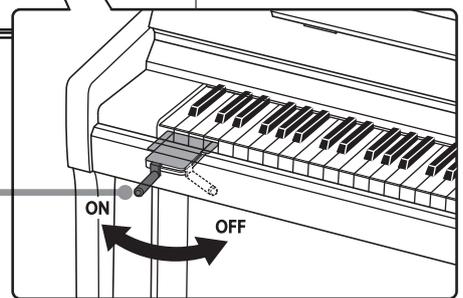
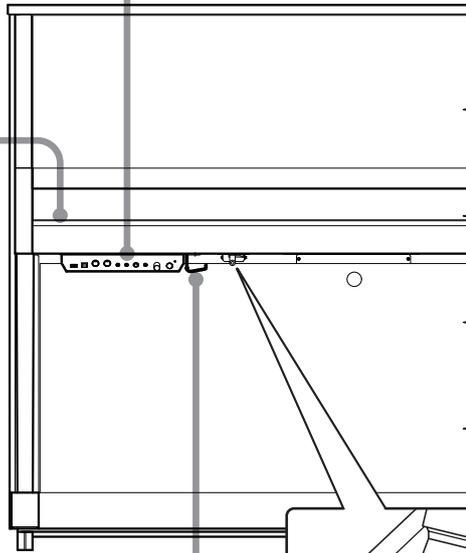
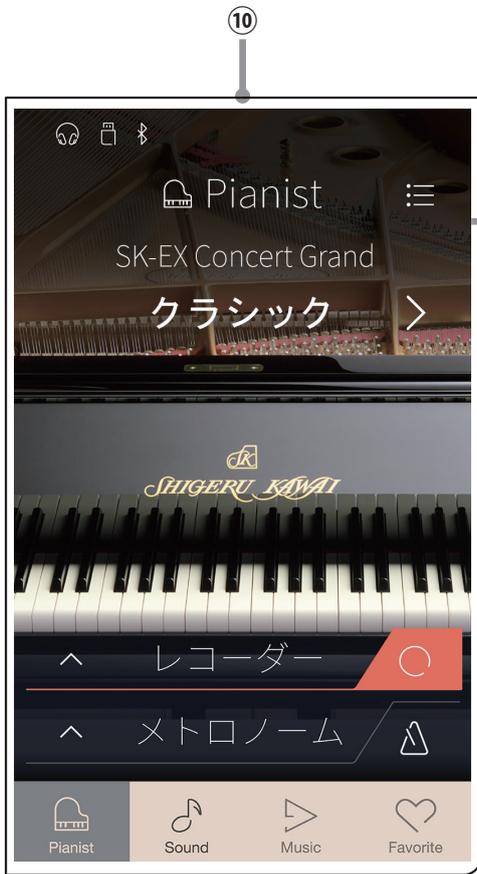
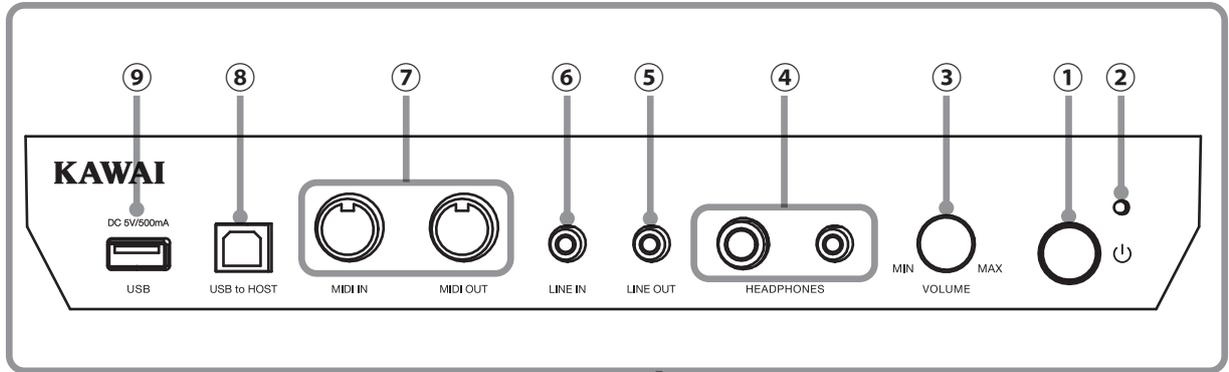


2. 演奏したい電子音を選択します。(詳細 P.30~)
状況に合わせて、[VOLUME]つまみで音量を調節してください。(P.13)



演奏の準備

1. 各部の機能と名称



① ^{パワー} [POWER] スイッチ

電源をオン/オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

② 電源表示ランプ

電源がオンのとき点灯します。

③ ^{ボリューム} [VOLUME] つまみ

ヘッドホンから出力される音量を調整します。

④ ^{ヘッドホーンズ} [HEADPHONES] 端子

ステレオのヘッドホンを接続する端子です。ミニステレオプラグのヘッドホンとステレオ標準プラグのヘッドホンを同時に接続することができます。

⑤ ^{ラインアウト} [LINE OUT] 端子

AURESの音を他の外部機器(アンプ、ステレオ)などで聴いたり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する出力端子です。

⑥ ^{ラインイン} [LINE IN] 端子

他の電子楽器やオーディオ機器などの音を聴きたいとき、その出力端子とこの端子を接続します。

⑦ ^{ミディインアウト} [MIDI IN/OUT] 端子

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

⑧ ^{ユーエスビートゥーホスト} [USB TO HOST] 端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

⑨ ^{ユーエスビートゥーデバイス} [USB TO DEVICE] 端子

USBメモリーを接続する端子です。保存されている曲を再生したり、AURESで録音した曲をUSBメモリーに保存することもできます。

⑩ カラー液晶タッチパネル(LCD)

本機の状態を表示したり、操作や設定を行います。画面に表示されるアイコンやボタンで機能を選択したり、それぞれの機能を設定します。また、選ばれている音色名やUSBやBluetoothの接続、設定の状態を表示します。

画面に表示されているアイコンやボタンを、指先で軽く触れる(タップするといいます)ことで機能を選択したり、設定を変更したりします。画面を押して軽くこするよう上下左右に動かす(スワイプするといいます)ことで画面を切り替えます。

※カラー液晶タッチパネル(LCD)には、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用ください。

⑪ ヘッドホンフック

ヘッドホンを使用しないとき、ここへ掛けてください。

⑫ マフラーレバー

このレバーを手前に引くと、弦とハンマーの間に薄いフェルトまたはクロスが下がり、この上からハンマーが打弦することになるため、音量が弱まります。

⑬ DC IN

ACアダプタを接続します。

ピアノによって、本体裏下部にある場合と、高音側の鍵盤下部にある場合があります。

⑭ 消音切替ペダル

アコースティックピアノの音を消すペダルです。消音演奏のときには、このペダルを踏んで左にスライドし、固定してください。なお、演奏途中にこのペダルを操作しないでください。

⑮ ダンパーペダル

このペダルを踏んで演奏すると、鍵盤から手を離れた後の音の減衰の仕方が変わります。最も深く踏んだときに、最も音が伸びます。

⑯ ソフトペダル

音量がわずかに下がると同時に、音の響きが柔らかくなります。

エフェクトがロータリーに設定されているときは、このペダルを踏むたびに、スピード(Slow/Fast)が切り替わります。曲想に応じて切り替えてご使用ください。

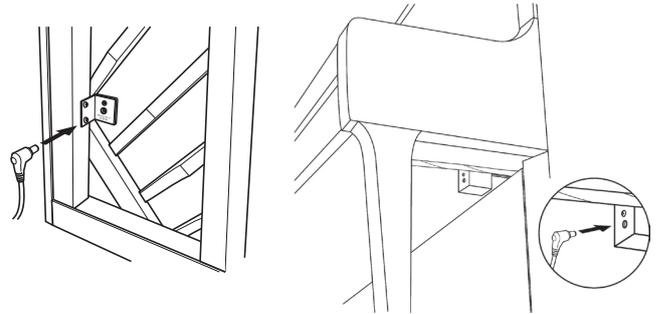
このペダルを踏みながら電源をオンにするとソステナートペダルに切り替わります。

2. 演奏の準備

■ 電源を入れる

1. ACアダプタを本体に接続する

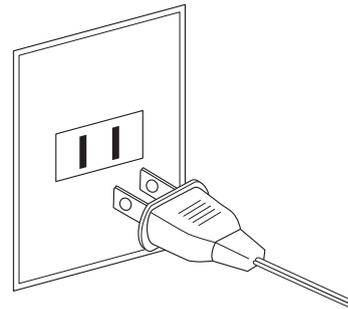
ACアダプタの本体接続側のプラグをDC INに差し込みます。
DC INの位置は、ピアノによって、本体裏下部にある場合と、
高音側の鍵盤下部にある場合があります。



2. 電源コードをコンセントに接続する

ACアダプタの電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込み
ます。

※ 電源プラグとコンセントの間にほこりがたまらないように、定期的に掃
除をしてください。



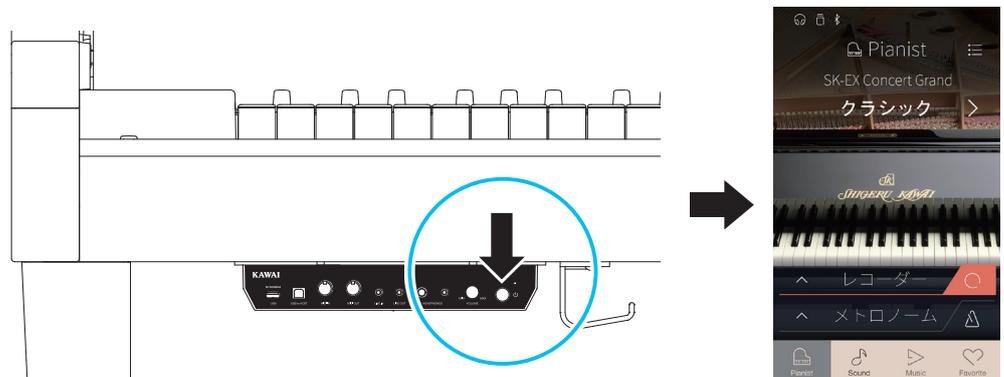
3. 電源を入れる

[POWER]スイッチを押して電源をオンにします。電源表示ランプが点灯します。

カラー液晶タッチパネル(LCD)に「KAWAI」と表示され、起動が始まります。起動すると下図の画面になります。

極力、起動が終わるまでは電源を切らないでください。

電源を切るときは、もう一度[POWER]スイッチを少し長押しし、画面の表示を消します。電源表示ランプが消灯します。

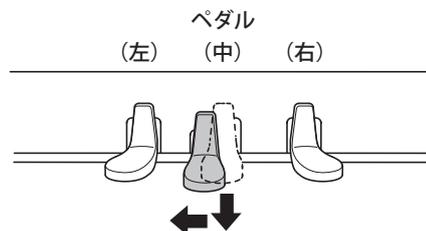


4. 消音へ切り替える

中央の消音切替ペダルを踏んで左にスライドして固定し、アコースティックピアノの音を消します。

※ 演奏中に、このペダルを操作しないでください。

※ ペダルは左で止まるまでしっかりスライドしてください。スライドが不十分だと、ソフトペダル(左ペダル)を踏んだとき電子音が出なくなる場合があります。

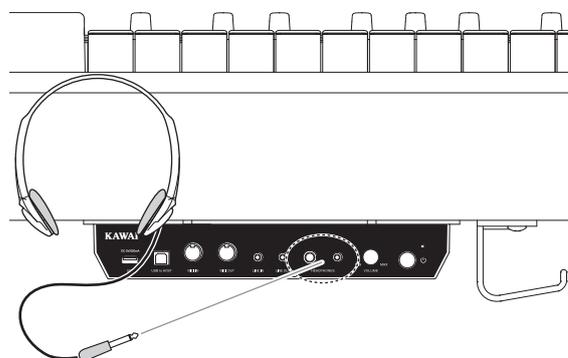


中ペダルを踏み込み、左へスライドさせます。

5. ヘッドホンを接続する

付属のヘッドホンを [HEADPHONES] 端子に差し込みます。

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンを掛けておくことができます。



● ヘッドホンの接続状態を確認する

ヘッドホンが本機に差し込まれている場合、LCD画面上部にヘッドホンアイコンが表示されます。(P. 16)

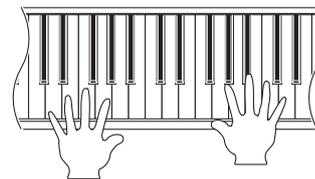


↑ ヘッドホンが接続されている状態

6. ヘッドホンで演奏を聴く

鍵盤を弾いてみましょう。

ヘッドホンから電子音のグランドピアノの音が出ます。空いているもう一つの端子に、お手持ちの別のヘッドホンを接続すると、2人で電子音の演奏を聴くことができます。

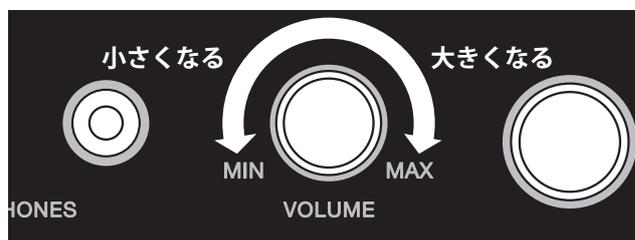


● 音量を調整する

[VOLUME]つまみで音量を調整します。

時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと小さくなります。

※ 音量を大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合は音量を小さくして使用してください。



演奏を楽しむ前に

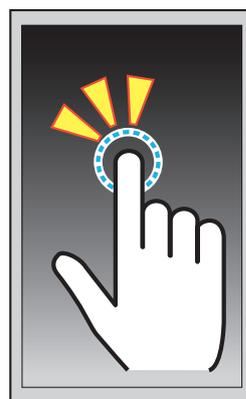
演奏を開始する前に画面の名称とはたらきを理解しておきましょう。本機では、ほとんどの機能や設定をこのカラー液晶タッチパネル(LCD)に表示されるアイコンやボタンにタッチしたり、指先をスライドさせて行います。

■ 画面操作について

カラー液晶タッチパネル(LCD)での基本的な操作は次の3つです。

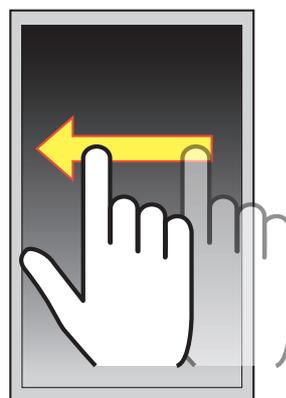
● タップ

画面に表示されるアイコンやボタンに触れてすぐに離す操作です。画面上のほとんどの機能の選択や設定に使用します。「○をタップします」と表記しています。



● スワイプ

画面上のアイコンやボタンに触れて離さずにそのまま上下または左右にスライドさせる操作です。それぞれ「上下にスワイプします」、「左右にスワイプします」と表記しています。



● 長押し

画面に表示されているアイコンやボタンまたは特定の範囲内を2秒以上押し続けてから離す操作です。「○○を長押しします」、「長押しすると」と表記しています。

本書では上記の用語で操作方法を説明しています。



1. 画面の各部の名称とはたらき

本機ではお客様の使用シーンに合わせて4つの画面から構成されています。

- ・ 高品位なSK-EX Rendering Engineの音とピアノ演奏・練習に特化した「Pianist」
- ・ 多彩な音色を弾き分けたり、音色を重ねたり等、デジタルピアノとしての使い方が楽しめる「Sound」
- ・ 音色デモやレッスン曲、USBメモリーオーディオ等、音楽を聞くための「Music」
- ・ お気に入りの設定を保存し、自分ならではの使い勝手にカスタマイズできる「Favorite」

4つのメイン画面はタブバーで切り替え可能です。

本体起動後は、下図のようにPianist画面が表示されます
画面の各部の名称とはたらきは次のとおりです。

■ Pianist画面

① ステータスバー

外部機器の接続状態や機能のON/OFFの状態を表示します。
詳しくは「●ステータスバー」(P.16)をご覧ください

② メニューボタン

ピアニストメニュー画面を表示します。
詳しくは「●ピアニストメニュー画面」(P.18)をご覧ください。

③ レンダリング表示

左右にスワイプしてレンダリングキャラクターを変更します。
中央には選択されたレンダリングキャラクターが表示されます。
詳しくは「●レンダリング表示(Pianist画面のみ)」(P.16)をご覧ください。

④ レコーダーバー

演奏を録音したり、録音の設定を行います。
詳しくは「●レコーダーバー」(P.17)をご覧ください。

⑤ メトロノームバー

メトロノームやリズムのON/OFFや設定を行います。
詳しくは「●メトロノームバー」(P.17)、「2.メトロノーム/リズムを使う」(P.19)をご覧ください。

⑥ タブバー

メイン画面を切り替えます。
詳しくは「●タブバー」(P.18)をご覧ください。



ステータスバー、レコーダーバー、メトロノームバー、タブバーはほとんどの画面で共通に表示されます。

演奏を楽しむ前に

● ステータスバー

機能のON/OFFや外部機器との接続状態を表示します。

① ヘッドホンアイコン

ヘッドホンが接続されているときに表示されます。

② USBアイコン

USBメモリーが差されているときに表示されます。

③ Bluetoothアイコン

Bluetooth MIDIまたはBluetoothオーディオがONのときに表示されます。

④ トランスポーズアイコン

キートランスポーズが設定されているときに表示されます。

⑤ エフェクトアイコン

エフェクトがONのときに表示されます。

⑥ リバーブアイコン

リバーブがONのときに表示されます。



● レンダリング表示 (Pianist画面のみ)

グランドピアノの音が発生するメカニズムは、様々な要素で構成されています。

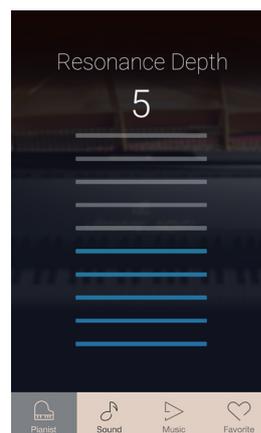
その要素のひとつひとつをサンプリングやモデリング等の信号処理技術を用いて再構成し、パラメータを最適に調整し組み合わせることで様々な種類のピアノを再現するのがレンダリングです。

「レンダリングキャラクター」では以下のとおり10種類のタイプを選べます。

レンダリングキャラクター	効果
クラシック	ダイナミックレンジの広い標準的なピアノサウンドです。
ロマンティック	ソフトなハンマーによるメロウなピアノサウンドです。
ストロング	明るく低音の充実した大きなサイズのピアノサウンドです。
ジャズ	クリーンでジャズに適したピアノサウンドです。
ブリリアント	高域成分が強調されたブライトなピアノサウンドです。
リッチ	共鳴を強調したリッチなピアノサウンドです。
バラッド	クリアでライトポップなピアノサウンドです。
ポップ	アタックを強調したポップスに適したピアノサウンドです。
ビンテージ	古いピアノを模したやわらかなピアノサウンドです。
ブギ	調律をずらした小さなサイズのピアノサウンドです。

「Resonance Depth(レゾナンス デプス)」を調整して、ピアノの共鳴音の大きさや音色の個性を変化させて楽しむことができます。

画面の中央(*SHIGERU KAWAI*の辺り)に指をおき、上下にスワイプすると、右図のレゾナンスデプス画面が表示されます。そのまま指を離さずにスワイプして、レゾナンスデプスを10段階で調整することができます。指を離すとPianist画面に戻ります。



● レコーダーバー

本機での演奏を録音したり、録音を再生する操作を行います。レコーダー機能の詳細は、「演奏を録音・再生する」(P. 86~)をご覧ください。

① レコーダーオープンボタン

レコーダー画面を表示します。(P. 87)

② レコーダーステータス

レコーダーの状態を表示します。

③ レコーダーON/OFFボタン

1度タップするとスタンバイ状態になります。

再度タップすると録音を開始します。

さらに再度タップすると録音を停止します。



録音は選択されているソングに上書きされます。

以前まであった演奏データが消去されますのでご注意ください。

選択されているソングは①をタップすると確認できます。

● メトロノームバー

メトロノームやリズムのON/OFFや設定を行います。

詳細は「2. メトロノーム/リズムを使う」(P. 19)をご覧ください。

① メトロノームオープンボタン

メトロノーム画面を表示します。

② メトロノームステータス

メトロノームの状態を表示します。

③ メトロノームON/OFFボタン

メトロノームの動作をON/OFFします。



演奏を楽しむ前に

● タブバー

本機の「Pianist」「Sound」「Music」「Favorite」の4つのメイン画面に切り替えます。

① Pianistボタン

Pianist画面を表示します。

② Soundボタン

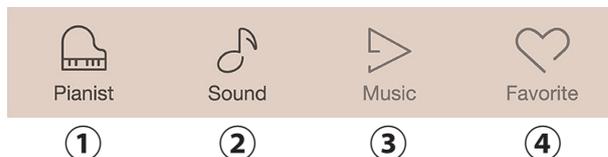
様々な音色やデュアル、スプリットなどの演奏モードを選択します。

③ Musicボタン

デモ演奏や録音再生、レッスン機能などを選択するMusic画面を表示します。

④ Favoriteボタン

音色などのお気に入りの設定を記録したり呼び出したりするFavorite画面を表示します。



■ ピアニストメニュー画面

Pianist画面の ☰ (メニュー) ボタンをタップします。

ピアニストメニュー画面が表示されます。

● ピアニストメニュー画面

① アンビエンスタイプ

音の広がり、空気感を調節します。(P. 100)

② アンビエンスデプス

アンビエンスの深さ・奥行き感を設定します。(P. 100)

③ ピアニストデモ

ピアニストデモ画面を表示します。(P. 101)

④ コンサートチューナー

コンサートチューナー(ピアニスト)画面を表示します。(P. 109)

⑤ サウンドセッティング

サウンドセッティング(ピアニスト)画面を表示します。(P. 135)

⑥ セッティング

セッティング(ピアニスト)画面を表示します。(P. 146)

USBやBluetooth、MIDIなどの設定を行います。

⑦ フェイバリットへ保存ボタン

現在の本機の設定状態をフェイバリットに記憶します。(P. 81)

⑧ ✕(閉じる)ボタン

ピアニストメニュー画面が閉じてPianist画面に戻ります。



● ✕(閉じる)ボタン

ほとんどのメニュー画面の最下部は ✕(閉じる) です。

このボタンをタップすると、表示中のメニュー画面が閉じて、元の画面に戻ることができます。

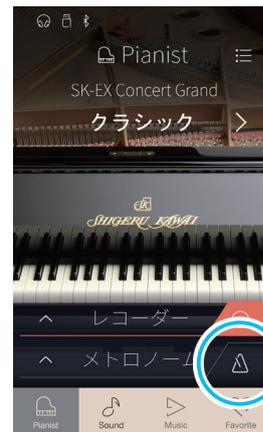
2. メトロノーム/リズムを使う

メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

リズムの種類については、付録「6. リズム一覧」(P. 167)をご覧ください。

■ メトロノームのON/OFF

1. メトロノームバーの  (メトロノームON/OFF) ボタンをタップします。
ボタンの色が変わり、メトロノームが発音します。
2. 再度  をタップするとメトロノームが止まります。



メトロノームON/OFFボタン



■ メトロノームの設定

メトロノームの設定はメトロノーム画面で行います。

1. メトロノームバーの  (メトロノームオープン) ボタンをタップします。
メトロノーム画面が表示されます。

メトロノームオープンボタン



演奏を楽しむ前に

●メトロノーム画面

①メトロノームバー

タップするとメトロノーム画面を閉じます。

②メトロノームモード選択ボタン

△をタップするとメトロノームモードになります。

☞をタップするとリズムモードになります。

③メトロノームパターン選択

左右にスワイプしてメトロノームパターンを選択します。

中央に選択したメトロノームパターンを表示します。

④メトロノームテンポ

各桁の数字をスワイプして設定します。

数字部分を長押しすると、テンキーで数字を設定することもできます。

⑤メトロノームビート

左右にスワイプしてメトロノームビートを選択します。

中央にメトロノームビートが表示されます。

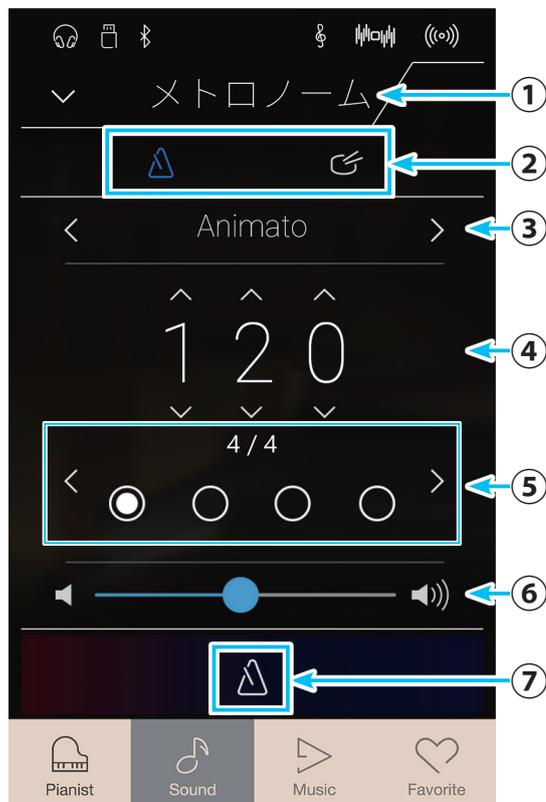
選択したビートによって○の数が変わります。

⑥メトロノームボリューム

●(スライダー)を左右に動かしてメトロノームの音量を調節します。

⑦メトロノームON/OFFボタン

メトロノームをON/OFFします。



●メトロノームの設定値

種類	説明			
メトロノームパターン	パターン	テンポ	パターン	テンポ
	Grave	10 ~ 45	Moderato	96 ~ 107
	Largo	46 ~ 51	Allegretto	108 ~ 119
	Lento	52 ~ 55	Animato	120 ~ 131
	Larghetto	56 ~ 59	Allegro	132 ~ 159
	Adagio	60 ~ 65	Vivace	160 ~ 183
	Adagietto	66 ~ 71	Presto	184 ~ 191
	Andante	72 ~ 79	Vivacissimo	192 ~ 207
	Andantino	80 ~ 87	Prestissimo	208 ~ 400
	Maestoso	88 ~ 95		
メトロノームテンポ	テンポの値は10 ~ 400の範囲で設定できます。(3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、20 ~ 800)			
	値は1分間の拍数を表しています。			
メトロノームビート/リズム	ビート(拍子)は1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8より選択することができます。リズムは100種類より選択することができます。(P.167参照)			

● リズムの設定

ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。
リズムを設定するには、メトロノームモード選択ボタンで  (リズム) ボタンをタップします。
メトロノーム画面のリズム設定が表示されます。

● メトロノーム画面リズム設定

① メトロノームモード選択ボタン

 をタップするとメトロノームモードになります。
 をタップするとリズムモードになります。

② ビート選択

左右にスワイプしてビート (P. 167) を選択します。中央に
選択したビートが表示されます。

③ テンポ設定

各桁の数字をスワイプして設定します。
数字部分を長押しすると、テンキーで数字を設定すること
もできます。

④ リズム選択

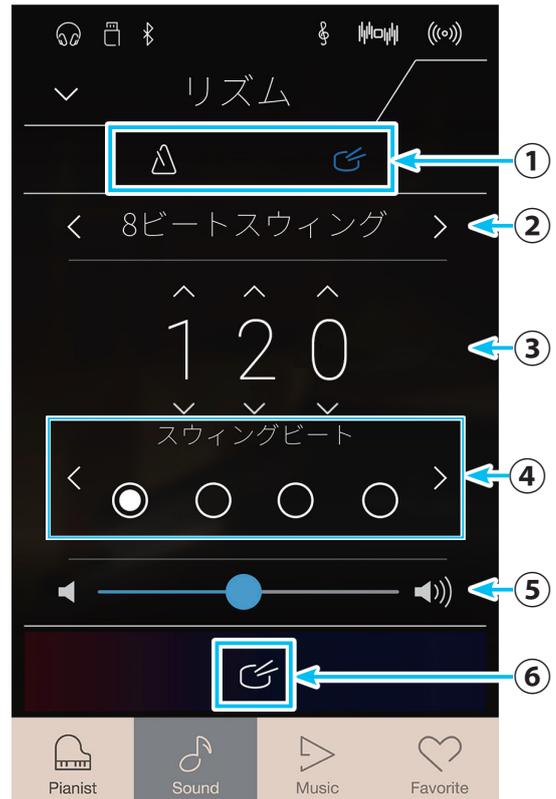
左右にスワイプしてリズム (P. 167) を選択します。
中央にリズムが表示されます。
選択したリズムによって  の数が変わります。

⑤ リズムボリューム

 (スライダー) を左右に動かしてメトロノームの音量を
調節します。

⑥ リズムON/OFFボタン

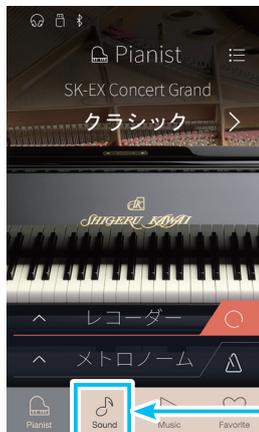
リズム動作をON/OFFします。



3. リバーブとエフェクトを設定する (Sound画面のみ)

■ Sound画面に切り替える

タブバーの  (Sound) ボタンをタップします。
Sound画面が表示されます。



Soundボタン

■ リバーブ

リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。本機には6タイプのリバーブを用意しています。

● リバーブタイプ

タイプ	効果
ルーム	室内での演奏時の残響を再現した効果です。
ラウンジ	ラウンジでの演奏時の残響を再現した効果です。
スモールホール	小ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
コンサートホール	クラシック向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
ライブホール	ホールライブ向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
カテドラル	大聖堂での演奏時の残響を再現した効果です。

● リバーブをON/OFFする

1. Sound画面の  (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面が表示されます。



サウンドメニュー画面

- ① **リバーブ設定ボタン**
リバーブ画面を表示します。(P. 24)
- ② **リバーブON/OFFスイッチ**
リバーブ動作をON/OFFします。(P. 24)
- ③ **エフェクト設定ボタン**
エフェクト画面を表示します。(P. 27)
- ④ **エフェクトON/OFFスイッチ**
エフェクト動作をON/OFFします。(P. 26)
- ⑤ **トランスポーズ**
キートランスポーズの値を設定します。(P. 106)
設定値を数字で表示します。
- ⑥ **キーボードセッティング**
キーボードセッティング画面を表示します。(P. 107)
※ Single選択時には表示されません。
- ⑦ **コンサートチューナー**
コンサートチューナー(サウンド)画面を表示します。
(P. 109~)
- ⑧ **サウンドセッティング**
サウンドセッティング(サウンド)画面を表示します。
(P. 135~)
- ⑨ **セッティング**
セッティング画面を表示します。(P. 146)
- ⑩ **フェイバリットへ保存**
現在の状態をフェイバリットに記憶します。(P. 81)
- ⑪ ** (閉じる) ボタン**
Sound画面に戻ります。



※ 実際の画面では、全部のメニューが表示されない場合があります。
上下にスワイプして表示します。

演奏を楽しむ前に

- リバーブ効果をかけるときには、サウンドメニュー画面のリバーブON/OFFスイッチのONをタップします。OFFにするときにはOFFをタップします。
- 画面一番下の×(閉じる)ボタンをタップします。Sound画面に戻ります。



● リバーブの設定を変更する

- Sound画面の☰ (メニュー) ボタンをタップします。サウンドメニュー画面 (P. 23) が表示されます。



- リバーブ設定ボタンをタップします。リバーブ画面が表示されます。



リバーブ画面

① 戻るボタン

サウンドメニュー画面に戻ります。

② タイプ

左右にスワイプしてリバーブタイプ(P. 22) を選択します。

中央にリバーブタイプが表示されます。

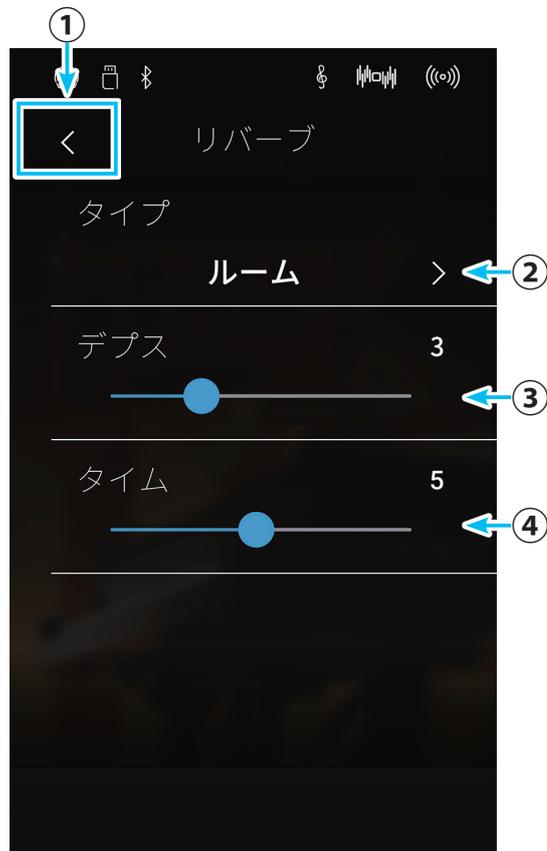
③ デプス

スライダーを左右に動かしてリバーブの深さを設定します。

④ タイム

スライダーを左右に動かしてリバーブタイムを設定します。

3. リバーブ画面で、リバーブタイプ、深さ、タイムの各項目を設定します。



4. < (戻る) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面に戻ります。



● 変更項目と効果

変更項目	効果
デプス	かかり具合が大きくなります。
タイム	効果時間が長くなります。

■ エフェクト

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。このような効果を「エフェクト」といいます。本機は24タイプのエフェクトを用意しています。

● エフェクトタイプ

タイプ	効果
モノラルディレイ	音に山びこのような反響音を加える効果です。
ピンポンディレイ	音が左右交互に反響する効果です。
トリプルディレイ	音が中央、右、左の順に反響する効果です。
コーラス	原音にピッチのゆらぎを持つ音をあわせることにより、音に広がりを与える効果です。
クラシックコーラス	往年のコーラスをデジタル信号処理により再現した効果です。
アンサンブル	3相のコーラスにより、音に豊かさを与える効果です。
トレモロ	音量にゆらぎを与える効果です。
クラシクトレモロ	往年のトレモロをデジタル信号処理により再現した効果です。
ビブラートトレモロ	トレモロにビブラートを加えた効果です。
トレモロ+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、トレモロと組み合わせた効果です。
オートパン	音の聞こえる位置を周期的に変化させる効果です。
クラシックオートパン	往年のオートパンをデジタル信号処理により再現した効果です。
オートパン+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、オートパンと組み合わせた効果です。
フェイザー+オートパン	フェイザーにオートパンを加えた効果です。
フェイザー	原音に位相のずれた音をあわせることにより、音を飛び回らせる効果です。
クラシックフェイザー	往年のフェイザーをデジタル信号処理により再現した効果です。
フェイザー+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、フェイザーと組み合わせた効果です。
フェイザー+コーラス	フェイザーにコーラスを加えた効果です。
ロータリー1	ロータリー(回転式)スピーカーによる音の変化を再現した効果です。 ソフトペダル(左のペダル)を踏むことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー2	ロータリー1に少しの歪を加えた効果です。
ロータリー3	ロータリー2にさらに歪を加えた効果です。
ロータリー4	ロータリー1にコーラスを加えた効果です。
ロータリー5	ロータリー2にコーラスを加えた効果です。
ロータリー6	ロータリー3にコーラスを加えた効果です。

● エフェクトをON/OFFする

1. Sound画面の  (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面 (P. 23) が表示されます。



2. エフェクトをかけるときには、サウンドメニュー画面のエフェクトON/OFFスイッチのONをタップします。OFFにするときにはOFFをタップします。
3. 画面一番下の✕(閉じる)ボタンをタップします。Sound画面に戻ります。



● エフェクトの設定を変更する

1. Sound画面の☰ (メニュー) ボタンをタップします。サウンドメニュー画面 (P. 23) が表示されます。



2. エフェクト設定ボタンをタップします。エフェクト画面が表示されます。



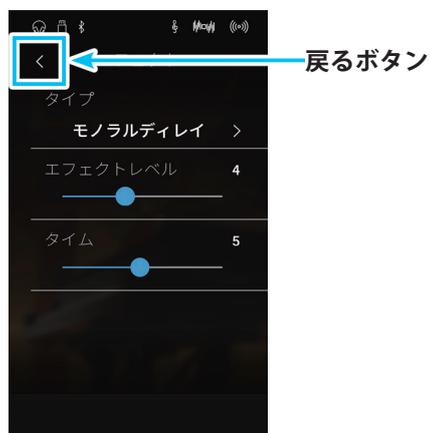
エフェクト画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② エフェクトタイプ
左右にスワイプしてエフェクトのタイプ (P. 26) を選択します。
中央に選択したエフェクトタイプが表示されます。
- ③ 変更項目1
スライダーを左右に動かして値を設定します。選択したエフェクトによって、設定値と効果は異なります。
- ④ 変更項目2
スライダーを左右に動かして値を設定します。選択したエフェクトによって、設定値と効果は異なります。



演奏を楽しむ前に

3. エフェクト画面で、エフェクトタイプ、変更項目の各項目を設定します。
4. < (戻る) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面に戻ります。



● 各エフェクトの変更項目と変化

変更できる項目と値を変更したときの変化は以下のとおりです。

エフェクトタイプ	変更項目	効果(数字を大きくした場合)
ディレイ3種	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	タイム	反響音の間隔が長くなります。
コーラス、アンサンブル	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
クラシックコーラス	モノラル/ステレオ	音の広がりが増します。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
トレモロ3種、 オートパン2種、フェイザー2種	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。
ロータリー6種	アクセルスピード	遅い方⇔速い方へ変化する際のスピードが速くなります。
	ロータリースピード	速い方のスピードが増します。
[エフェクト]+[エフェクト]	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
[エフェクト]+アンプ	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。

いろいろな演奏方法

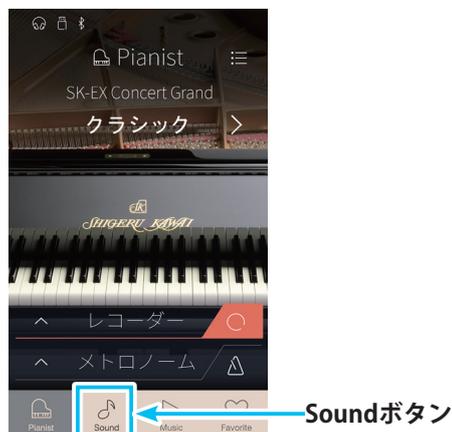
本機は、通常の演奏方法に加えて、2つの音色を重ね合わせるデュアル演奏や鍵盤を2つに分けて演奏するスプリットや連弾などさまざまな演奏を楽しむことができます。

■ Sound画面に切り替える

タブバーの  (Sound) ボタンをタップします。

Sound画面が表示されます。

通常はSoundボタンをタップすると、Sound (Single) 画面が表示され、シングルモードで演奏できる状態になっています。ただし、フェイバリットなどで起動時の設定を変更した場合にはこの限りではありません。



1. 通常演奏(シングルモード)

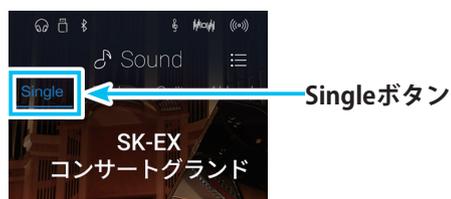
通常のピアノの演奏方法です。

■ シングルモードで演奏する

1. Sound画面のSingleボタンをタップします。

Sound (Single) 画面が表示されます。

通常はSound画面に切り替えた時点でSound (Single) 画面が表示されています。ただし、フェイバリットなどで起動時の設定を変更した場合にはこの限りではありません。



Sound (Single) 画面

① メニューボタン

サウンドメニュー画面を表示します。

② Single(シングル) ボタン

色が変わってシングルモードを選択中であることを表示します。

③ Dual(デュアル) ボタン

Sound (Dual) 画面を表示します。

④ Split(スプリット) ボタン

Sound (Split) 画面を表示します。

⑤ 4Hands(4ハンズ) ボタン

Sound (4Hands) 画面を表示します。

⑥ 音色表示

選択している音色名と音色画像を表示します。



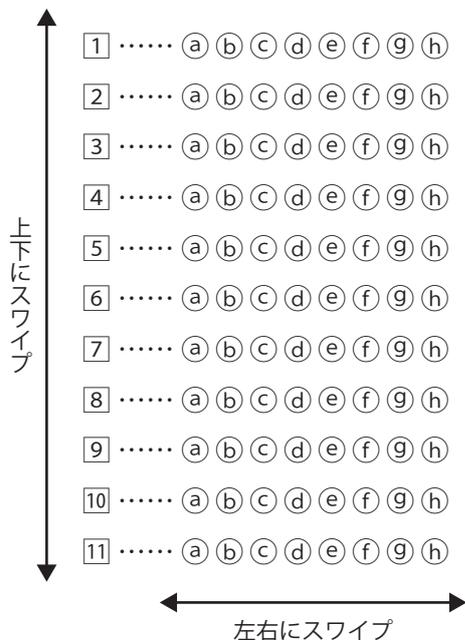
■ 音色を変更する

1. Sound画面の音色表示に指をおくと音色画像が縮小し、サウンド選択画面になります。
2. サウンド選択画面上で左右または上下にスワイプして音色を変更します。
3. 目的の音色の音色画像を画面中央にセットします。
指を離すと音色画像が拡大して音色が確定します。

サウンド選択画面

① 音色選択

上下にスワイプすると、「● 音色一覧」(P. 31)の①～⑾を選択でき、左右にスワイプすると「● 音色一覧」(P. 31)のa～hを選択できます。



● 音色一覧

PIANO1

- ① a SK-EX コンサートグランド
- b EX コンサートグランド
- c SK-5 グランドピアノ
- d ジャズ グランド
- e ジャズ グランド 2
- f メロー グランド
- g メロー グランド 2
- h スタンダード グランド

PIANO2

- ② a ポップ グランド
- b ポップ グランド 2
- c ポップ ピアノ
- d スタジオ グランド
- e アップライト ピアノ
- f モダン ピアノ
- g ブギウギピアノ
- h ホンキートンク ピアノ

ELECTRIC PIANO

- ③ a クラシック エレクトリック ピアノ
- b 60's エレクトリック ピアノ
- c モダン エレクトリック ピアノ
- d クラシック エレクトリック ピアノ 2
- e クラシック エレクトリック ピアノ 3
- f クリスタル エレクトリック ピアノ
- g モダン エレクトリック ピアノ 2
- h モダン エレクトリック ピアノ 3

ORGAN

- ④ a ジャズオルガン
- b ブルースオルガン
- c バラードオルガン
- d ゴスペルオルガン
- e ドローバーオルガン
- f ドローバーオルガン 2
- g ドローバーオルガン 3
- h ドローバーオルガン 4
- a チャーチオルガン
- b ディアパソン
- c フルアンサンブル
- d オクターブディアパソン
- e ティビアオルガン
- f オクターブプリンシパル
- g プリンシパルコーラス
- h パロックオルガン
- a ソフトディアパソン
- b ソフトストリングス
- ⑥ c メローフルート
- d ミディアムアンサンブル

- e ラウドアンサンブル
- f ブライトアンサンブル
- ⑥ g フルオルガン
- h リードアンサンブル

HARPSI&MALLETS

- ⑦ a ハープシコード
- b オクターブハープシコード
- c ビブラフォン
- d クラビ
- e マリンバ
- f チェレスタ
- g ハープシコード 2
- h スプリットベル

STRINGS

- ⑧ a スローストリングス
- b シンセストリングス
- c メローストリングス
- d スtring アンサンブル
- e メローオーケストラ
- f スモールストリングス
- g ハープ
- h ピチカート

VOCAL&PAD

- ⑨ a クワイア
- b ポップボーカル
- c ポップボーカル 2
- d クワイア 2
- e ジャズボーカル
- f ポップボーカル 3
- g スロークワイア
- h ブレスクワイア
- a ファンタジー
- b ファンタジー 2
- c ファンタジッククワイア
- d ファンタジー 3
- ⑩ e ファンタジー 4
- f ファンタジックブラス
- g コスミックパッド
- h コスミックパッド 2

BASS&GUITAR

- ⑪ a ウッドベース
- b エレクトリックベース
- c フレットレスベース
- d ウッドベース & シンバル
- e エレクトリックベース & シンバル
- f バラードギター
- g ピックナイロンギター
- h フィンガーナイロンギター

2. デュアル演奏

デュアル演奏とは2つの音色を重ね合わせる機能です。2つの音色を同時に発音させメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

■ デュアル演奏モードに入る

デュアル演奏での2つの音色の変更、音量バランス、オクターブやタッチの変更は、Sound (Dual)画面で行います。

1. Sound画面のDualボタンをタップします。
Sound (Dual)画面が表示されます。



Sound (Dual) 画面

- ① **メニューボタン**
サウンドメニュー画面を表示します。
- ② **Singleボタン**
Sound (Single)画面を表示します。
- ③ **Dualボタン**
色が変わってDualを選択中であることを表示します。
- ④ **Splitボタン**
Sound (Split)画面を表示します。
- ⑤ **4Handsボタン**
Sound (4Hands)画面を表示します。
- ⑥ **main音色表示(画面の上半分)**
選択しているmain音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとデュアルモードのサウンド選択画面へ移動します。
- ⑦ **layered音色表示(画面の下半分)**
選択しているlayered音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとデュアルモードのサウンド選択画面へ移動します。



■ デュアル演奏の音色を変更する

サウンド選択(デュアル)画面で音色を変更します。

音色の種類については、「●音色一覧」(P.31)をご覧ください。

1. Sound (Dual) 画面の音色表示を任意の方向にスワイプします。
サウンド選択(デュアル)画面が表示されます。

サウンド選択(デュアル)画面

① main音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。

② layered音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。

2. 変更したい方の音色選択をスワイプして、目的の音色を中央にセットします。
指を離すと音色画像が拡大して選択が確定し、Sound (Dual) 画面に戻ります。
main、layeredの音色を一度に変更することはできません。
両方とも変更するときは、手順1からの操作を繰り返してください。



いろいろな演奏方法

■ デュアル演奏の設定を変更する

デュアル演奏では、以下の設定を行うことができます。

種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
レイヤーオクターブシフト	0	デュアル演奏において、2番目の音色の音域をオクターブ単位で移動します。例えば「SK-EXコンサートグランド」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて(あるいは下げて)演奏することができます。
レイヤーダイナミクス	10	デュアル演奏において、2番目の音色のタッチ変化の仕方を調整します。例えば、「SK-EXコンサートグランド」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

いろいろな演奏方法

1. Sound (Dual) 画面で、☰ (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面 (P. 23) が表示されます。
2. キーボードセッティングをタップします。
キーボードセッティング(デュアル)画面が表示されます。



キーボード
セッティング

キーボードセッティング(デュアル)画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② バランス
スライダーを左右に動かしてmainとlayeredの音量バランスを設定します。設定値が数字で表示されます。
- ③ レイヤーオクターブシフト
スライダーを左右に動かしてレイヤーオクターブシフトの値を設定します。設定値が数字で表示されます。
- ④ レイヤーダイナミクス
スライダーを左右に動かしてレイヤーダイナミクスの値を設定します。設定値が数字で表示されます。



● バランスを調節する

mainの音色とlayeredの音色の、演奏時の音量バランスを調節します。

● レイヤーオクターブシフトを設定する

layeredの音色のオクターブを変更します。

-(マイナス)にするとオクターブが下がります。

※ レイヤーオクターブシフトでは、音色によっては高音域の音が設定したオクターブまで上がらない場合があります。

● レイヤーダイナミクスを設定する

layeredの音色のタッチ変化を調節します。数字が小さいほどタッチ変化の幅が小さくなります。

※ レイヤーダイナミクスの設定値10は単独で演奏した場合と同じダイナミクスになります。

3. スプリット演奏

スプリット演奏とは鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりすることができます。また鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。初期設定ではスプリットポイントはC4(ド)に設定されています。

■ スプリット演奏モードに入る

- 1. Sound画面のSplitボタンをタップします。
Sound (Split) 画面が表示されます。



Sound (Split) 画面

- ① **メニューボタン**
サウンドメニュー画面を表示します。
- ② **Singleボタン**
Sound (Single) 画面を表示します。
- ③ **Dualボタン**
Sound (Dual) 画面を表示します。
- ④ **Splitボタン**
色が変わってスプリットモードを選択中であることを表示します。
- ⑤ **4Handsボタン**
Sound (4Hands) 画面を表示します。
- ⑥ **upper音色表示**
選択しているupper音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとサウンド選択(スプリット)画面へ移動します。
- ⑦ **lower音色表示**
選択しているlower音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとサウンド選択(スプリット)画面へ移動します。



いろいろな演奏方法

■ スプリット演奏の音色を変更する

サウンド選択(スプリット)画面で音色を変更します。
音色の種類については、「●音色一覧」(P.31)をご覧ください。

1. Sound (Split) 画面の音色表示を任意の方向にスワイプします。
サウンド選択(スプリット)画面が表示されます。

サウンド選択(スプリット)画面

① upper音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。

② lower音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。

2. 変更したい方の音色選択をスワイプして、目的の音色を選択します。
指を離すと音色画像が拡大して選択が確定し、Sound (Split) 画面に戻ります。
upper、lowerの音色を一度に変更することはできません。
両方とも変更するときは、手順1からの操作を繰り返してください。



■ スプリット演奏の設定を変更する

スプリット演奏では下記の設定を行うことができます。

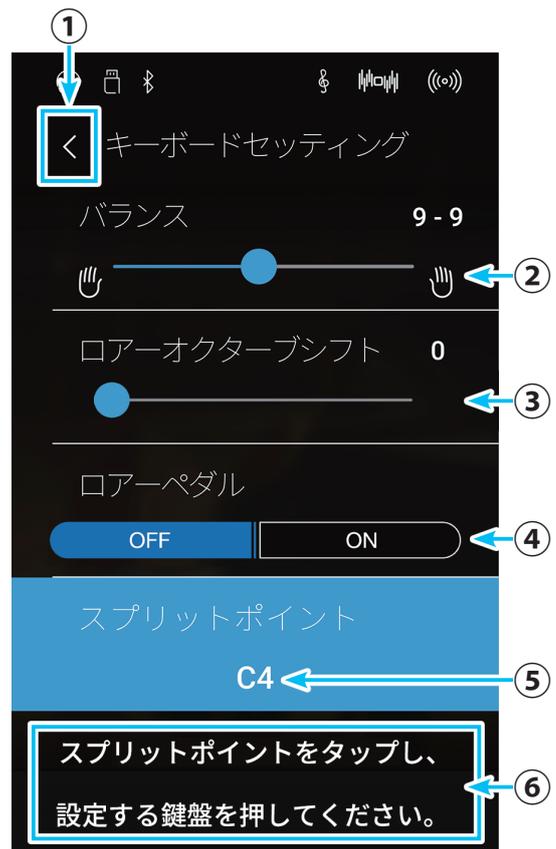
種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
ロアーオクターブシフト	0	スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
ロアーペダルのON/OFF	オフ	スプリット演奏時において、ペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/オフを設定します。 高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。
スプリットポイント	C4	スプリットポイントを設定します。

1. Sound (Split) 画面で、☰ (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面 (P. 23) が表示されます。
2. キーボードセッティングをタップします。
キーボードセッティング(スプリット)画面が表示されます。



キーボードセッティング(スプリット)画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② バランス
スライダーを左右に動かして音量バランスを設定します。設定値が数字で表示されます。
- ③ ロアーオクターブシフト
スライダーでロアーオクターブシフトの値を設定します。設定値を数字で表示します。
- ④ ロアーペダルON/OFFスイッチ
ロアーペダルのON/OFFを設定します。
- ⑤ スプリットポイント
現在スプリットポイントに設定されている鍵盤番号が表示されます。タップするとスプリットポイントを変更することができます。
- ⑥ 操作ガイド
スプリットポイントの変更操作の説明を表示します。



いろいろな演奏方法

● バランスを調節する

高音側の音色と低音側の音色の音量バランスを設定します。

● ロアーオクターブシフトを設定する

スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
オクターブ値を「0～3」の間で設定できます。

※ スプリットモードでLowerと表示されている音色のオクターブが変わります。

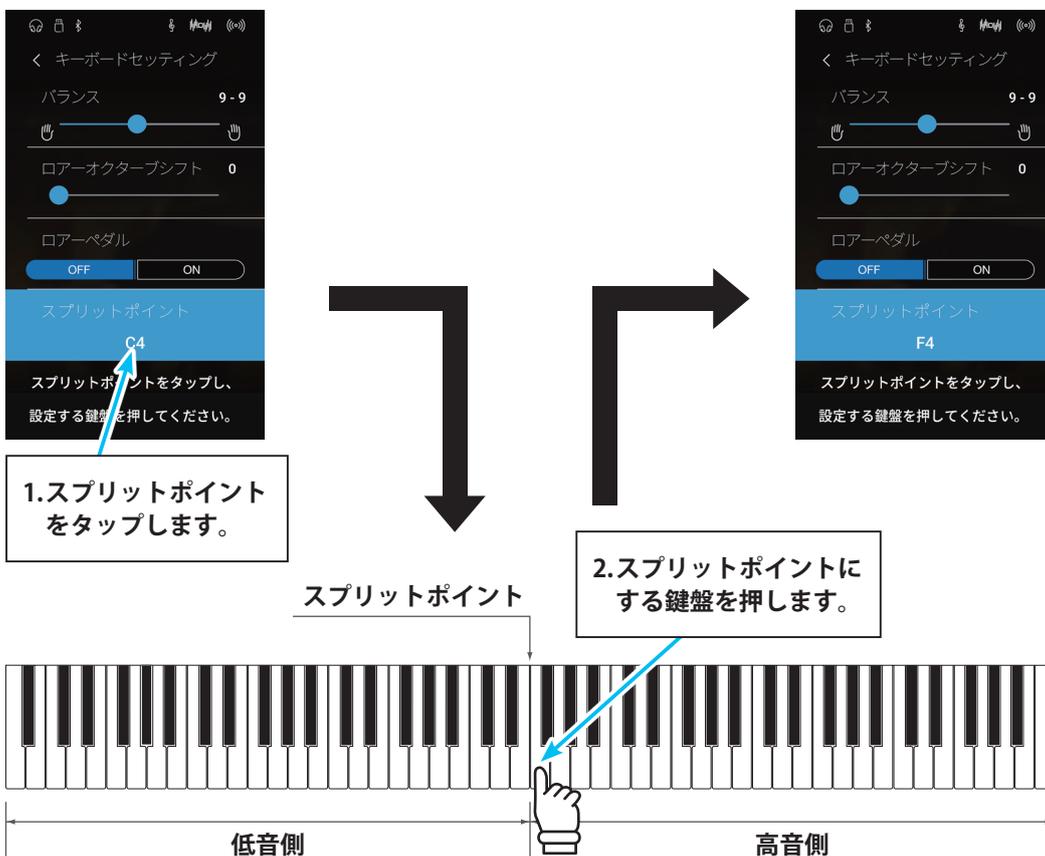
● ロアーペダルのON/OFFを設定する

スプリット演奏時に低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/ オフを設定します。
高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

※ オンにすると、ペダルを踏んで演奏した時に低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。オフにすると、低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。

● スプリットポイントを変更する

1. スプリットポイントボタンをタップします。
2. 続いてスプリットポイントに設定したい鍵盤(高音側の最低音)を押して、スプリットポイントを変更します。
再度変更したいときは、手順1からの操作を繰り返してください。



いろいろな演奏方法

4. 4ハンズモード(連弾演奏)

4ハンズモードとは鍵盤を左右2つに分け、それぞれ同じ音域で演奏することです。この時ダンパーペダル(右ペダル)は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル(左ペダル)は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作しますので、まるで2台のピアノのように使うことができます。初期設定ではスプリットポイントはF4(ファ)に設定されています。

■ 4ハンズモードに入る

1. Sound画面の4Handsボタンをタップします。
Sound (4Hands)画面が表示されます。



Sound (4Hands)画面

- ① **メニューボタン**
サウンドメニュー画面を表示します。
- ② **Singleボタン**
Sound (Single)画面を表示します。
- ③ **Dualボタン**
Sound (Dual)画面を表示します。
- ④ **Splitボタン**
Sound (Split)画面を表示します。
- ⑤ **4Handsボタン**
色が変わって4ハンズモードを選択中であることを表示します。
- ⑥ **right音色表示**
選択しているright音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとサウンド選択(4ハンズ)を表示します。
- ⑦ **left音色表示**
選択しているleft音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとサウンド選択(4ハンズ)を表示します。



※ スプリットモードと4ハンズモードの各設定方法は似ていますが、それぞれ個別に設定されます。例えばスプリットモードで設定した音量バランスは、4ハンズモードの音量バランスに影響しません。

■ 右側・左側の音色を変更する

サウンド選択(4ハンズ)画面で音色を変更します。
音色の種類については、「●音色一覧」(P.31)をご覧ください。

1. Sound (4Hands) 画面の音色表示を任意の方向にスワイプします。
サウンド選択(4ハンズ)画面が表示されます。

サウンド選択(4ハンズ)画面

① right音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。

② left音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。

2. 変更したい方の音色選択をスワイプして、目的の音色を選択します。
指を離すと音色画像が拡大して選択が確定し、Sound (4Hands)画面に戻ります。
right、leftの音色を一度に変更することはできません。両方とも変更するときは、手順1からの操作を繰り返してください。



■ 4ハンズ演奏の設定を変更する

4ハンズ演奏では下記の設定を行うことができます。

種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
ライトオクターブシフト	-2	右側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
レフトオクターブシフト	2	左側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
スプリットポイント	F4	スプリットポイントを設定します。

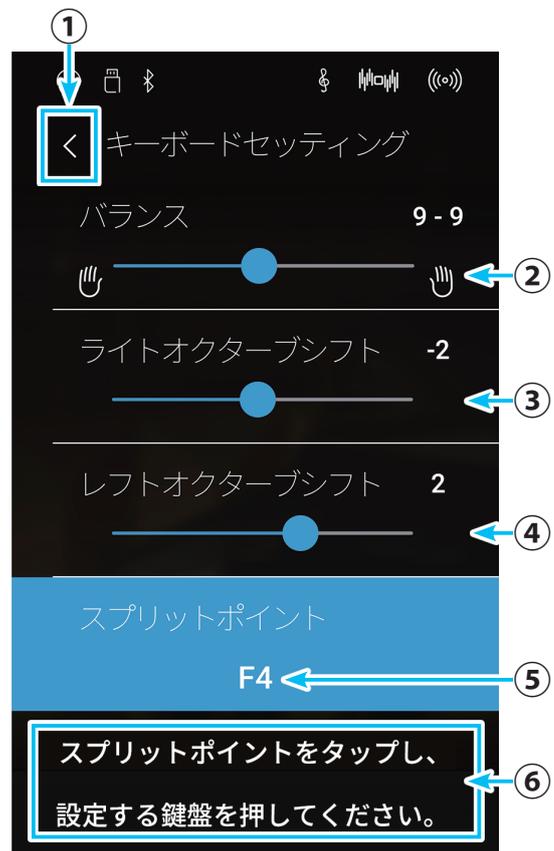
1. Sound (4Hands) 画面で、☰ (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面 (P. 23) が表示されます。
2. キーボードセッティングをタップします。
キーボードセッティング (4ハンズ) 画面が表示されます。



キーボード
セッティング

キーボードセッティング (4ハンズ) 画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② バランス
スライダーを左右に動かして音量バランスを設定します。設定値が数字で表示されます。
- ③ ライトオクターブシフト
スライダーを左右に動かしてライトオクターブシフトを設定します。設定値を数字で表示します。
- ④ レフトオクターブシフト
スライダーを左右に動かしてレフトオクターブシフトを設定します。設定値を数字で表示します。
- ⑤ スプリットポイント
現在スプリットポイントに設定されている鍵盤番号が表示されます。タップするとスプリットポイントを変更することができます。
- ⑥ 操作ガイド
スプリットポイントの変更操作の説明を表示します。



いろいろな演奏方法

● バランスを調節する

右側の音色と左側の音色の、演奏時の音量バランスを調節します。

● ライトオクターブシフトを設定する

「-3～0」の間で設定します。

4ハンズ演奏で右側の音色のオクターブが変わります。

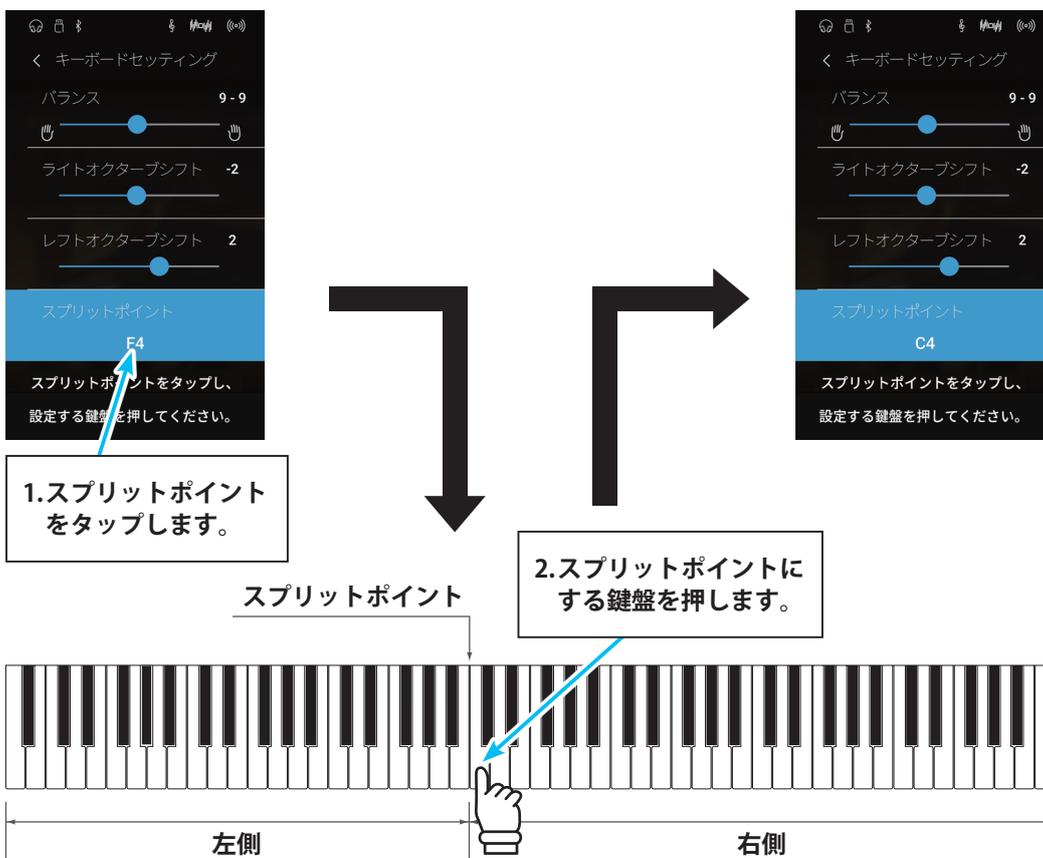
● レフトオクターブシフトを設定する

「0～3」の間で設定します。

4ハンズ演奏で左側の音色のオクターブが変わります。

● スプリットポイントを変更する

1. スプリットポイントボタンをタップします。
2. 続いてスプリットポイントに設定したい鍵盤(右側の最低音)を押して、スプリットポイントを変更します。
再度変更したいときは、手順1からの操作を繰り返してください。



いろいろな機能を楽しむ

AURESには音色ごとのデモ曲、発表会などで演奏されることの多い曲、レッスンに使用されることの多い曲などを内蔵しています。また、レッスンに便利な機能や手軽に本格的な演奏を可能にする機能を備えています。これらの曲を鑑賞したり、一緒に演奏したり、レッスン機能や演奏をサポートする機能など、本機のいろいろな演奏機能をご紹介します。

■ Music画面を表示する

デモ曲や演奏機能を利用するための入り口になるのがMusic画面です。

1. タブバーの  (Music) ボタンをタップします。
Music画面が表示されます。



Music画面

- ① **デモソング**
内蔵されているデモ曲を鑑賞します。(P. 44)
- ② **ピアノミュージック**
本機には発表会などで演奏されることの多いピアノ曲が収録されています。これらを鑑賞します。(P. 46)
- ③ **レッスン**
内蔵されている練習曲とさまざまなレッスン機能を利用してレッスンをを行います。(P. 50)
- ④ **コンサートマジック**
指一本で本格的なピアノ演奏を可能にするコンサートマジック機能を利用して演奏を楽しみます。(P. 57)
- ⑤ **レコーダープレイバック**
本機で録音した演奏を再生します。(P. 64)
- ⑥ **USBメモリープレーヤー**
本機に接続されたUSBメモリーに記録された演奏などを再生します。(P. 72)
※ USBメモリーが接続されていないときは表示されません。



いろいろな機能を楽しむ

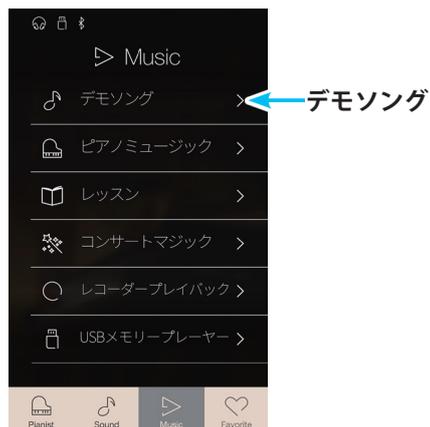
次ページから各機能ごとに説明します。

1. デモ曲を聴く

各音色ごとにデモ曲を内蔵しています。それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。
内蔵デモ曲については「2. デモ曲一覧」(P.164)をご覧ください。

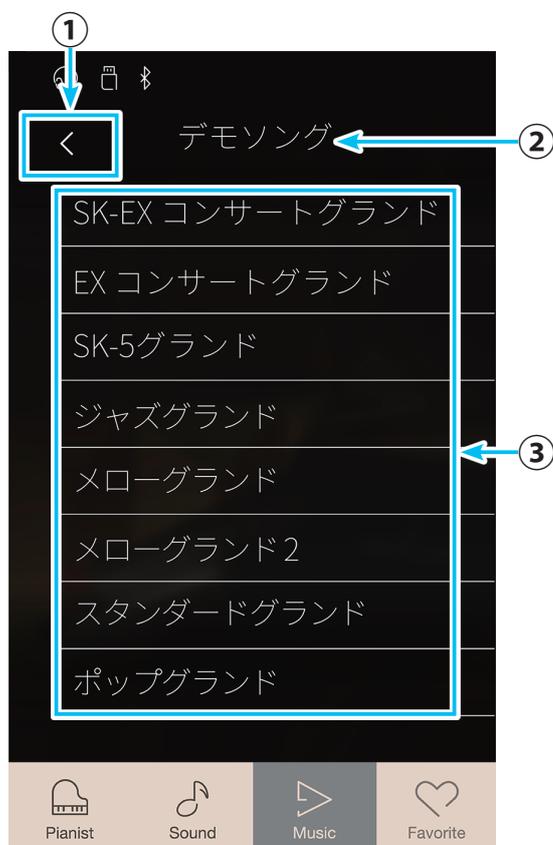
■ デモ曲モードに入る

1. Music画面で  デモソングをタップします。
選曲画面が表示されます。



選曲画面

- ① 戻るボタン
Music画面に戻ります。
- ② モード名
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ 音色リスト
デモ曲が収録されている音色のリストです。



※ 実際の画面では、全部の音色が表示されない場合があります。
上下にスワイプして表示します。

2. 音色リストの中からデモ曲を聴きたい音色をタップします。
ミュージックプレイ(デモソング)画面が表示され、曲が再生されます。

ミュージックプレイ(デモソング)画面

① 戻るボタン

Music画面に戻ります。

② 音色名表示

選択中の音色名を表示します。

③ 1曲戻るボタン

1曲前の曲に移ります。

④ 1曲進むボタン

1曲次の曲に移ります。

⑤ 再生/停止ボタン

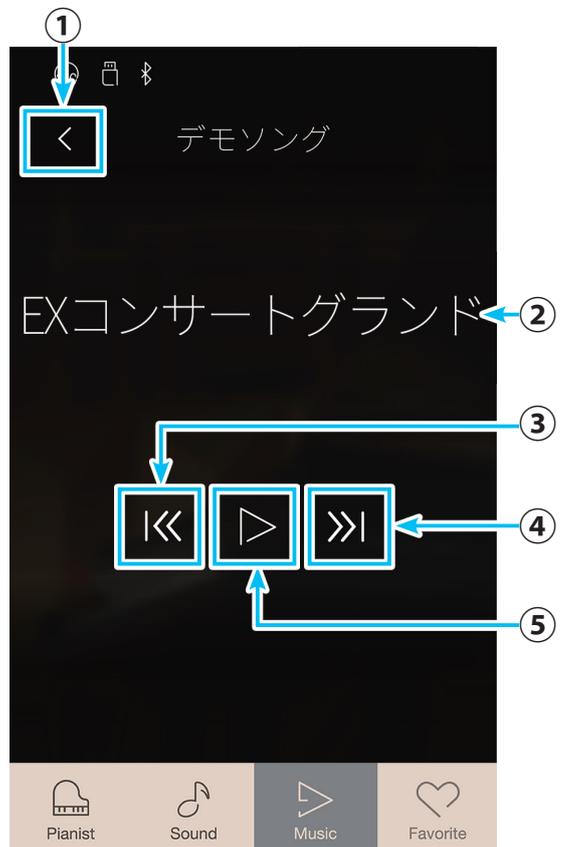
デモ演奏を再生/停止します。

タップするたびに再生/停止が切り替わります。

3. ▶(再生)ボタンをタップします。

デモ曲が再生されます。

再生を止めるときは、□(停止)ボタンをタップします。



■ デモ演奏を停止してデモ曲モードを終了する

デモ曲の再生中に □ (停止) ボタンをタップするとデモ曲が停止します。

< (戻る) ボタンをタップすると選曲画面に戻ります。

停止させない場合、画面が変わっても再生を続けます。

2. ピアノミュージックを聴く

AURESには発表会などでよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品29曲を内蔵しています。また対応楽譜「CLASSICAL PIANO COLLECTION」を付属しています。鑑賞や練習にご活用ください。

曲名については「3. ピアノミュージック/レッスン曲集一覧」(P. 165)をご覧ください。

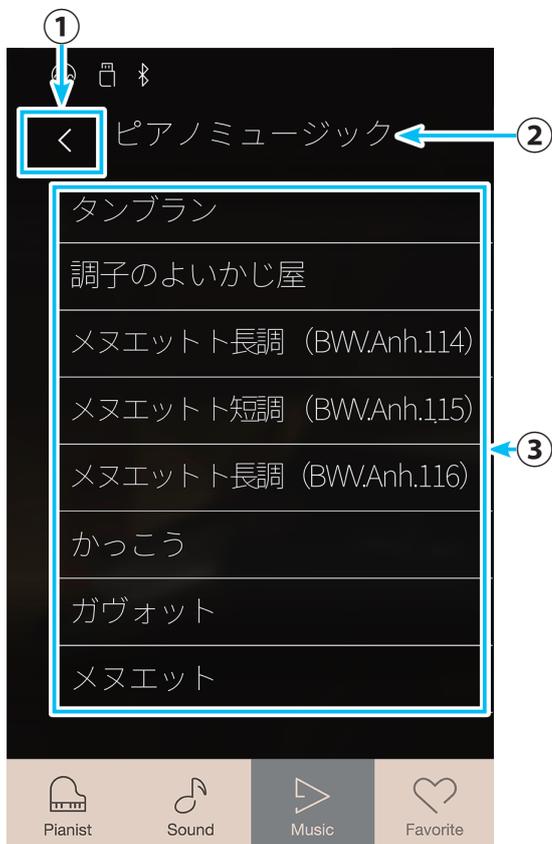
■ ピアノミュージックモードに入る

1. Music画面で  ピアノミュージックをタップします。選曲画面が表示されます。



選曲画面

- ① 戻るボタン
Music画面に戻ります。
- ② モード名
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ 曲目リスト
収録されている曲目のリストです。

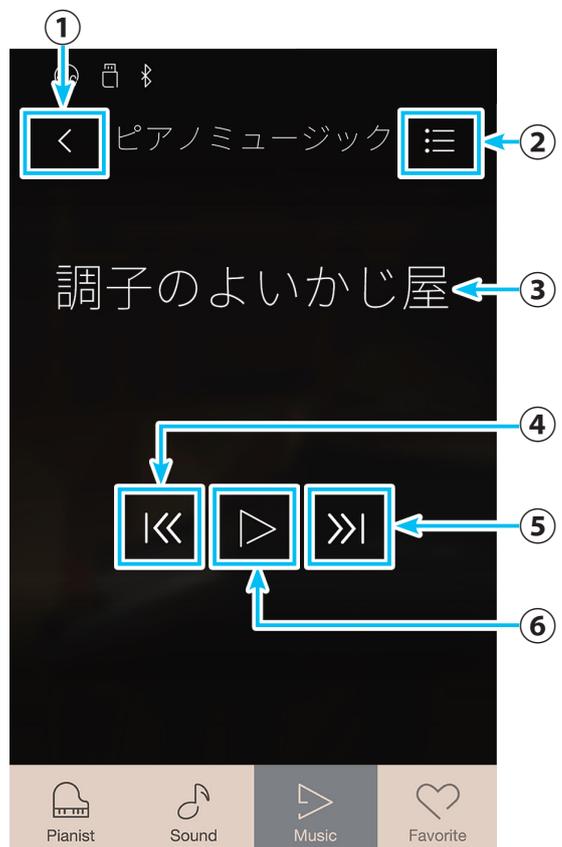


※ 上記の画面は曲目が全て表示されておりません。
上下にスワイプして表示します。

2. 曲目リストの中から聴きたい曲をタップします。
ミュージックプレイ(ピアノミュージック)画面が表示され、
曲が再生されます。

ミュージックプレイ(ピアノミュージック)画面

- ① **戻るボタン**
Music画面に戻ります。
- ② **メニューボタン**
ミュージックメニュー画面を表示します。
左右の音量バランスを調整します。
- ③ **曲名表示**
選択中の曲名を表示します。
- ④ **1曲戻るボタン**
1曲前の曲に移ります。
- ⑤ **1曲進むボタン**
1曲次の曲に移ります。
- ⑥ **再生/停止ボタン**
デモ演奏を再生/停止します。
タップするたびに再生/停止が切り替わります。
3. ▶(再生)ボタンをタップします。
選択した曲が再生されます。
再生を止めるときは、◻(停止)ボタンをタップします。



■ 演奏を停止してピアノミュージックモードを終了する

曲の再生中に再生中に ◻ (停止) ボタンをタップすると演奏が停止します。
◀ (戻る) ボタンをタップすると選曲画面に戻ります。

停止させない場合、画面が変わっても再生を続けます。

■ 片手で練習する

練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習します。

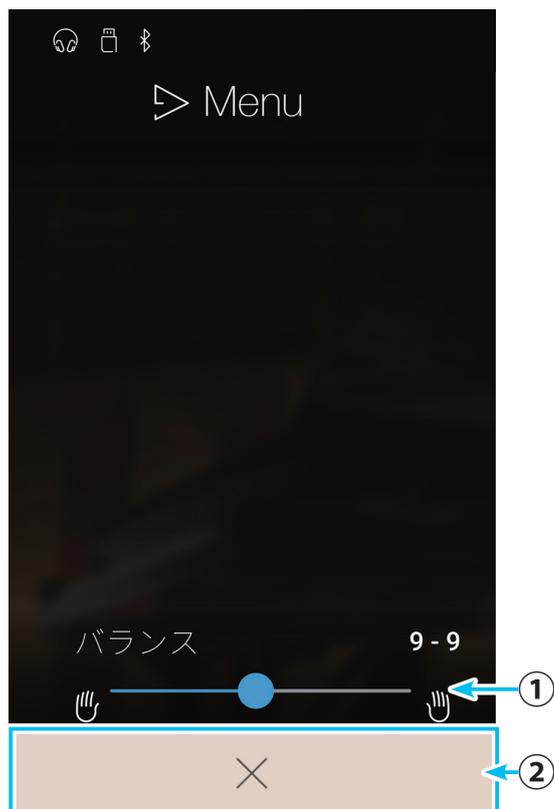
右パート・左パートの音量バランスを変更することができます。右手パートを練習したいときは左パートのバランスを大きく、左手パートを練習したいときは右パートのバランスを大きくします。

1. ☰ (メニュー) ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(ピアノミュージック)画面が表示されます。

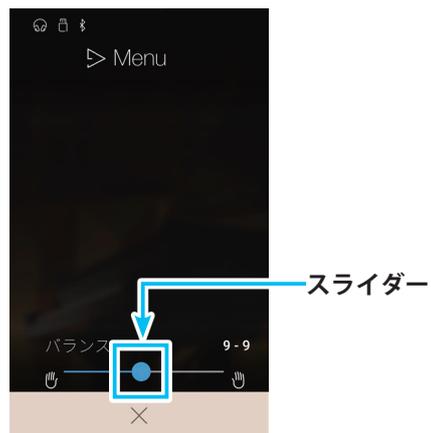


ミュージックメニュー(ピアノミュージック)画面

- ① **バランス**
右手と左手の音量バランスを調節します。
- ② **✕(閉じる)ボタン**
ミュージックメニュー(ピアノミュージック)画面が閉じてミュージックプレイ(ピアノミュージック)画面に戻ります。



2. バランスの●(スライダー)を左右に動かして左右の音量バランスを調節します。



3. バランスの調節後は✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(ピアノミュージック)画面が閉じて、
ミュージックプレイ(ピアノミュージック)画面に戻ります。



● 練習曲の左手部分を再生しながら右手部分を練習したい場合

左の値を大きくすると練習曲の右手部分が小さくなり、ガイドメロディとなります。
値を9-9にすると右手部分は聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

● 練習曲の右手部分を再生しながら左手部分を練習したい場合

右の値を大きくすると練習曲の左手部分が小さくなり、ガイドメロディとなります。
値を1-9にすると左手部分は聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

※ 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、練習曲の再生を小さくするか消してください。

3. レッスン

AURESはピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵しており、楽しみながら様々なレッスンを行うことができます。レッスン曲集の種類については「3. ピアノミュージック/レッスン曲集一覧」(P.165)をご覧ください。

■ レッスン機能でできること

内蔵曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。
4. 曲の途中の部分を繰り返して練習する。
5. 見本曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートの演奏を録音して聴いてみる。

※ これら練習曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。

※ 設定されているテンポよりも遅くして再生した時、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変わらない場合があります。

※ 練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時(フォルテ)の音量を下げています。

※ バッハ・インヴェンションの強弱記号などの表現記号については、カワイ出版楽譜、他を参考にしています。

※ ショパン・ワルツ集では、ワルツ独特のリズムの揺れやフレーズの抑揚を表現するため、演奏がメトロノームとずれています。メトロノームは速度表現のガイドとしてご利用ください。

■ レッスンモードに入る

1. Music画面で  レッスンをタップします。
選曲画面が表示されます。



レッスン

選曲画面

① 戻るボタン

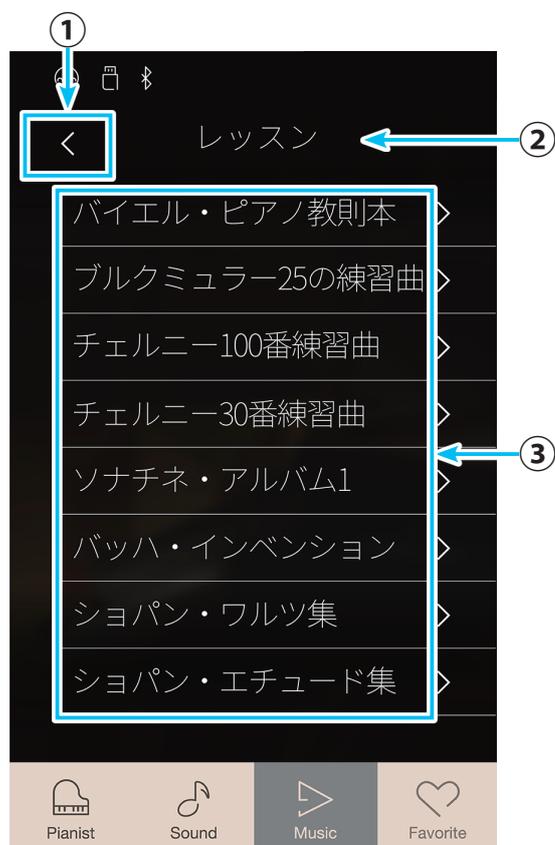
Music画面に戻ります。

② モード名

Music画面で選択したモード名が表示されます。

③ 曲集リスト

収録されている曲集のリストです。



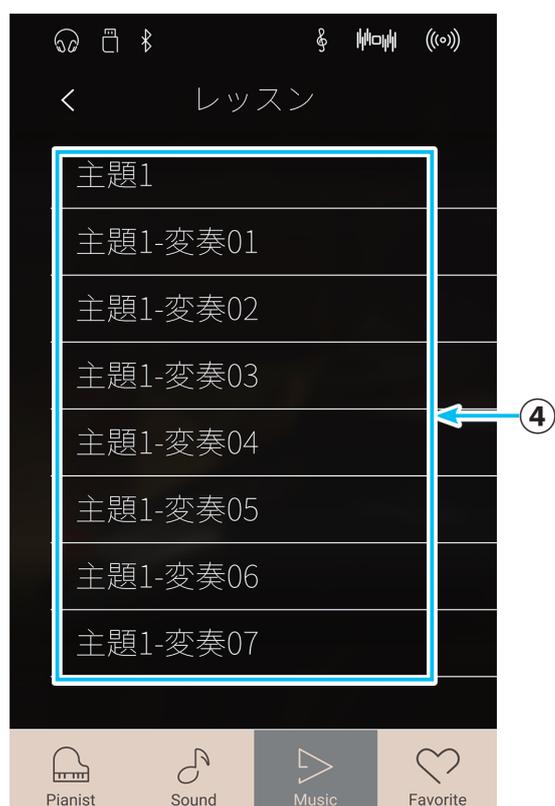
※ 上記の画面は、曲集が全て表示されておりません。
上下にスワイプして表示します。

2. 曲集リストの中からレッスンに使用する曲集をタップします。

曲目リストが表示されます。

④ 曲目リスト

収録されている曲目のリストです。



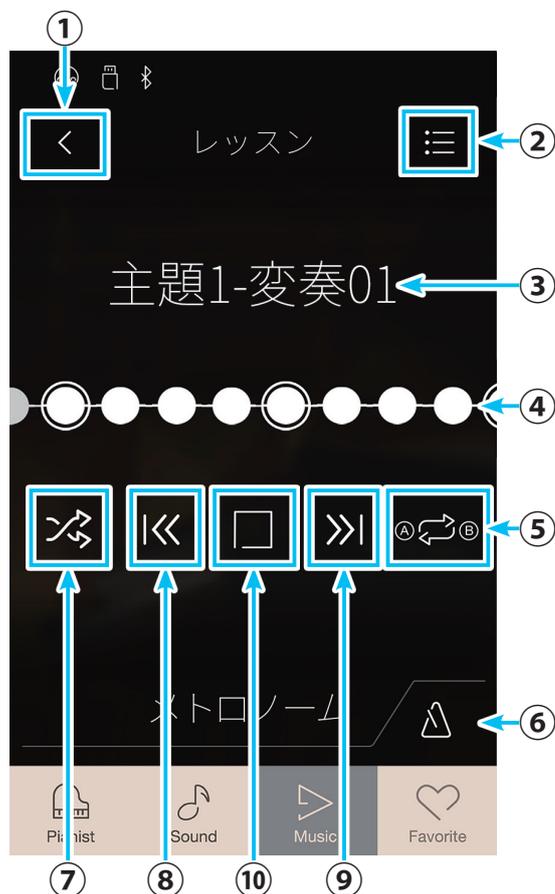
※ 上記の画面は、曲目が全て表示されておりません。
上下にスワイプして表示します。

いろいろな機能を楽しむ

3. 曲目リストの中からレッスンに使用する曲目をタップします。
ミュージックプレイ(レッスン)画面が表示され、レッスンモードに入ります。

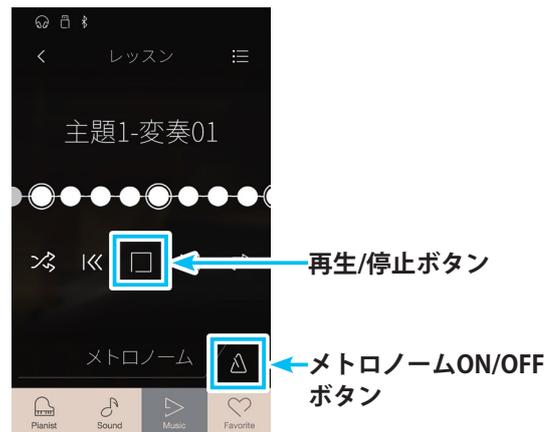
ミュージックプレイ(レッスン)画面

- ① 戻るボタン
曲目リストに戻ります。
- ② メニューボタン
ミュージックメニュー画面を表示します。
- ③ 曲目表示
再生する曲目を表示します。
- ④ ビートバー
拍子を表示します。左右にスワイプして演奏位置を変更します。
- ⑤ A-Bリピートボタン
指定した範囲を繰り返すリピート演奏でその範囲を指定します。
- ⑥ メトロノームバー
メトロノームのON/OFFや設定を行います。
- ⑦ 再生モードボタン
再生モードを切り替えます。
- ⑧ 1曲戻るボタン
選曲画面の曲目リストの1つ前の曲に切り替えます。
- ⑨ 1曲進むボタン
選曲画面の曲目リストの1つ次の曲に切り替えます。
- ⑩ 再生/停止ボタン
タップするたびに演奏の再生/停止を切り替えます。



■ 練習曲を聴く

1. ▶ (再生) ボタンをタップします。
再生ボタンの表示が □ に変わり、メトロノームが1小節鳴った後、見本曲の演奏が始まります。
※ この間は現在の位置より1小節前の小節が表示されます。弱起の曲の場合、最初の小節位置はゼロになります。
※ 見本曲再生中はメトロノームが再生されません。メトロノームを鳴らしたい場合には、△ (メトロノームON/OFF) ボタンをタップしてメトロノームをONにします。
2. 再生を止めるときには □ (停止) ボタンをタップします。
停止ボタンの表示が ▶ に変わり、見本曲の再生が止まります。
3. もう一度 ▶ (再生) ボタンをタップすると、止めた小節の2小節前から再生が始まります。



■ レッスンモードを終了する

レッスンモードを終了するには、< (戻る) ボタンをタップします。
曲目リストに戻り、さらに < (戻る) ボタンをタップして選曲画面に戻ります。



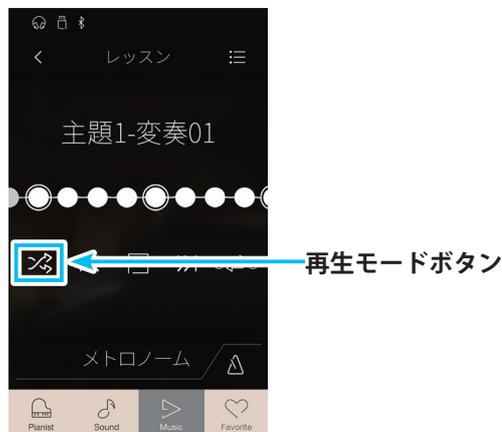
■ 再生モードを設定する

レッスンモードでは、下記の再生モードを設定することができます。

モード	再生モードボタン	説明
シングル		選択した曲を1度再生します。
1リピート		選択した曲をリピート再生します。
オールリピート		選択された曲目内にある曲をリピート再生します。
ランダム		選択された曲目内にある曲をランダム再生します。

ミュージックプレイ(レッスン)画面の再生モードボタンで設定します。

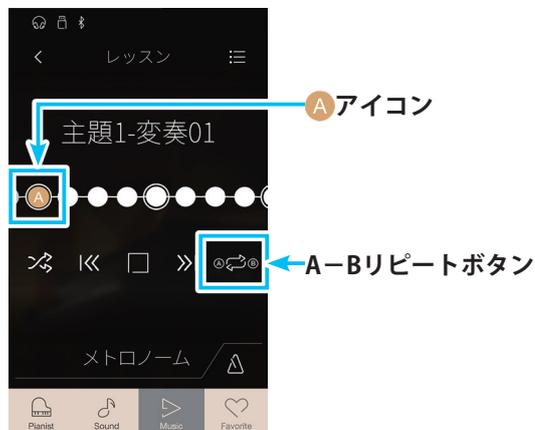
1. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
2. 目的の再生モードに設定します。



■ 練習曲の聴きたい範囲を繰り返し再生する

現在の曲の中の聴きたい範囲を選んで再生します。A-Bリピートボタンで聴きたい範囲を設定します。一度設定すると解除するまで設定範囲を繰り返し再生します。

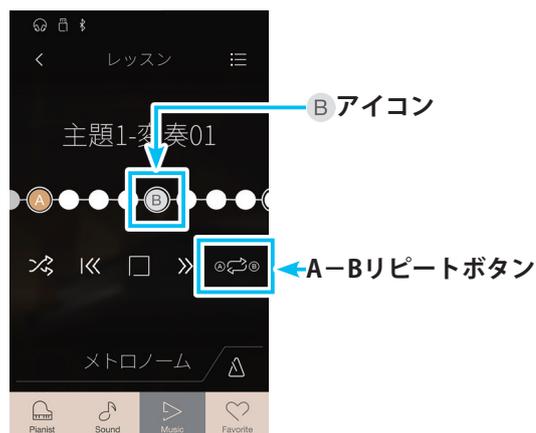
1. 範囲を設定するために曲を再生します。
2. 範囲の始めの位置でA-Bリピートボタンをタップします。
ビートバーにAアイコンが表示されます。



3. 範囲の終わりの位置でA-Bリピートボタンをタップします。ビートバーにBアイコンが表示されます。

AアイコンからBアイコンの範囲が繰り返し再生されます。

※ カウント・インのため、Aアイコンで選んだ小節の2小節前から再生されます。



4. 繰り返し再生を止めるときには、A-Bリピートボタンをタップします。

A-Bリピート再生が解除されます。



■ 片手で練習する

練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習します。

右パート・左パートの音量バランスを変更することができます。右手パートを練習したいときは左パートのバランスを大きく、左手パートを練習したいときは右パートのバランスを大きくします。

1. ☰ (メニュー) ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レッスンソング)画面が表示されます。



いろいろな機能を楽しむ

いろいろな機能を楽しむ

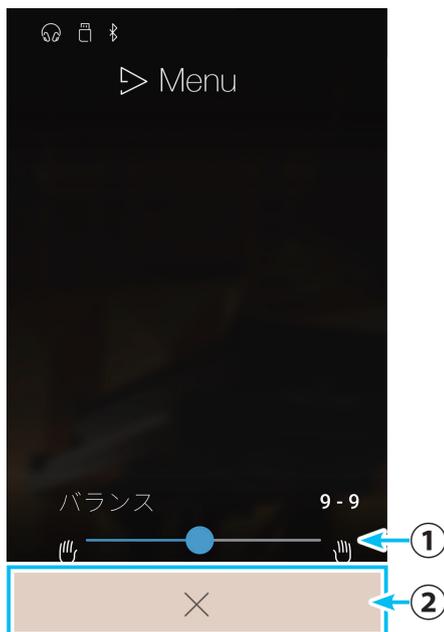
ミュージックメニュー(レッスンソング)画面

① バランス

右手と左手の音量バランスを調節します。

② ✕(閉じる)ボタン

ミュージックメニュー(レッスンソング)画面が閉じて
ミュージックプレイ(レッスン)画面に戻ります。



2. バランスの●(スライダー)を左右に動かして左右の音量
バランスを調節します。

● 練習曲の左手パートを再生しながら右手パートを 練習したい場合

左の値を大きくすると練習曲の右手パートが小さくなり、ガイ
ドメロディとなります。

値を9-1にすると右手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディ
なしで練習できます。

● 練習曲の右手パートを再生しながら左手パートを 練習したい場合

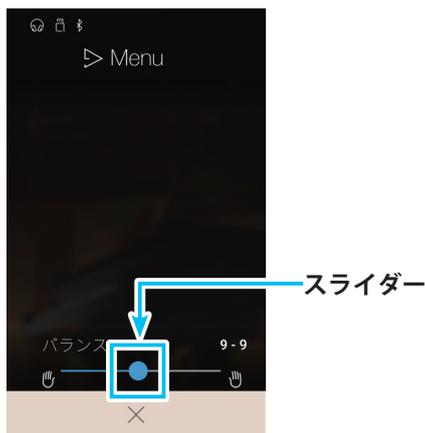
右の値を大きくすると練習曲の左手パートが小さくなり、ガイ
ドメロディとなります。

値を1-9にすると左手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディ
なしで練習できます。

※ 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程や
タイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障で
はありません。気になる場合は、練習曲の再生を小さくするか消してく
ださい。

※ バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、左の値を大きく
すると生徒のパートが小さくなり、右の値を大きくすると先生のパート
が小さくなります。

3. バランスの調節後は✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レッスンソング)画面が閉じて、
ミュージックプレイ(レッスン)画面に戻ります。



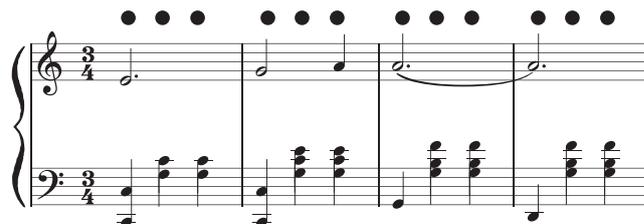
4. コンサートマジック

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。AURESにはコンサートマジック曲を88曲内蔵しており、下記の3つのモードで演奏を楽しむことができます。曲名については「4. コンサートマジック曲目一覧」(P. 166)をご覧ください。

● マジカルタクトモード

一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

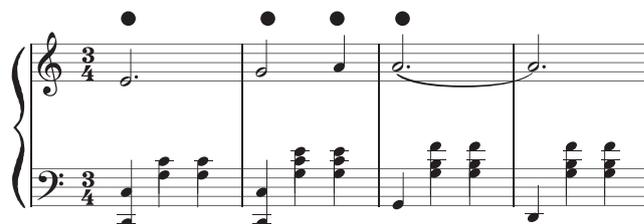
※「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。



● マジカルメロディーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

※「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。



● マジカルメロディー&キーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾いた鍵盤の音が出ますので正しい音を弾きましょう。

※モードの選び方は「■ コンサートマジックを楽しむ」(P. 60)を参照してください。

■ コンサートマジックモードに入る

コンサートマジック曲の選択と演奏方法を説明します。

1. Music画面で  コンサートマジックをタップします。選曲画面が表示されます。



コンサートマジック

いろいろな機能を楽しむ

選曲画面

① 戻るボタン

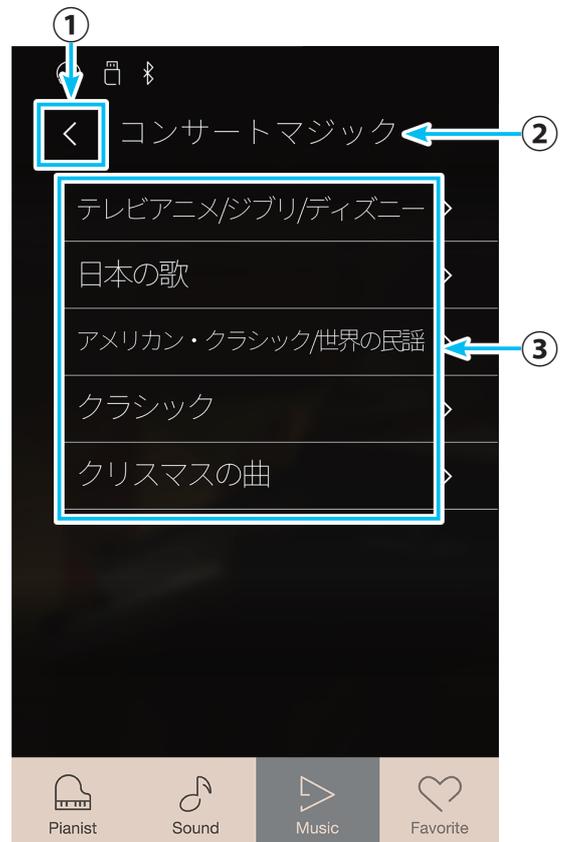
Music画面に戻ります。

② モード名

Music画面で選択したモード名が表示されます。

③ 曲目グループリスト

収録されている曲目グループのリストです。

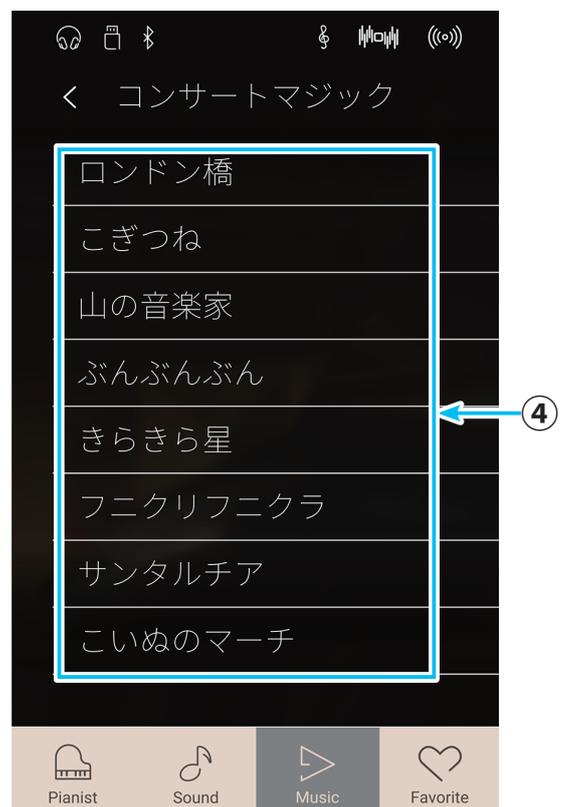


2. 曲目グループリストの中から演奏する曲目グループをタップします。

曲目リストが表示されます。

④ 曲目リスト

収録されている曲目のリストです。

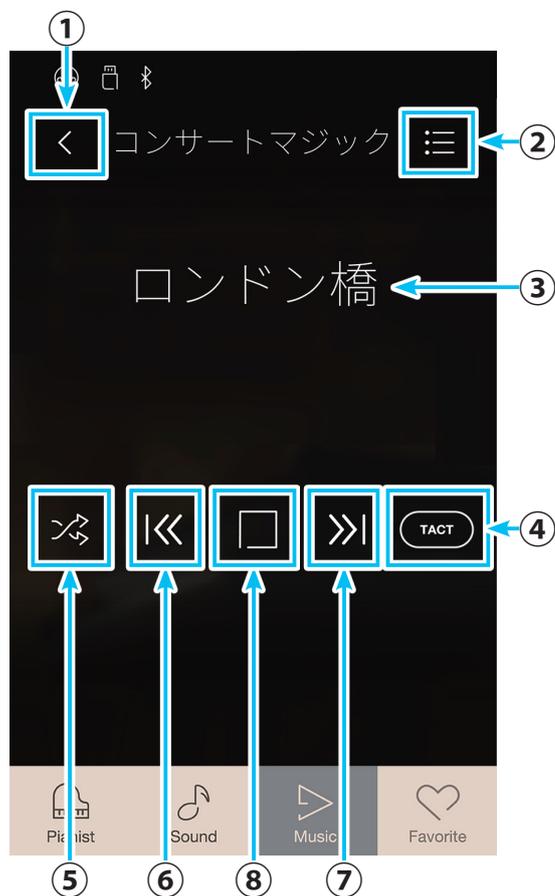


※ 上記の画面は、曲目が全て表示されておりません。
上下にスワイプして表示します。

3. 曲目リストの中から演奏する曲目をタップします。
ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面が表示され、
コンサートマジックモードに入ります。

ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面

- ① 戻るボタン
曲目リストに戻ります。
- ② メニューボタン
ミュージックメニュー画面を表示します。
- ③ 曲目表示
再生する曲目を表示します。
- ④ コン서트マジックモードボタン
コンサートマジックモードを切り替えます。
- ⑤ 再生モードボタン
再生モードを切り替えます。
- ⑥ 1曲戻るボタン
選曲画面の曲目リストの1つ前の曲に切り替えます。
- ⑦ 1曲進むボタン
選曲画面の曲目リストの1つ次の曲に切り替えます。
- ⑧ 再生/停止ボタン
タップするたびに演奏の再生/停止を切り替えます。



■ コンサートマジックを楽しむ

ひとつの鍵盤を弾いてみましょう。鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。

● モードを設定する。

コンサートをマジックモードはミュージックプレイ(コンサートマジック)画面で切り替えます。

1. ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面でコンサートマジックモードボタンをタップします。
タップするたびにコンサートマジックモード(P. 57)が切り替わります。

モード	コンサートマジックモードボタン
マジカルタクトモード	TACT
マジカルメロディモード	MELODY
マジカルメロディ&キーモード	MELODY & KEY



2. 目的のコンサートマジックモードを選択してください。

※ 演奏やモードによっては音が重なり、ノイズのように聞こえる場合がありますが、これは故障ではありません。

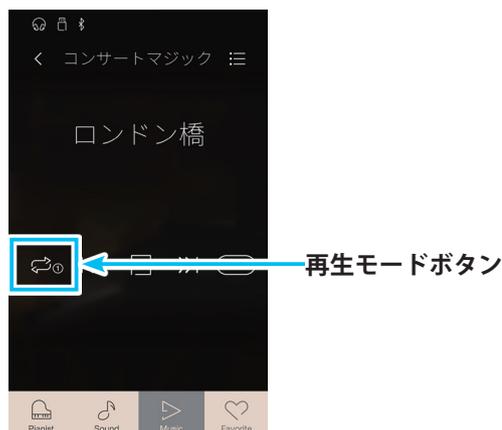
■ コンサートマジック曲を聴いてみよう

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

● 1リピート

選択した曲を繰り返し再生します。

1. 曲目リストで再生したい曲目をタップします。
ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面が表示されます。
2. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
3.  (1リピート) ボタンにします。
4.  (再生) ボタンをタップします。



● ランダム再生

コンサートマジック内蔵曲をランダムに演奏します。

ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面の再生モードボタンで切り替えます。

※ ランダム再生は、グループ内の曲をランダムに演奏します。

1. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
2. ♫(ランダム) ボタンにします。
3. ▶(再生) ボタンをタップします。



● グループ再生

選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。

例えば、No.23の「ふるさと」が選ばれていると、この曲から演奏が開始され、No.21 ~ No.31のグループ「日本の歌」を繰り返し再生します。

あらかじめ、再生したいグループに含まれている曲を選択してから、コンサートマジック画面の再生モードボタンで切り替えます。

1. 曲目リストで再生したいグループに含まれている曲をタップします。
ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面が表示されます。
2. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
3. 🔄(グループ) ボタンにします。
4. ▶(再生) ボタンをタップします。



■ コンサートマジックを設定する

コンサートマジックのテンポ、バランスを設定します。

● 設定項目

種類	初期設定	説明
テンポ	-	曲のテンポを設定します。
バランス	7-9	コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の2パートからできており、この2パートの音量バランスを調整することができます。

テンポとバランスはミュージックメニュー(コンサートマジック)画面で設定します。

1. ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面が表示されます。

ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面

- ① **バランス**
音量バランスを調節します。
- ② **再生テンポ**
再生するテンポを設定します。
- ③ **✕(閉じる)ボタン**
ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面が閉じてミュージックプレイ(コンサートマジック)画面に戻ります。



● バランスを設定する。

メロディーと伴奏の2つのパートの音量バランスを調整します。

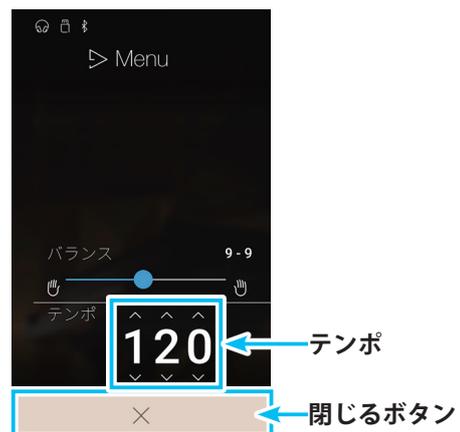
1. ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面で、バランスの●(スライダー)を左右に動かして調節します。
2. 調節を終了後は、✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面が閉じて、ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面に戻ります。



● テンポを設定する。

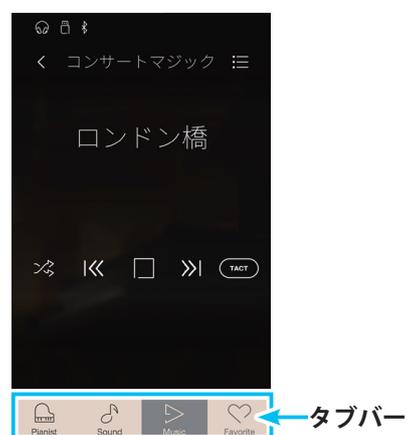
曲を再生するテンポを設定します。

1. ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面で、テンポの数値の各桁を上下にスワイプして数値で設定します。
2. 設定終了後は、✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面が閉じて、ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面に戻ります。



■ コンサートマジックを終了する

コンサートマジックを終了するには、ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面で、タブバーの「Pianist」「Sound」「Favorite」のいずれかをタップして画面を切り替えます。



いろいろな機能を楽しむ

5. レコーダー再生

AURES本体に録音されている曲を再生します。

レコーダーの録音操作と設定は「演奏を録音・再生する」(P.86)をご覧ください。

■ 再生可能なファイルに関して

AURESでは以下のデータを再生することができます。

- ・ 本体に録音・保存した曲
- ・ USBメモリー上にあるSMFファイル
- ・ USBメモリー上にあるKSOファイル(内部ソングフォーマットファイル)
- ・ USBメモリー上にあるMP3ファイル(ビットレート : 8K~320bps、サンプリング周波数 : 44.1kHz, 48kHz, 32kHz、ステレオ)
- ・ USBメモリー上にあるWAVファイル(サンプリング周波数 : 44.1kHz、16bit、ステレオ)

MP3 : MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

著作権について

市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFファイルなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること以外は著作権法上、権利者に無断で使用できませんので十分注意をお願いします。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

■ レコーダー再生モードに入る

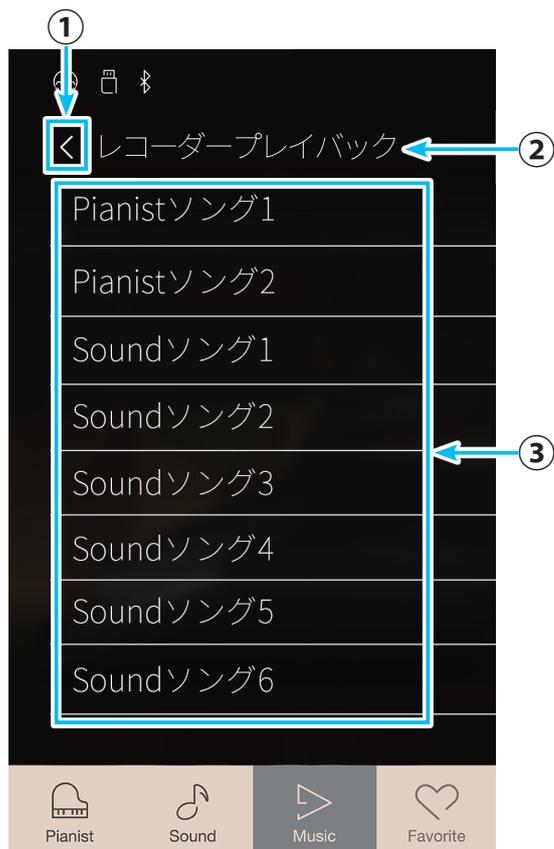
1. Music画面で  レコーダープレイバックをタップします。
選曲画面が表示されます。



レコーダー
プレイバック

選曲画面

- ① **戻るボタン**
Music画面に戻ります。
- ② **モード名**
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ **曲目リスト**
収録されている曲目のリストです。
※ 録音すると曲目が表示されます。

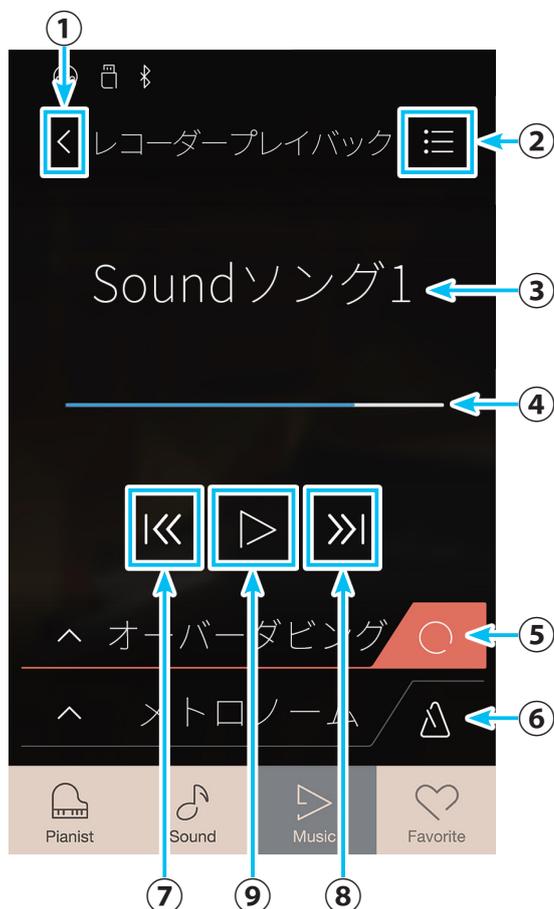


- 2. 曲目リストの中から演奏する曲をタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面が表示され、曲が再生されます。

※ 実際の画面では全部の曲目が表示されない場合があります。上下にスワイプして表示します。

ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面

- ① **戻るボタン**
選曲画面に戻ります。
- ② **メニューボタン**
ミュージックメニュー画面を表示します。
- ③ **曲名表示**
再生するソング名を表示します。
- ④ **ソングバー**
曲の再生位置を表示します。
- ⑤ **オーバーダビングバー**
演奏の録音と設定を行います。
詳しくは「曲を聴きながら演奏を重ねて録音する(オーバーダビング)」(P. 97)をご覧ください。
※ USBメモリーを本体に接続しているときのみ表示されます。
- ⑥ **メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFと設定を行います。
詳しくは「2. メトロノーム/リズムを使う」(P. 19)をご覧ください。



いろいろな機能を楽しむ

いろいろな機能を楽しむ

⑦ 1曲戻るボタン

選曲画面の曲目リストの1つ前の曲に切り替えます。

⑧ 1曲進むボタン

選曲画面の曲目リストの1つ次の曲に切り替えます。

⑨ 再生/停止ボタン

タップするたびに演奏の再生/停止を切り替えます。

- ▶ (再生) ボタンをタップします。
曲名表示されている曲が再生されます。
- 再生を止めるときには ◻ (停止) ボタンをタップします。
レコーダーについて詳しくは「演奏を録音・再生する」
(P. 86)をご覧ください。

■ 再生モードを設定する

ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面では、再生するパートを選んだり、曲をトランスポーズ(移調)することができます。さらに、曲をUSBメモリーに保存したり、USBメモリーから読み込んだり、本体に保存されている曲を削除したりすることができます。

- ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面で ≡ (メニュー) ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面が表示されます。
※ Pianist画面で録音した曲は、⑤ソングデリート、⑥オールソングデリートのみの表示となります。

ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面

① パートセレクト

再生するパートを選択します。(P. 67)

② ソングトランスポーズ

トランスポーズ(移調)します。(P. 67)

※①②は、PIANISTソングのときは表示されません。

③ USBにセーブ

選択されている内部(INT)またはSMF形式の曲をUSBメモリーに保存します。(P. 68)

④ USBからロード

USBメモリーに保存されている曲を呼び出します。(P. 69)

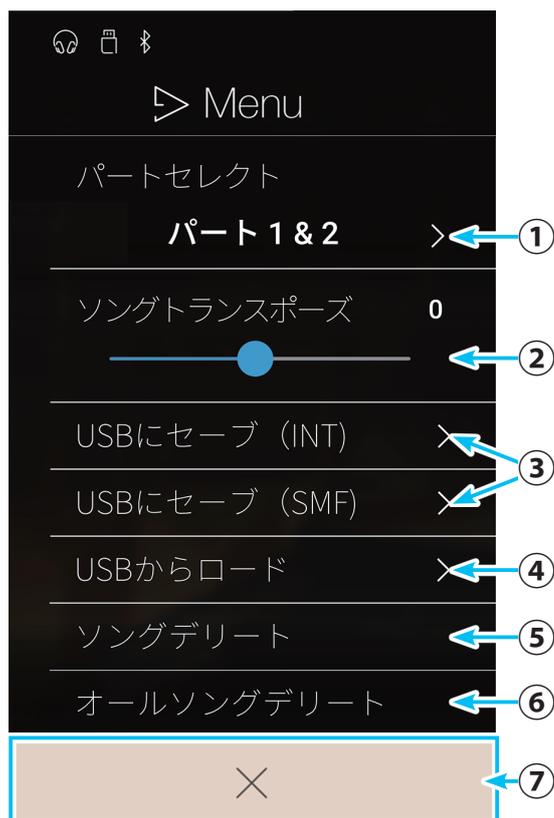
※③④は、USBメモリーを本体に接続しているときのみ表示されます。

⑤ ソングデリート

選択されている曲を消去します。(P. 70)

⑥ オールソングデリート

AURES本体に保存されているすべての曲を消去します。(P. 71)



⑦ ✕ (閉じる) ボタン

ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面が閉じて、ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。

● パートを選んで再生する

選択されている曲のパート1、2、または両方を選んで再生します。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のパートセレクトを左右にスワイプして再生するパートを選択します。パート1、パート2、パート1&パート2の3つの中から選びます。
2. ✕ (閉じる) ボタンをタップします。ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



左右にスワイプして選択します。

● トランスポーズ(移調)する

選択されている曲をトランスポーズして再生します。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のソングトランスポーズの●(スライダー)を左右に動かして設定します。
2. ✕ (閉じる) ボタンをタップします。ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



スライダーを左右に動かして設定します。

● USBメモリーに保存する

選択されている曲をUSBメモリーに保存します。

USBメモリーの接続については「■USBを設定する」(P.150~)をご覧ください。

1. USBメモリーを本体に接続して、ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面の、USBにセーブボタンをタップします。

(INT)では、KSOファイル(内部ソングフォーマットファイル)で保存することができます。

保存した曲は本体で再生したり、本体に読み込むことができます。

(SMF)では、SMFファイルで保存することができます。

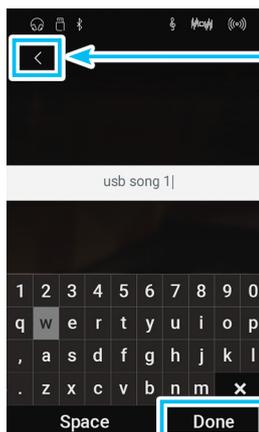
保存した曲は本体で再生したり、他の楽器やパソコンで再生することができます。

名前を入力する画面が表示されます。

2. 保存する曲に付ける名前を入力し、リターンキーをタップします。

ソング名が確定し、ミュージックメニュー画面に戻ります。

名前を付けない場合は、<(戻る)ボタンををタップします。



3. ✕(閉じる)ボタンをタップします。

ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。

※ Pianist画面で本体メモリーに録音(保存)した曲はMP3形式となり、本体メモリーからUSBメモリーへ保存することはできません。

※ Pianist画面での演奏をUSBメモリーに録音(保存)するには、あらかじめUSBメモリーを本体に接続して、USBメモリーに直接演奏を録音してください。(P.92)



いろいろな機能を楽しむ

● USBメモリーから読み込んで再生する

USBメモリー内の本機でセーブした曲(KSOファイル)を読み込んで再生することができます。

USBメモリーの接続については「■USBを設定する」(P.150~151)をご覧ください。

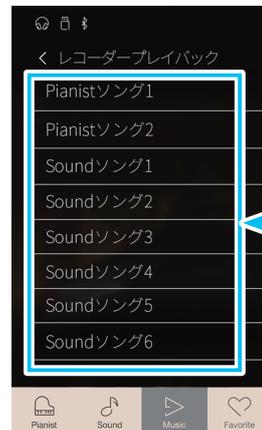
※ SMFファイルは本体に読み込めません。

1. USBメモリーを本体に接続して、ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面の、USBからロードボタンをタップします。



←USBからロードボタン

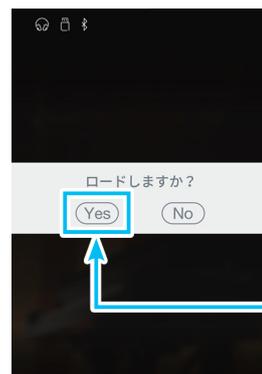
2. 読み込む場所を指定します。
読み込む場所は本体に演奏を録音するときに選択するSONG1から10までのどれかです。
読み込む場所をタップします。
選曲画面が表示されます。
曲名が表示されます。USBメモリー内にフォルダがあれば、フォルダ名も表示されます。



←フォルダ名または曲名

※ フォルダ名や再生する曲のファイル名、ソング名、アーティスト名などにAURESが認識できない文字が含まれている場合は、正確に表示されません。

3. 読み込みたい曲名をタップします。
読み込みたい曲がフォルダ内に保存されている場合にはフォルダ名をタップします。
フォルダ内の曲名が表示されますので、読み込みたい曲をタップします。
確認のメッセージが表示されます。



←Yesボタンを
タップします。

4. Yesボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面に戻ります。

5. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。
読み込んだ曲を再生できます。



←閉じるボタン

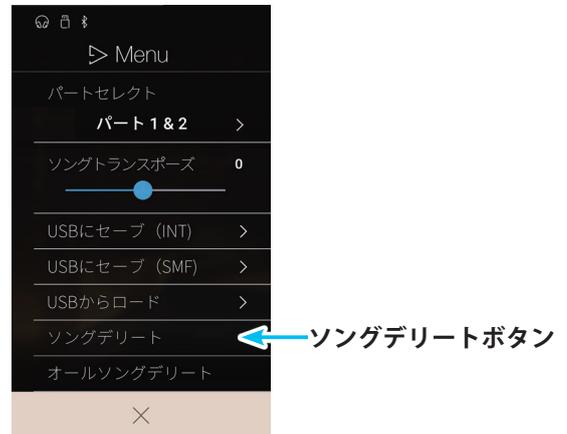
いろいろな機能を楽しむ

● ソングを消去する

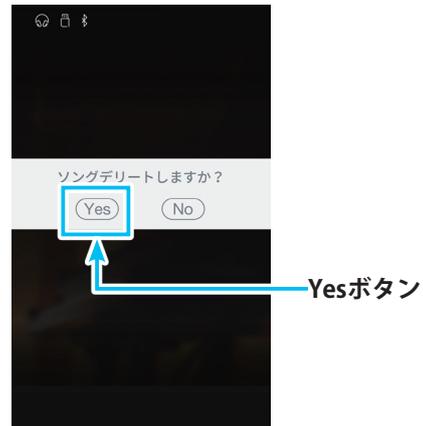
現在選択されているソングを消去します。

この操作で消去したデータは復活させることはできません。ご注意ください。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のソングデリートボタンをタップします。
確認画面が表示されます。



2. Yesボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面に戻ります。



3. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。

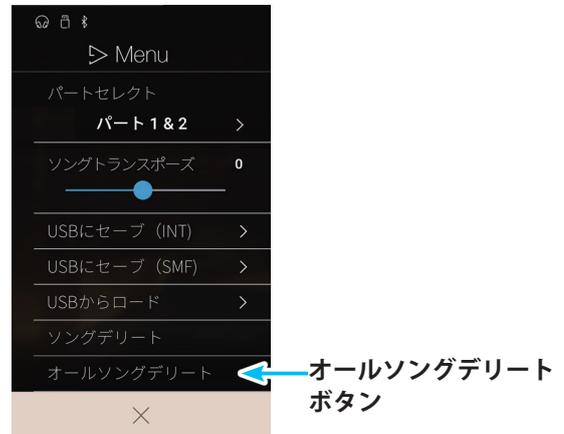


● 本体に録音されているソングをすべて消去する

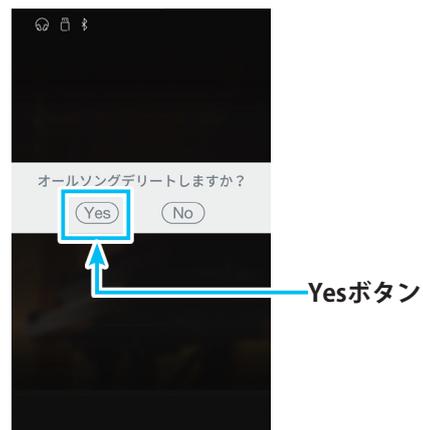
AURES本体に保存されているソングをすべて消去します。

この操作で消去したデータを復活させることはできません。ご注意ください。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のオールソングデリートボタンをタップします。
確認画面が表示されます。



2. Yesボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面に戻ります。



3. X(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



6. USBメモリープレーヤー

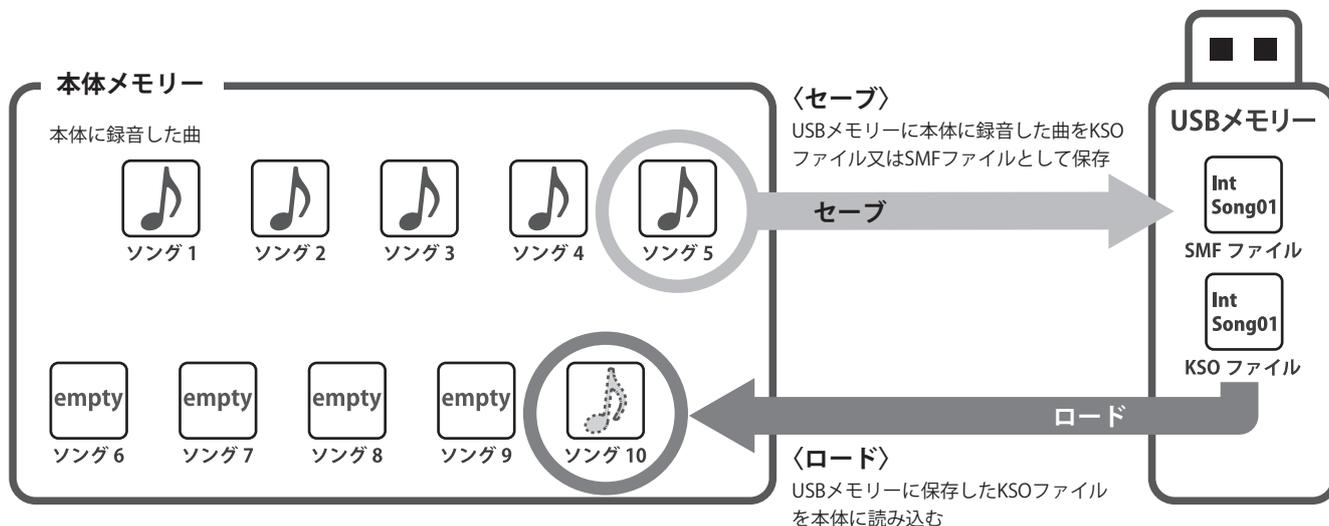
AURESに接続したUSBメモリーに保存された曲を再生します。

ここでは基本的なレコーダーの再生操作を説明します。録音・再生の操作と設定について詳しくは「演奏を録音・再生する」(P. 86)をご覧ください。

USBメモリーの接続については「■USBを設定する」(P. 150～)をご覧ください。

■ USBメモリーのロード / セーブについて

USBメモリーのロード / セーブの機能は下のイラストのようになっています。



※ SMFファイルは本体に読み込めません。

※ Pianist画面で本体メモリーに録音(保存)した曲はMP3形式となり、本体メモリーからUSBメモリーへ保存することはできません。

■ USBメモリープレーヤーモードに入る

1. USBメモリーを本体に接続して、Music画面で  USBメモリープレーヤーをタップします。

選曲画面が表示されます。USBメモリーのフォルダ名または保存されている曲目が表示されます。

※ フォルダ名や再生する曲のファイル名、ソング名、アーティスト名などにAURESが認識できない文字が含まれている場合は、正確に表示されません。



選曲画面

① 戻るボタン

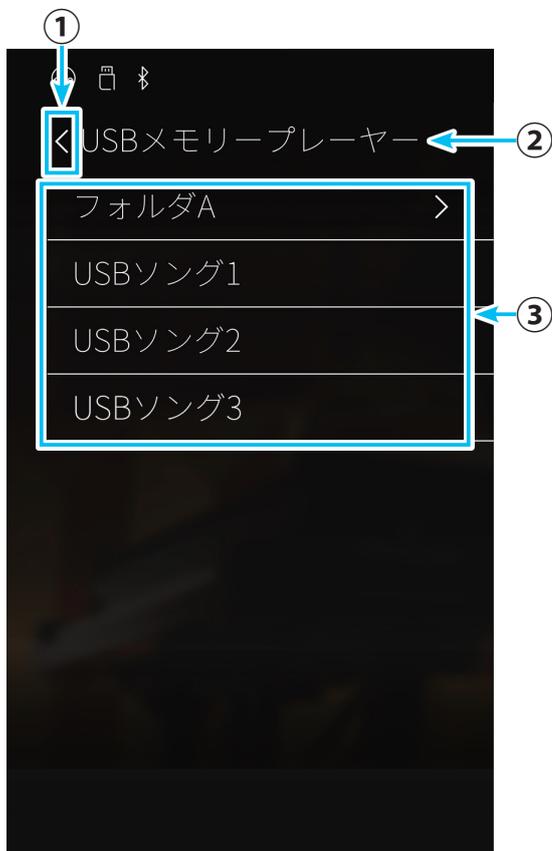
Music画面に戻ります。

② モード名

Music画面で選択したモード名が表示されます。

③ 曲目リスト

保存されている曲目またはフォルダ名のリストです。



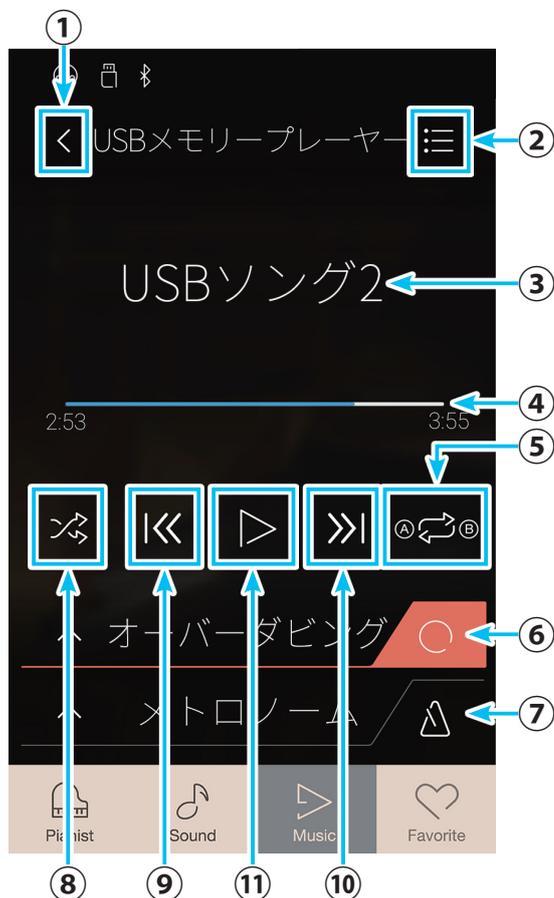
いろいろな機能を楽しむ

いろいろな機能を楽しむ

2. 曲目リストの中から再生する曲をタップします。
ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面が表示されます。

ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面

- ① 戻るボタン**
選曲画面に戻ります。
- ② メニューボタン**
ミュージックメニュー画面を表示します。
- ③ 曲名表示**
再生する曲名を表示します。
- ④ ソングバー**
曲の再生位置を表示します。
- ⑤ A-Bリピートボタン**
指定した範囲を繰り返すリピート演奏でその範囲を指定します。
- ⑥ オーバーダビングバー**
演奏の録音と設定を行います。
詳しくは「曲を聴きながら演奏を重ねて録音する(オーバーダビング)」(P.97)をご覧ください。
- ⑦ メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFと設定を行います。詳しくは「2.メトロノーム/リズムを使う」(P.19)をご覧ください。
- ⑧ 再生モードボタン**
再生モードを切り替えます。
- ⑨ 1曲戻るボタン**
選曲画面の曲目リストの1つ前の曲に切り替えます。
- ⑩ 1曲進むボタン**
選曲画面の曲目リストの1つ次の曲に切り替えます。
- ⑪ 再生/停止ボタン**
タップするたびに演奏の再生/停止を切り替えます。

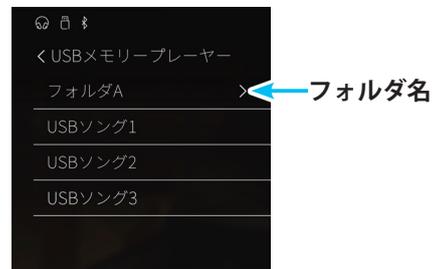


■ USBメモリーの曲を再生する

※ 一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に音量が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器(ピアノ)はダイナミックレンジ幅が大きい為、普通に録音した音量は小さくなります。したがって、音量調整は必須です。

1. USBメモリーを本体に接続して、Music画面で  USBメモリープレーヤーをタップすると選曲画面が表示されます。曲名が表示されます。USBメモリー内にフォルダがあれば、フォルダ名も表示されます。

※ フォルダ名や再生する曲のファイル名、ソング名、アーティスト名などにAURESが認識できない文字が含まれている場合は、正確に表示されません。



2. 再生したい曲名をタップします。
再生したい曲がフォルダ内に保存されている場合にはフォルダ名をタップします。
フォルダ内の曲名が表示されますので、再生したい曲をタップします。
ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面が表示されます。



3.  (再生) ボタンをタップします。
選択した曲が再生されます。
4. 再生を止めるときには  (停止) ボタンをタップします。

■ 再生モードを設定する

USBメモリープレーヤーでは、下記の再生モードを設定することができます。

モード	再生モードボタン	説明
シングル	 ①	選択した曲を1度再生します。
1リピート	 ①	選択した曲をリピート再生します。
オールリピート	 (all)	選択された曲のフォルダ内にあるソングをリピート再生します。※
ランダム		選択された曲のフォルダ内にあるソングをランダム再生します。※

※ フォルダ内の再生可能なソング全てを再生します。

ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面の再生モードボタンで設定します。

1. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
2. 目的の再生モードに設定します。

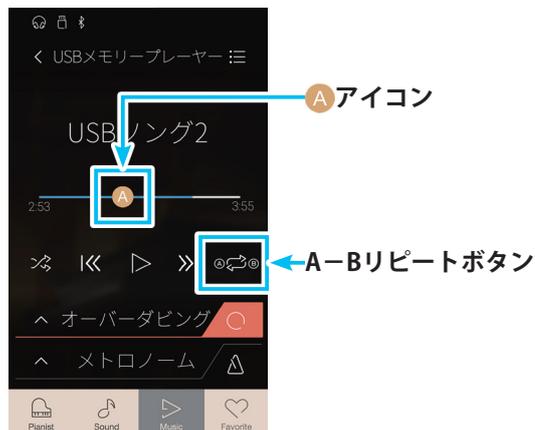


いろいろな機能を楽しむ

■ 聴きたい範囲を繰り返し再生する

曲の中の聴きたい範囲を選んで再生します。ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面のA-Bリピートボタンで聴きたい範囲を設定します。一度設定すると解除するまで設定範囲を繰り返し再生します。

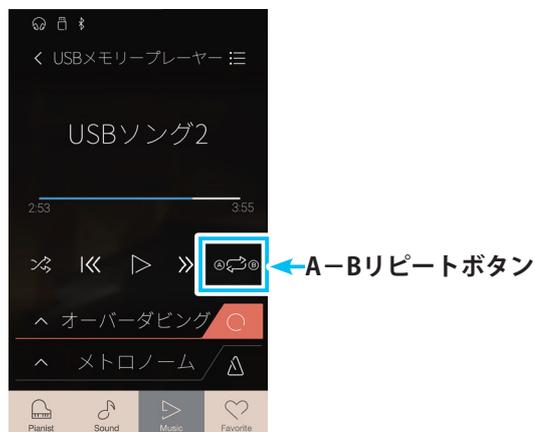
1. 範囲を設定するために曲を再生します。
2. 範囲の始めの位置でA-Bリピートボタンをタップします。
ソングバーにAアイコンが表示されます。



3. 範囲の終わりの位置でA-Bリピートボタンをタップします。ソングバーにBアイコンが表示されます。
AアイコンからBアイコンの範囲が繰り返し再生されます。



4. 繰り返し再生を止めるときには、A-Bリピートボタンをタップします。
A-Bリピート再生が解除されます。



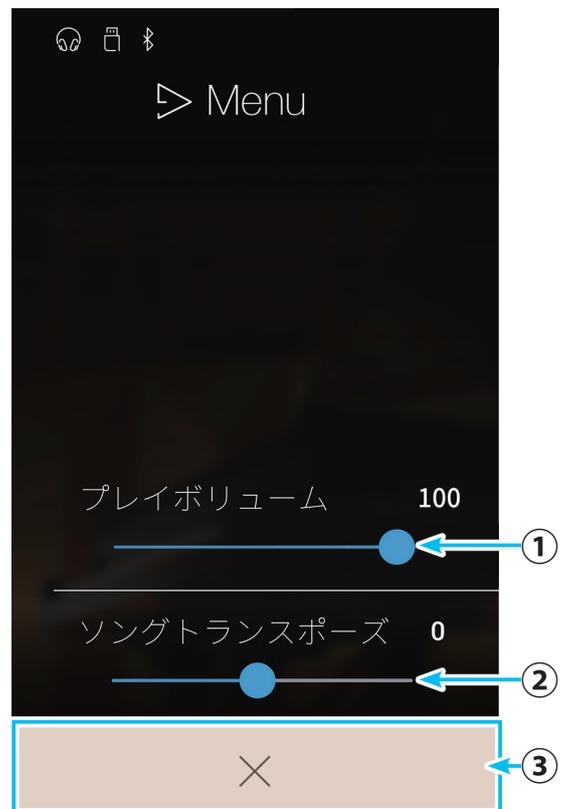
■ ボリューム、ソングトランスポーズを設定する

USBメモリー内に保存されたSMF/KSOファイルの選択時には、ボリュームを設定したり、ソング(曲)をトランスポーズ(移調)することができます。

1. ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面でメニューをタップします。
ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面が表示されます。

ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面

- ① **プレイボリューム**
再生時の音量を設定します。
- ② **ソングトランスポーズ**
ソングトランスポーズを設定します。
※ SMF/KSOファイルの選択時のみ表示されます。
- ③ **✕(閉じる)ボタン**
ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面に戻ります。



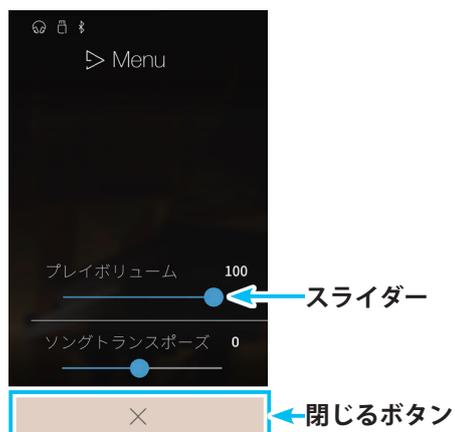
● ソングトランスポーズを設定する

1. ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面のソングトランスポーズの●(スライダー)を左右に動かしてトランスポーズを調節します。
2. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー画面が閉じてミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面に戻ります。



● プレイボリュームを設定する

1. ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面のプレイボリュームの●(スライダー)を左右に動かしてプレイボリュームを調節します。
2. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー画面が閉じてミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面に戻ります。



7. フェイバリットについて

フェイバリットとは音色やエフェクト等の設定をあらかじめ記憶しておく機能です。これらの設定はタップ操作ひとつで記憶した設定を呼び出すことができます。

フェイバリットは1ページに最大4個、それが最大4ページあり、計16個までフェイバリットに記憶することができます。初回電源投入時はフェイバリットに何も記憶されていない状態です。記憶するたびにフェイバリットが増えていきます。

タブバーのボタンをタップしてPianist画面やSound画面、Music画面を表示すると、フェイバリットの機能から抜けます。

※フェイバリットに記憶した各項目の設定内容は表示できません。

フェイバリットは以下の設定を記憶することができます。

通常設定

音色(デュアル・スプリットの音色設定を含む)

リバーブ、エフェクト

レンダリングキャラクター

レゾナンスデプス

アンビエンスタイプ、アンビエンスデプス

コンサートチューナー(P. 108～)

タッチカーブ

ボイスシング

ダンパーレゾナンス

ダンパーノイズ

ストリングレゾナンス

開放弦レゾナンス

キャビネットレゾナンス

キーオフエフェクト

キーアクションノイズ

ハンマーディレイ

大屋根の開閉

ディケイタイム

ミニマムタッチ

ストレッチ/ユーザーチューニング

音律の設定

88鍵ボリューム

ハーフペダルポイント

ソフトペダルデプス

サウンドセッティング(P. 135～)

チューニング

トーンコントロール

ダンパーホールド

デュアル設定(P. 32～)

バランス

レイヤーオクターブシフト

レイヤーダイナミクス

スプリット設定(P. 35～)

バランス

ロアーオクターブシフト

ロアーペダルのON/OFF

スプリットポイント

4ハンズ設定(P. 39～)

バランス

ライトオクターブシフト

レフトオクターブシフト

スプリットポイント

Favorite画面に入る

フェイバリットは1画面に4個表示されます。左右にスワイプすることで4画面まで切り替えることができます。合計で16個を記憶することができます。

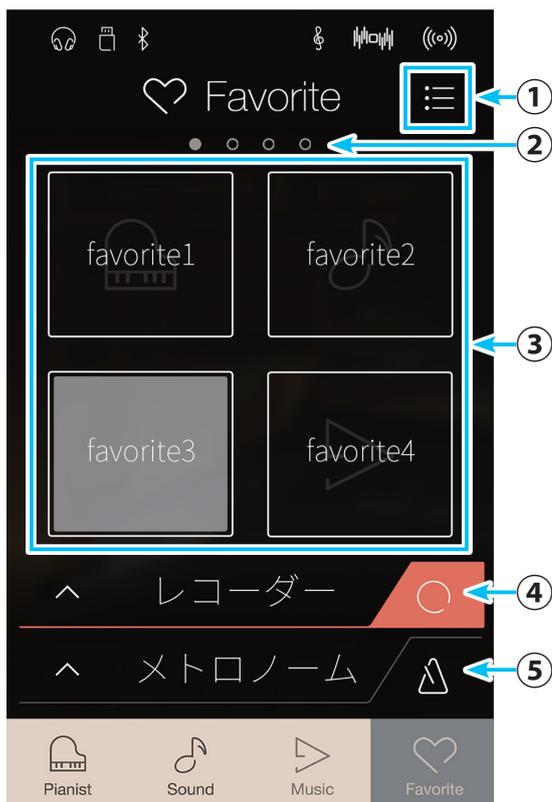
使用したいフェイバリットをこの画面で選択して、フェイバリットメニュー画面で呼び出しや保存などの操作を行います。

1. タブバーの  Favoriteボタンをタップします。
Favorite画面が表示されます。
登録したフェイバリットを選択する画面です。



Favorite画面

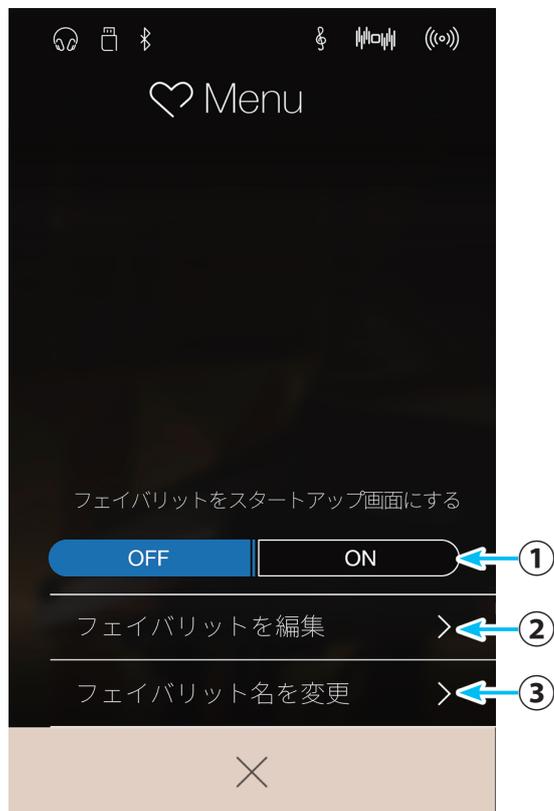
- ① **メニューボタン**
フェイバリットメニュー画面を表示します。
- ② **ページ表示**
現在表示されているフェイバリットのページ位置を表示します。
- ③ **フェイバリット選択ボタン**
フェイバリットを表示します。
左右にスワイプすると、ページを切り替えることができます。
フェイバリットに記憶されていないときは表示がありません。フェイバリットに記憶すると表示されます。
- ④ **レコーダーバー**
演奏の録音と設定を行います。詳しくは、「演奏を録音・再生する」(P.86～)をご覧ください。
- ⑤ **メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFと設定を行います。詳しくは「2.メトロノーム/リズムを使う」(P.19)をご覧ください。



- Favorite画面の  (メニュー) ボタンをタップすると、
 フェイバリットメニュー画面が表示されます。
 フェイバリットの保存や呼び出し、内容表示などを行います。

フェイバリットメニュー画面

- ① フェイバリットをスタートアップ画面にする ON/OFFスイッチ**
 起動時にFavorite画面を表示するかどうかを設定します。
 (P. 85)
- ② フェイバリットを編集ボタン**
 フェイバリットを編集します。(P. 83)
- ③ フェイバリット名を変更ボタン**
 フェイバリットの名前を変更します。(P. 83)



■ フェイバリットに記憶する

現在のAURESの設定状態をフェイバリットに記憶させます。

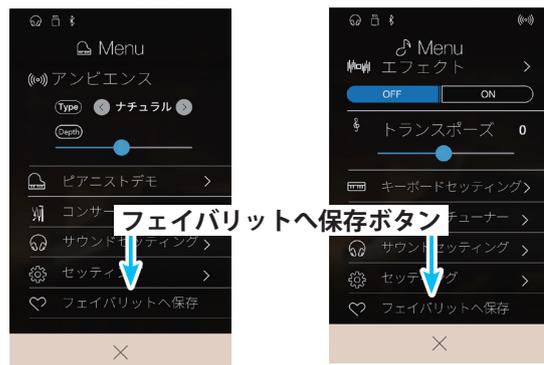
- Pianist画面またはSound画面で  (メニュー) ボタンを
 タップします。
 メニュー画面が表示されます。



Pianist画面

Sound画面

- フェイバリットへ保存ボタンをタップします。
 フェイバリットの名前を入力する画面が表示されます。



ピアニストメニュー画面

サウンドメニュー画面

いろいろな機能を楽しむ

いろいろな機能を楽しむ

3. フェイバリットに付ける名前を入力し、リターンキーをタップします。
フェイバリット名を確定します。
フェイバリットメニュー画面に戻ります。
設定した状態がフェイバリットに登録されます。



■ フェイバリットを呼び出す

記憶させたフェイバリットを呼び出します。

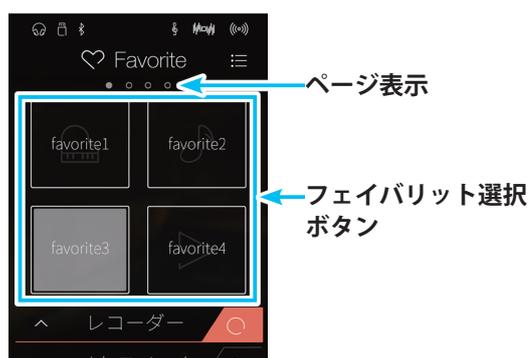
1. タブバーの  Favoriteボタンをタップします。



Favorite画面が表示されます。



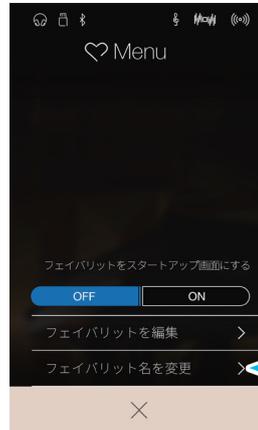
2. 呼び出したいフェイバリット選択ボタンをタップします。
左右にスワイプするとページを切り替えることができます。
現在のページはページ表示で確認できます。
フェイバリットが呼び出され、登録された設定が適用されます。



■ フェイバリットの名前を変更する

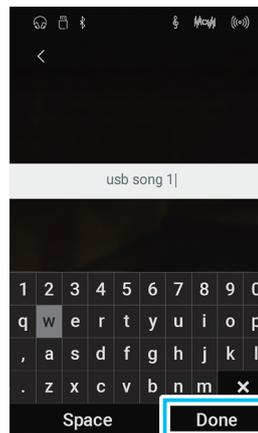
AURES本体に記憶されているフェイバリットの名前を変更します。

1. Favorite画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
フェイバリットメニュー画面が表示されます。
2. フェイバリット名を変更ボタンをタップします。
フェイバリットの名前を入力する画面が表示されます。



← フェイバリット名を変更ボタン

3. 名前を入力し、リターンキーをタップします。
名前が確定し保存されます。
フェイバリットメニュー画面に戻ります。



← リターンキー

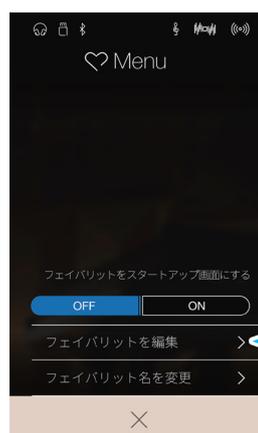
■ フェイバリットを編集する

AURES本体に記憶されているフェイバリットを削除したり、ボタンの配置を変えたりできます。

● フェイバリットを削除する

※ フェイバリットを16個まで登録するとそれ以上記憶することができません。削除してから新しいフェイバリットを登録してください。

1. Favorite画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
フェイバリットメニュー画面が表示されます。
2. フェイバリットを編集ボタンをタップします。
フェイバリット編集画面が表示されます。



← フェイバリットを編集ボタン

いろいろな機能を楽しむ

フェイバリット編集画面

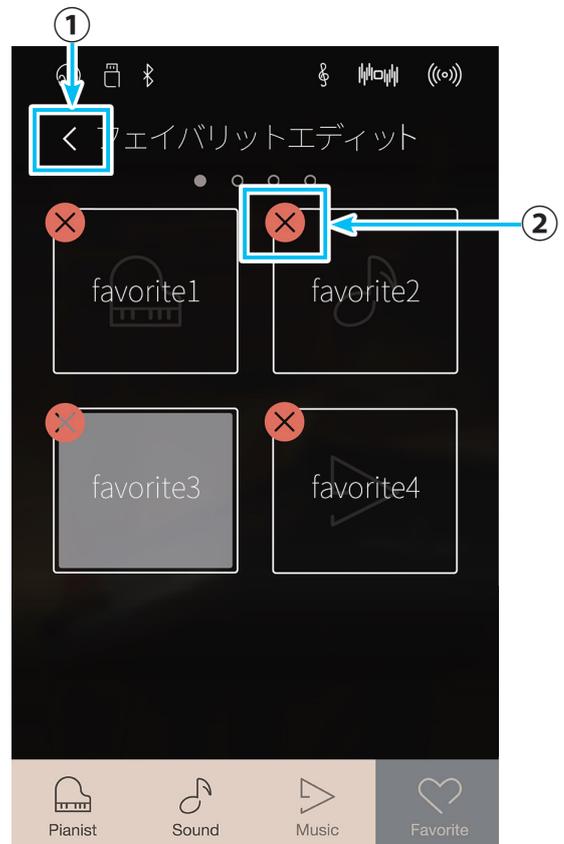
① 戻るボタン

フェイバリットメニュー画面に戻ります。

② 消去ボタン

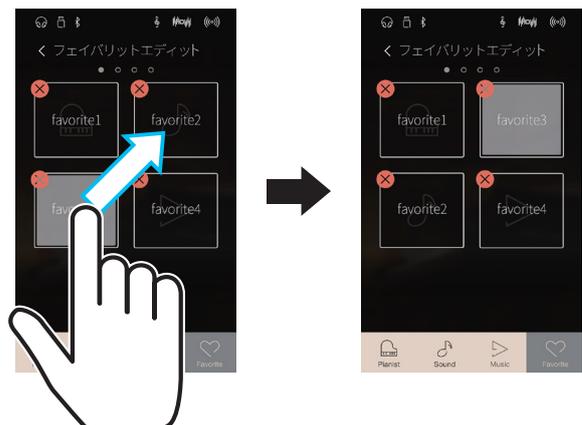
フェイバリットを消去します。

3. 消去するフェイバリットの消去ボタンをタップします。
続けて消去することができます。
4. 消去が終了したら < (戻る) ボタンをタップします。
フェイバリットメニュー画面に戻ります。



● フェイバリットの配置を変える

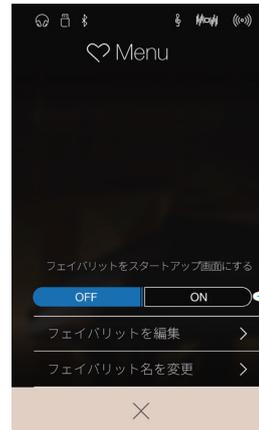
1. Favorite画面で、移動したいフェイバリットを指でドラッグ
(押さえたまま動かす) します。
2. 指を離すと配置が変わります。



■ 起動時に Favorite画面を表示する

AURES本体の電源をONにしたときに、Favorite画面を表示するように設定することができます。

1. Favorite画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
フェイバリットメニュー画面が表示されます。
2. フェイバリットをスタートアップ画面にするON/OFFスイッチをタップします。
3. 起動時にFavorite画面を表示するときは「ON」、表示せず、通常状態で起動するときは「OFF」にします。
ONにすると、次回起動時にFavorite画面が表示され、今と同じフェイバリットの設定で演奏を開始することができます。



フェイバリットを
スタートアップ画面に
するON/OFFスイッチ

演奏を録音・再生する

1. 録音・再生機能について

AURESは自分の演奏を本体に録音し再生したり、USBメモリー内に直接録音したり、再生したりすることができます。

■ 録音フォーマット形式について

AURESでは下記のファイル、フォーマットにて録音することができます。

本体メモリー

内部フォーマット形式※

USBメモリー

MP3形式	ビットレート：256Kbps固定、サンプリング周波数：44.1kHz、ステレオ
WAV形式	サンプリング周波数：44.1kHz、16bit、ステレオ

※ Pianist画面で録音するときはMP3形式になります。

※ Pianist画面で本体メモリーに録音(保存)した曲は、USBメモリーへ保存することができません。

※ Pianist画面での演奏をUSBメモリーに録音(保存)するには、あらかじめUSBメモリーを本体に接続して、USBメモリーに直接演奏を録音してください。(P. 92)

■ 録音中の設定変更について

- ・ 音色変更は記憶されます。
- ・ デュアルモード/スプリットモードの移行は記憶されます。
- ・ エフェクト設定の変更は記憶されず、現在選択されている音色に、選択されているエフェクトがそのまま使われます。
- ・ テンポ変更は記憶されません。
- ・ デュアルモード/スプリットモードのバランスの変更は記憶されません。録音直前のバランスで記憶されます。

■ 本体録音について

・ AURESの総記憶容量は、Pianist選択時では1曲あたり約10分間、Sound選択時では約90,000音*です。

録音中に記憶容量がいっぱいになると録音が中止されます。

中止直前までの演奏は録音されます。

・ レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

※ 総記憶容量の目安として、例えば総記憶容量5,000音の場合、ベートーベンの「エリーゼのために」であれば約3～4回の録音ができ10～15分程度の録音が可能です。但し、曲の音符の数やテンポによって録音できる時間は変わります。またレコーダーはペダル操作も記録していますので、ペダルを踏んだ回数によっても録音時間は変わります。

また、Pianist画面で録音するときは、1曲あたり約10分間録音することができます。

2. 本体に録音する

AURESは本体に10曲(10ソング)^{※1}まで録音して再生することができます。それぞれのソングは2つのパートから構成されています^{※2}。

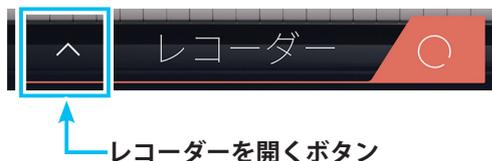
※1 Pianist画面で録音するときは3曲(3ソング)までになります。

※2 Pianist画面で録音するときは1つのパートになります。

- ① 1つのパートを使って両手の録音、再生をすることができます。
- ② 2つのパートを使えば右手と左手をそれぞれのパートに別々に録音した後、別々に再生して片手ずつの練習に役立てることができます。両方のパートを合わせて再生することもできます。

■ 録音(インターナル)モードに入る

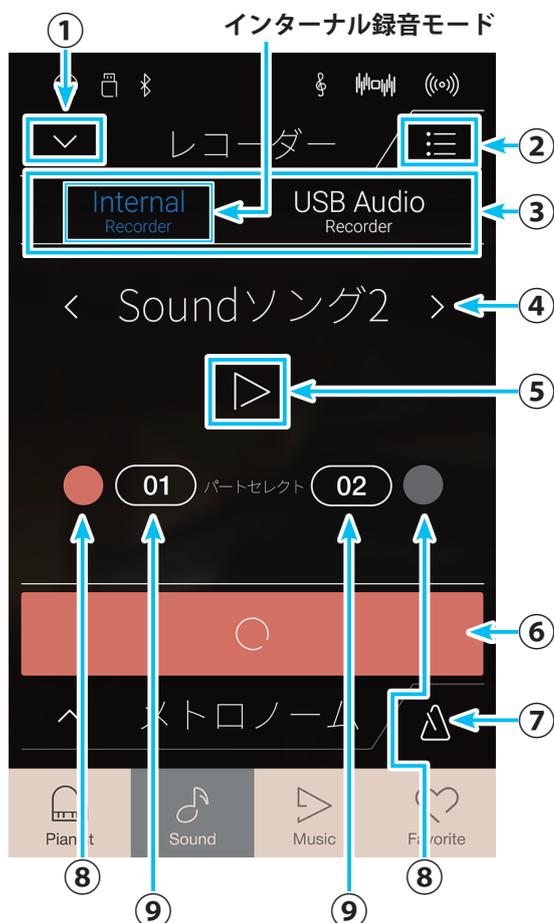
1. Pianist、Sound画面に表示されるレコーダーバーの ^ (レコーダーを開く) ボタンをタップします。
レコーダー画面が表示されます。



2. レコーダー画面でレコーダーモード選択ボタンが表示されているときは、インターナル録音モードをタップします。

レコーダー画面

- ① **レコーダーを閉じるボタン**
レコーダー画面が閉じて元の画面に戻ります。
- ② **メニューボタン**
レコーダーメニュー画面を表示します。
- ③ **レコーダーモード選択ボタン**
インターナル録音モード/USB録音モードを切り替えます。
※ USBメモリーが本体に接続されていないときは表示されません。
- ④ **ソング選択**
録音するソングを選択します。また、選択されたソング名を表示します。
- ⑤ **再生/停止ボタン**
ソングを再生または再生を停止します。
- ⑥ **録音/録音停止ボタン**
録音を開始または停止します。
- ⑦ **メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFや設定を行います。



演奏を録音・再生する

演奏を録音・再生する

⑧ 録音パート選択ボタン※

録音するパートを選択します。選択できるのはパート1またはパート2のどちらか一つです。

⑨ 再生パート選択ボタン※

録音時に同時再生するパートを選択します。パートが録音済みかどうかをアイコンで表示します。

※ Pianist画面で録音するときは表示されません。

■ ソングとパートの設定をする

- レコーダー画面のソング選択を左右にスワイプして録音するソングを選択します。
ソング選択の中央にソング名が表示されます。
録音できるのはSONG1から10までのどれかです。※
すでに録音されているソングは、再生パート選択ボタンが塗りつぶしになります。

※ Pianist画面で録音するときは、PIANISTソング1から3までのどれかです。



ソング選択

この領域内を左右にスワイプしてソングを選択します。

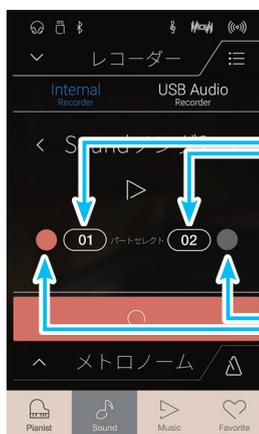
再生パート選択ボタン

録音済みのソングの場合、塗りつぶしのボタンになります。

- 録音パート選択ボタンをタップして、録音するパートを選択します。※

※ Pianist画面で録音するときは選択できません。

再生パート選択ボタンが塗りつぶしの場合には、そのパートはすでに録音されています。このパートを選択すると、以前の録音に上書きされます。以前まであった演奏データが消去されますのでご注意ください。



再生パート選択ボタン

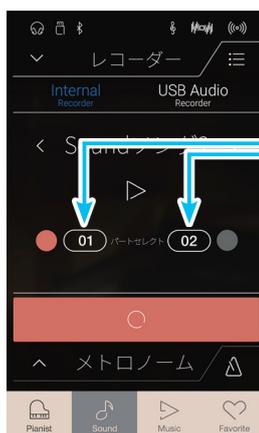
録音済みのソングの場合、塗りつぶしのボタンになります。

録音パート選択ボタン

どちらか一方を選択します。両方同時に選択することはできません。

- 録音済みのパートを再生しながら同時に演奏して録音する場合は、再生パート選択ボタンで再生パートを選択します。録音済みのアイコンが表示されているパートを選択してください。※

※ Pianist画面で録音するときは選択できません。



再生パート選択ボタン

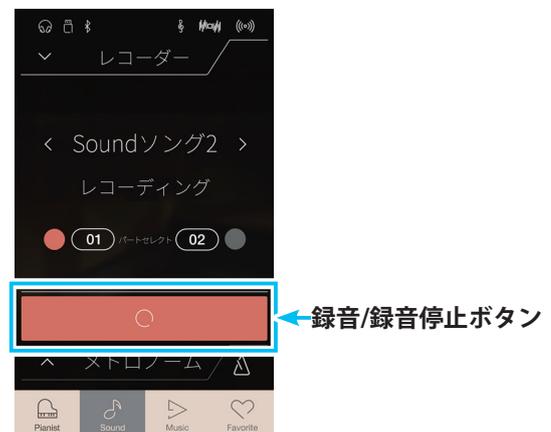
■ 録音をスタートする

ソング番号、パートを設定した後、録音を開始します。

1.  (録音/録音停止) ボタンをタップします。
 に赤枠が付き、録音待機状態になります。



2. 再度  (録音/録音停止) ボタンをタップするか、または演奏を開始します。
 が赤くなり、録音が始まります。
再生しながら録音する場合には、再生が始まります。



■ 録音をストップする

演奏が終わったら録音を停止します。

1. 再度  (録音/録音停止) ボタンをタップします。
録音が終了します。
録音した演奏をすぐに聴きたいときには、 (再生) ボタンをタップします。
やり直しなどもう一度録音したいときには、 (録音/録音停止) ボタンをタップすると録音待機状態となります。何度でも繰り返して録音することができます。



■ 録音した曲を聴く

録音した曲を聴いてみましょう。

ここではレコーダー画面での再生の手順を説明します。

レコーダーで録音した曲は、ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面でも再生することができます。画面が異なりますので、Music画面での再生方法は、「5. レコーダー再生」(P.64)をご覧ください。

1. Pianist、Sound画面に表示されるレコーダーバーの  (レコーダーを開く) ボタンをタップします。
レコーダー画面が表示されます。
レコーダー画面の詳細は、「■ 録音(インターナル)モードに入る」(P.87)をご覧ください。



レコーダーを開くボタン



2. ソング選択を左右にスワイプして、再生する曲を選択します。
3. 再生パート選択ボタンをタップしてパートを選択します。
録音されているパートは塗りつぶしのボタンになっています。※
※ Pianist画面で録音するときは選択できません。
4.  (再生) ボタンをタップします。
再生を開始します。
5. 再度、 (停止) ボタンをタップすると、演奏を停止します。



ソング選択

再生/停止ボタン

再生パート選択ボタン

■ ソングを消去する

選択中のソングを消去します。

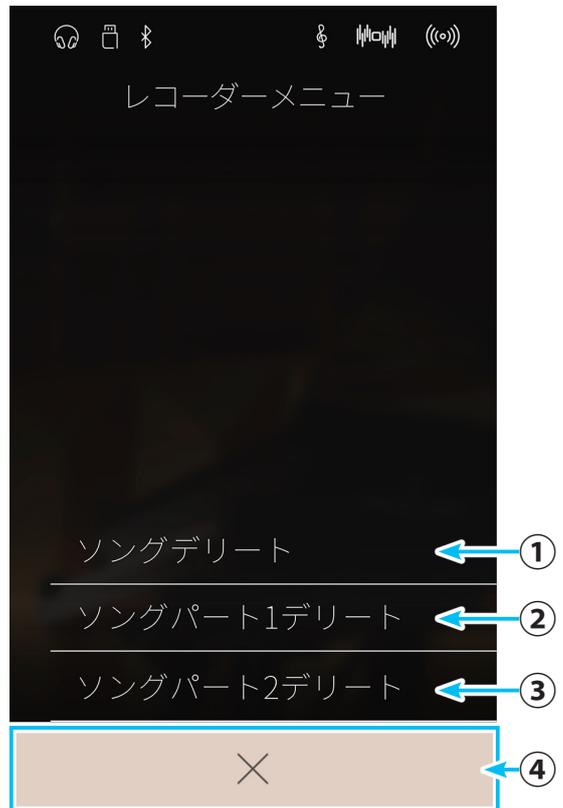
1. ソング選択を左右にスワイプして、消去するソングを選択します。
2. レコーダー画面の  (メニュー) ボタンをタップします。レコーダーメニュー(内部)画面が表示されます。



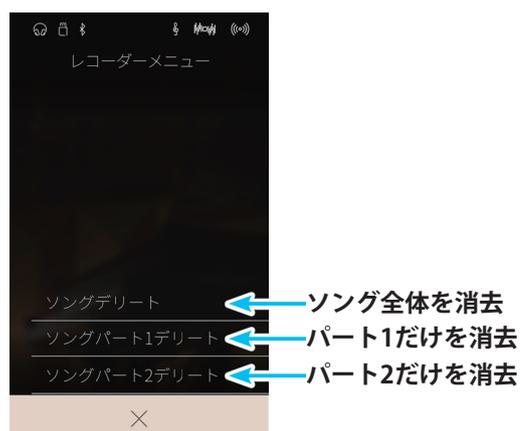
レコーダーメニュー(内部)画面

- ① **ソングデリート**
現在のソングを消去します。
- ② **ソングパート1デリート※**
現在のソングのパート1だけを消去します。
- ③ **ソングパート2デリート※**
現在のソングのパート2だけを消去します。
- ④ **✕(閉じる)ボタン**
レコーダー画面に戻ります。

※ Pianist画面では選択できません。



3. ソング全体か、どちらか一方か、消去する対象のボタンをタップします。
4.  (閉じる) ボタンをタップします。レコーダー画面に戻ります。



3. USBメモリーに録音する

AURESは、USBメモリーに直接演奏を録音(保存)することができます。ラインイン(P. 142)の音も合わせてUSBメモリーに録音することができます。

■ 録音モード(USB)に入る

USBメモリーへの録音はUSBレコーダー画面で行います。

1. USBメモリーを本体に接続します。
ステータスバーに  (USB)アイコンが表示されます。
USBメモリーの接続については「■USBを設定する」(P. 150～)をご覧ください。



2. Pianist、Sound画面に表示されるレコーダーバーの  (レコーダーを開く)ボタンをタップします。
レコーダー画面が表示されます。

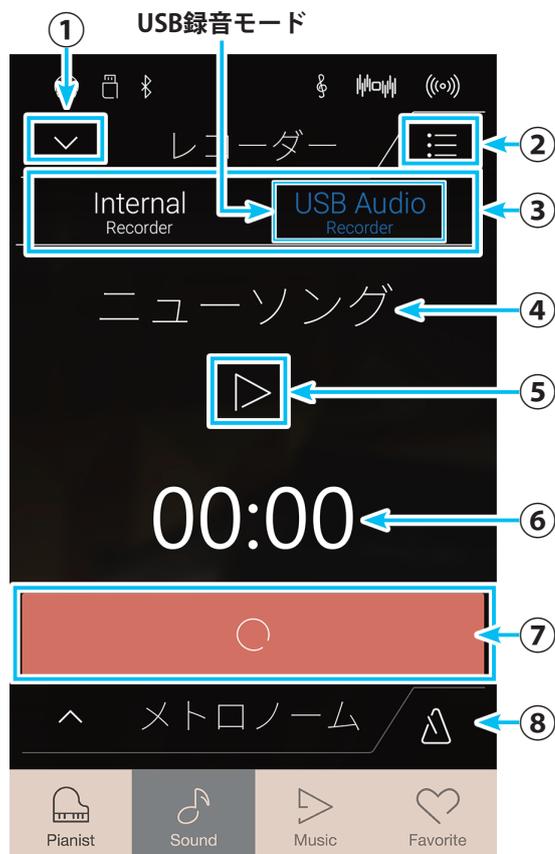


3. レコーダー画面で、レコーダーモード選択ボタンのUSB録音モードをタップします。
レコーダー(USB)画面が表示されます。



レコーダー(USB)画面

- ① レコーダーを閉じるボタン**
レコーダー画面が閉じて元の画面に戻ります。
- ② メニューボタン**
レコーダーメニュー画面を表示します。
- ③ レコーダーモード選択ボタン**
インターナル録音モード/USB録音モードを切り替えます。
- ④ ソング選択**
録音するソングを選択します。また、選択されたソング名を表示します。
- ⑤ 再生/停止ボタン**
ソングを再生または再生を停止します。
- ⑥ 録音時間表示**
ソングの録音時間を表示します。
- ⑦ 録音/録音停止ボタン**
録音を開始または停止します。
- ⑧ メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFや設定を行います。



■ USBレコーダーを設定する

USBレコーダーでは、録音するファイル形式と録音レベルを設定することができます。

1. レコーダー(USB)画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
レコーダーメニュー(USB)画面が表示されます。



演奏を録音・再生する

レコーダーメニュー(USB)画面

- ① **フォーマット**
ファイル形式を選択します。
- ② **ゲイン**
録音レベルを調節します。
- ③ **✕(閉じる)ボタン**
レコーダー(USB)画面に戻ります。



● 録音するデータ形式を選ぶ

録音するデータのファイル形式を選びます。
ファイル形式はMP3かWAVを選ぶことができます。

- 1. レコーダーメニュー(USB)画面で、フォーマットをタップして選択します。
- 2. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
レコーダー画面に戻ります。



● 録音レベルを設定する

弾く曲に合わせた録音レベル調節を行うことができます。

レベルは0～15dBの範囲で調整できます。演奏する内容に合わせて調整してください。

1. レコーダーメニュー画面で、ゲインの●(スライダー)を左右に動かして調節します。
2. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
レコーダー画面に戻ります。

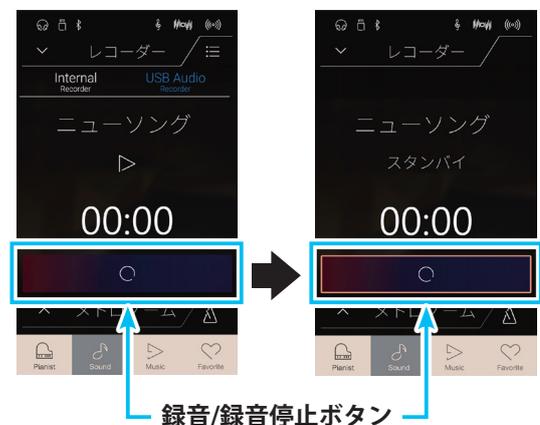


■ 録音する

ソング番号、同時再生、録音するファイルフォーマット、ゲインを設定した後、録音を開始します。

● 録音をスタートする

1. ● (録音/録音停止) ボタンをタップします。
● に赤枠が付き、録音待機状態になります。



2. 再度● (録音/録音停止) ボタンをタップするか、または演奏を開始します。
● が赤くなり、録音が始まります。
再生しながら録音する場合には、再生が始まります。



演奏を録音・再生する

演奏を録音・再生する

● 録音をストップする

演奏が終わったら録音を停止します。

1. 再度  (録音/録音停止) ボタンをタップします。
録音が終了します。



「USBへ保存しますか?」と表示されますので、保存する場合は「Yes」を選択しファイルネームを入力します。やり直しなどもう一度録音したい場合は、「No」を選択します。



● 録音した曲を聴く

録音した曲を聴いてみましょう。

ここではレコーダー画面での再生の手順を説明します。

ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面ではより詳しい設定をして再生することができます。詳しくは、「6. USBメモリープレーヤー」(P.72~)をご覧ください。

1.  (再生) ボタンをタップします。再生を開始します。
2.  (停止) ボタンをタップすると、演奏を停止します。



■ 曲を聴きながら演奏を重ねて録音する(オーバーダビング)

曲を聴きながら演奏をUSBメモリーに重ねて録音することができます。

* SMF/KSOファイルをオーバーダビングしてSMF/KSOファイルにすることはできません。SMFファイルをオーバーダビングする場合は、MP3/WAVファイルに変換されます。

1. Music画面で  レコーダープレイバックまたは  USBメモリープレーヤーをタップします。
選曲画面が表示されます。



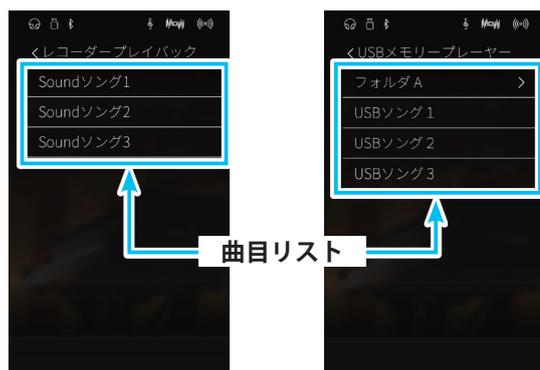
2. 曲目リストの中から再生する曲をタップします。
ミュージックプレイ(レコーダープレイバック)画面またはミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面が表示されます。

※ レコーダープレイバックでは、録音済みの曲目のみ表示されます。

※ USBメモリープレーヤーでは、USBメモリーの中にあるフォルダとファイルが表示されます。

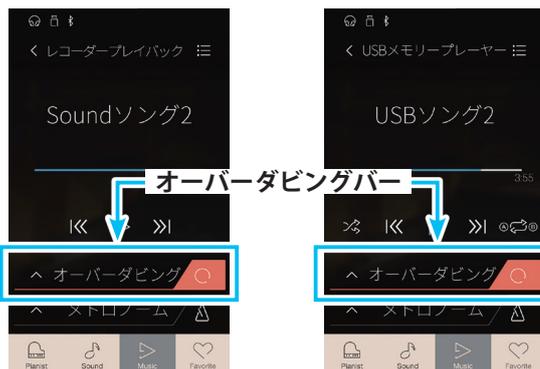
※ Pianistソングにはオーバーダビングができません。

<レコーダープレイバック> <USBメモリープレーヤー>



3. ミュージックプレイ(レコーダープレイバック)画面またはミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面に表示されるオーバーダビングバーの  (オーバーダビングを開く) ボタンをタップします。

※ Pianistソングのときは、オーバーダビングバーは表示されません。



オーバーダビング画面が表示されます。

録音・再生の操作に関しては、レコーダー(USB)画面(P.93~)と同じです。



AURESを設定する

AURESでは、演奏を楽しむためにさまざまな設定を行うことができます。こうした設定をまとめて設定メニューと呼びます。

設定メニューは、Pianist画面、Sound画面から  (メニュー) ボタンで表示させることができます。同じ設定メニューでもどちらの画面で呼び出したかで設定できる項目が異なります。

1. ピアニストメニュー

Pianist画面から表示するピアニストメニューでの設定項目は次の表のとおりです。

■ ピアニストメニューの設定項目

設定メニュー	設定内容	設定できる項目	説明ページ
アンビエンス	再生する音の広がりを設定します。	タイプ	P. 100
		デプス	P. 100
コンサートチューナー	ピアノに関する様々な調整を電子的にシミュレートし、演奏者の好みのピアノにするための設定です。 ピアニストメニューから呼び出すコンサートチューナーの設定項目は、演奏に直接影響するものをまとめてあります。 より詳細に設定したい場合には、サウンドメニューから設定します。	タッチカーブ	P. 114
		ボイスシング	P. 116
		ダンパーノイズ	P. 118
		キーアクションノイズ	P. 122
		ハンマーディレイ	P. 123
		ミニマムタッチ	P. 125
		88鍵ボリューム	P. 131
		ハーフペダルポイント	P. 133
		ソフトペダルデプス	P. 134
		保存	—
サウンドセッティング	演奏音に関する設定を行います。 スピーカーやヘッドホン、ライン入力の音量・音質を設定します。	トーンコントロール	P. 139
		スピーカーボリューム	—
		ラインインレベル	P. 142
		ウォールEQ	—
		スペシャルヘッドホンサウンド	P. 143
		ヘッドホンタイプ	P. 144
		ヘッドホンボリューム	P. 144
セッティング	AURES本体に関する設定を行います。 MIDI、Bluetooth-MIDI、Bluetooth Audio、USBに関する設定、画面消去、ロック、カラー液晶タッチパネル(LCD)のコントラスト調整、言語の設定を行います。	Bluetooth MIDI	P. 149
		Bluetoothオーディオ	P. 149
		Bluetoothオーディオ ボリューム	P. 150
		リネームファイル	P. 151
		デリートファイル	P. 152
		USBフォーマット	P. 153
		MIDIチャンネル	P. 156
		プログラムナンバー送信	P. 156
		ローカルコントロール	P. 157
		プログラムナンバー送信のON/OFF	P. 157
		LCDコントラスト	P. 159
		オートディスプレイオフ	P. 159
		オートパワーオフ	P. 160
		言語	P. 160
ファクトリーリセット	P. 161		

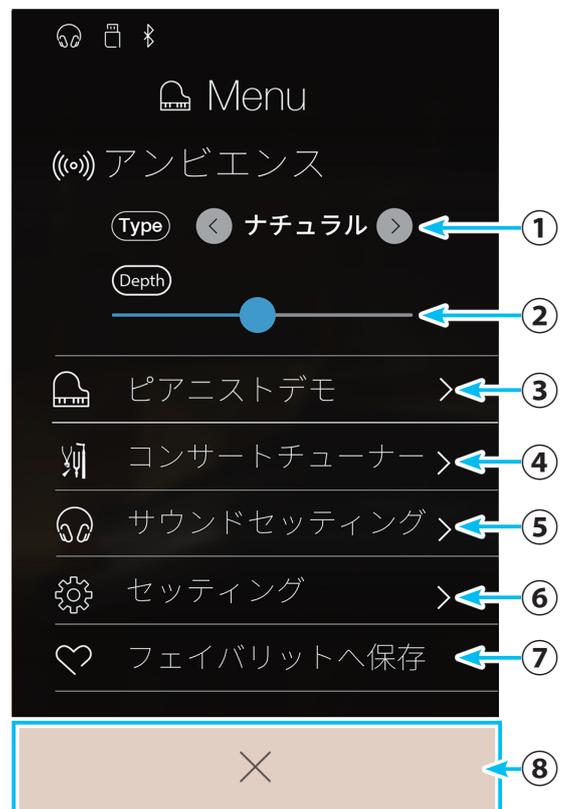
■ ピアニストメニューを表示する

1. Pianist画面の☰ (メニュー) ボタンをタップします。
ピアニストメニュー画面が表示されます。



ピアニストメニュー画面

- ① アンビエンスタイプ
音の広がり、空気感を調節します。(P. 100)
- ② アンビエンスデプス
アンビエンスの深さ・奥行き感を設定します。(P. 100)
- ③ ピアニストデモボタン
ピアニストデモ画面を表示します。(P. 101)
- ④ コンサートチューナーボタン
コンサートチューナー(ピアノ)画面を表示します。
(P. 109)
- ⑤ サウンドセッティングボタン
サウンドセッティング(ピアニストメニュー)画面を表示
します。(P. 135~)
- ⑥ セッティングボタン
本機のセッティング画面を表示します。(P. 146)
USBやBluetooth、MIDIなどの設定を行います。
- ⑦ フェイバリットへ保存ボタン
現在の本機の設定状態をフェイバリットに記憶します。
(P. 81)
- ⑧ ✕ (閉じる) ボタン
ピアニストメニュー画面が閉じてPianist画面に戻り
ます。



AURESを設定する

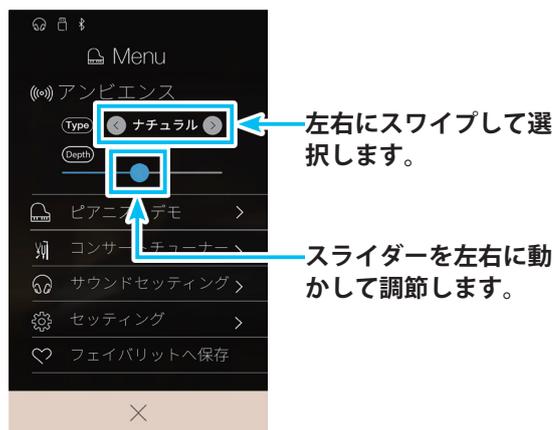
2. 設定したい項目をタップします。
選択した設定画面が表示されます。
3. 設定を終了または中止したいときは、**×**(閉じる)ボタンをタップします。
Pianist画面に戻ります。



● アンビエンスを設定する

音の広がり、空気感を設定します。

1. タイプの領域を左右に動かしてアンビエンスタイプを選択します。
中央に選択したアンビエンスタイプが表示されます。



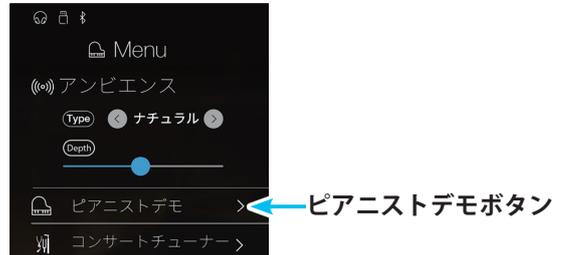
アンビエンスタイプ	効果
ナチュラル	自然な広がりを再現した効果です。
スモールルーム	小さな部屋の余韻を再現した効果です。
ミディアムルーム	やや大きな部屋の余韻を再現した効果です。
ラージルーム	大きな部屋の余韻を再現した効果です。
メロウラウンジ	落ち着いたラウンジの柔らかな余韻を再現した効果です。
ブライトラウンジ	ラウンジの明るい余韻を再現した効果です。
スタジオ	レコーディングスタジオの余韻を再現した効果です。
ウッドスタジオ	木製のレコーディングスタジオを再現した効果です。
ライブステージ	ステージでの反射を再現した効果です。
エコー	やまびこの様な反射を再現した効果です。

2. デプスは●(スライダー)を左右に動かして調節します。
3. **×**(閉じる)ボタンをタップします。
Pianist画面に戻ります。

● ピアニストデモを聴く

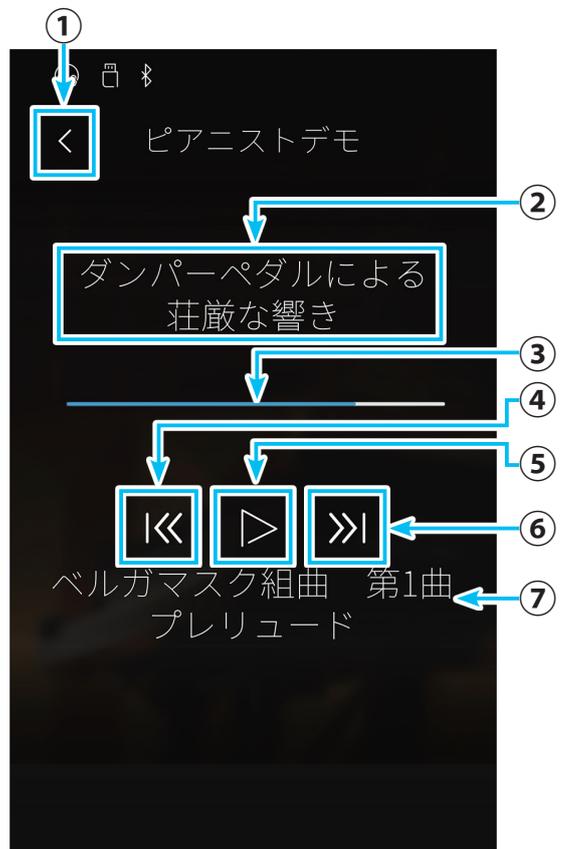
AURES本体に内蔵されているデモソングを再生します。

1. ピアニストデモボタンをタップします。
ピアニストデモ画面が表示されます。

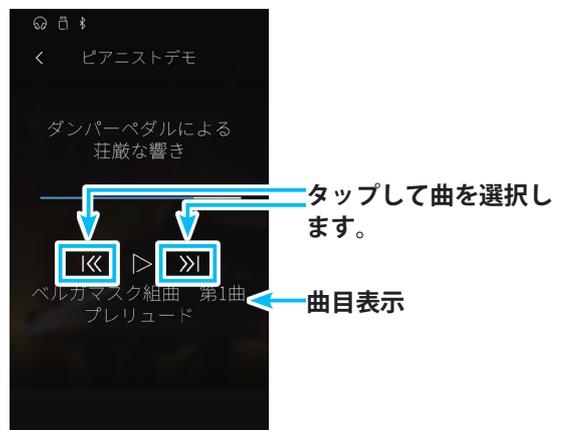


ピアニストデモ画面

- ① 戻るボタン
ピアニストメニュー画面に戻ります。
- ② ピアノ音説明
再生されているピアノの音についての説明を表示します。
- ③ ソングバー
曲の再生位置を表示します。
- ④ 1曲戻るボタン
1つ前の曲になります。
- ⑤ 再生/停止ボタン
曲を再生または停止します。
- ⑥ 1曲進むボタン
1つ次の曲になります。
- ⑦ 曲目表示
選択されている曲目を表示します。



2. |<< (1曲戻る) ボタンまたは >>| (1曲進む) ボタンをタップして曲を選択します。
曲目表示で確認します。



AURESを設定する

- ▶ (再生) ボタンをタップします。
再生を開始します。
- 完了または中断するときは ◻ (停止) ボタンをタップします。
再生を停止します。



再生/停止ボタン

● ピアノ曲デモ曲リスト

曲名	作曲家
1 英雄ポロネーズ	ショパン
2 ベルガマスク組曲 第1番 プレリュード	ドビュッシー
3 トルコ行進曲	モーツァルト

● その他のピアノストメニュー

上記以外のピアノストメニューの各項目は以下のページをご覧ください。

- コンサートチューナー： 3. コンサートチューナー (P. 108)
サウンドセッティング： 4. サウンドセッティング (P. 135)
セッティング： 5. その他のセッティング (P. 145)

2. サウンドメニュー

■ サウンドメニューの設定項目

Sound画面から表示するサウンドメニューでの設定項目は次の表のとおりです。

設定メニュー	設定内容	設定できる項目	説明ページ
リバーブ	リバーブの効果を設定します。	タイプ	P. 22
		デプス	P. 22
		タイム	P. 22
エフェクト	エフェクトの種類や効果を設定します。	タイプ	P. 26
		変更項目2種類	P. 28
トランスポーズ	キー(調)を変更します。	キー(調)	P. 106
キーボードセッティング (Single選択時には表示されません)	バランスやオクターブシフトなどの設定を行います。	デュアル バランス、レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス	P. 33
		スプリット バランス、ローオクターブシフト、ローペダル、スプリットポイント	P. 37
		4ハンズ バランス、ライトオクターブシフト、レフトオクターブシフト、スプリットポイント	P. 41
コンサートチューナー	ピアノに関する様々な調整を電子的にシミュレートし、演奏者の好みのピアノにするための設定です。 ダンパー、弦、鍵盤などの共振やノイズなどピアノの詳細な部分までシミュレートすることができます。 おまかせ設定にすることもできます。	コンサートチューナーモード	P. 112
		タッチカーブ	P. 114
		ボイスング	P. 116
		ダンパーレゾナンス	P. 118
		ダンパーノイズ	P. 118
		ストリングレゾナンス	P. 119
		開放弦レゾナンス	P. 120
		キャビネットレゾナンス	P. 121
		キーオフエフェクト	P. 121
		キーアクションノイズ	P. 122
		ハンマーディレイ	P. 123
		大屋根の開閉	P. 124
		ディケイタイム	P. 125
		ミニマムタッチ	P. 125
		ストレッチチューニング	P. 126
		音律	P. 128
		音律の主音	P. 130
88鍵ボリューム	P. 131		
ハーフペダルポイント	P. 133		
ソフトペダルデプス	P. 134		
保存	—		
おまかせ設定	P. 112		

設定メニュー	設定内容	設定できる項目	説明ページ
サウンドセッティング	演奏音に関する設定を行います。 スピーカーやヘッドホン、ライン入力の 音量・音質を設定します。	チューニング	P. 138
		ダンパーホールド	P. 138
		トーンコントロール	P. 139
		スピーカーボリューム	—
		ラインインレベル	P. 142
		ウォールEQ	—
		スペシャルヘッドホンサウンド	P. 143
		ヘッドホンタイプ	P. 144
		ヘッドホンボリューム	P. 144
セッティング	本機全体に係わる設定を行います。 MIDIに関する設定、Bluetooth-MIDI、 Bluetooth Audio、USB、画面消去、ロック、 カラー液晶タッチパネル(LCD)のコント ラスト調整、言語の設定を行います。	Bluetooth MIDI	P. 149
		Bluetoothオーディオ	P. 149
		Bluetoothオーディオ ボリューム	P. 150
		リネームファイル(USB接続時のみ)	P. 151
		デリートファイル(USB接続時のみ)	P. 152
		USBフォーマット(USB接続時のみ)	P. 153
		MIDIチャンネル	P. 156
		プログラムナンバー送信	P. 156
		ローカルコントロール	P. 157
		プログラムナンバー送信のON/OFF	P. 157
		マルチティンバーモード	P. 158
		チャンネルミュート	P. 158
		LCDコントラスト	P. 159
		オートディスプレイオフ	P. 159
		オートパワーオフ	P. 160
		言語	P. 160
ファクトリーリセット	P. 161		

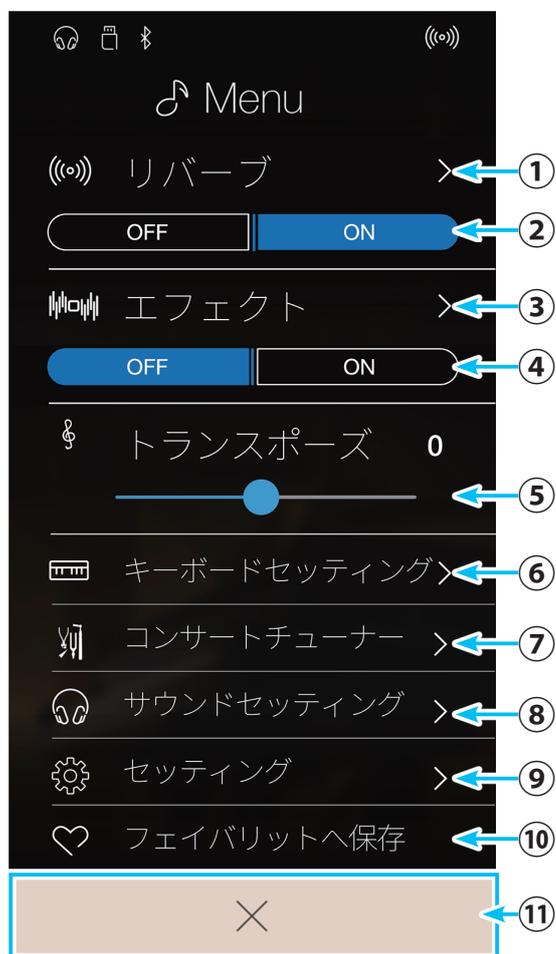
■ サウンドメニューを表示する

1. Sound画面の  (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面が表示されます。



サウンドメニュー画面

- ① **リバーブ設定ボタン**
リバーブ画面を表示します。(P. 106)
- ② **リバーブON/OFFスイッチ**
リバーブ動作をON/OFFします。(P. 106)
- ③ **エフェクト設定ボタン**
エフェクト画面を表示します。(P. 106)
- ④ **エフェクトON/OFFスイッチ**
エフェクト動作をON/OFFします。(P. 106)
- ⑤ **トランスポーズ**
キートランスポーズの値を設定します。(P. 106)
- ⑥ **キーボードセッティングボタン**
キーボードセッティング画面を表示します。(P. 107)
※ Single選択時には表示されません。
- ⑦ **コンサートチューナーボタン**
コンサートチューナー(サウンド)画面を表示します。(P. 109)
- ⑧ **サウンドセッティングボタン**
サウンドセッティング(サウンド)画面を表示します。(P. 135)
- ⑨ **セッティングボタン**
セッティング(サウンド)画面を表示します。(P. 146)
- ⑩ **フェイバリットへ保存ボタン**
現在の状態をフェイバリットに記憶します。(P. 81)
- ⑪ **✕(閉じる)ボタン**
Sound画面に戻ります。



※ 上記の画面は、説明のためにメニュー項目を全て表示しています。実際には一度に全部のメニューを表示することはできません。上下にスワイプして表示します。

AURESを設定する

● リバーブの設定

リバーブのON/OFFとリバーブ画面でリバーブのタイプ/デプスを設定します。

詳細は「**リバーブ**」(P. 22)をご覧ください。



● エフェクトの設定

エフェクトのON/OFFとエフェクト画面でエフェクトのタイプ、変更項目を設定します。

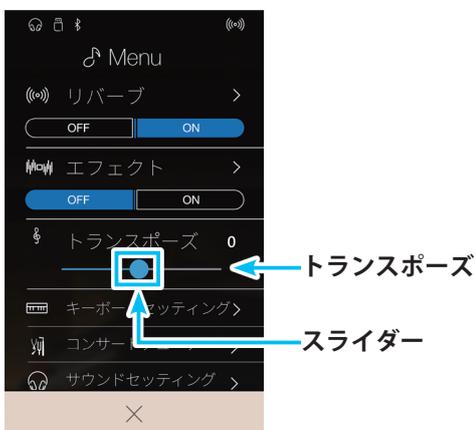
詳細は「**エフェクト**」(P. 26)をご覧ください。



● トランスポーズの設定

トランスポーズは半音単位で調を変えることです。キー(調)の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

1. トランスポーズの●(スライダー)を左右に動かして、キートランスポーズを調整します。半音単位で動かすことができます。
2. 設定終了後は、**×**(閉じる)ボタンをタップします。



● キーボード設定

デュアルモード、スプリットモード、4ハンズモードでのキーボードのバランスやオクターブシフト、スプリットポイントを設定します。

現在の演奏モードにより表示される画面と設定項目が異なります。詳しくは下記をご覧ください。

- デュアル演奏：** 2. デュアル演奏
■ デュアル演奏の設定を変更する (P. 33)
- スプリット演奏：** 3. スプリット演奏
■ スプリット演奏の設定を変更する (P. 37)
- 4ハンズモード：** 4. 4ハンズモード (連弾演奏)
■ 4ハンズ演奏の設定を変更する (P. 41)



← キーボード
設定ボタン

● フェイバリットに登録する

現在のサウンドメニューの設定状態をフェイバリットに登録します。フェイバリットに登録しておくと、簡単な操作で登録した設定を呼び出すことができるだけでなく、AURESの起動時に設定を自動的に呼び出すことができます。

1. サウンドメニュー内の各項目を設定します。
2. フェイバリットへ保存ボタンをタップします。
現在の設定状態がフェイバリットに登録されます。
3. 設定終了後は、 (閉じる) ボタンをタップします。



← フェイバリットへ保存
ボタン

● その他のサウンドメニュー

上記以外のサウンドメニューの各項目は以下のページをご覧ください。

- コンサートチューナー：** 3. コンサートチューナー (P. 108)
- サウンドセッティング：** 4. サウンドセッティング (P. 135)
- セッティング：** 5. その他のセッティング (P. 145)

3. コンサートチューナー

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律 / 整調 / 整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

コンサートチューナーはこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。19項目にも及ぶ調整項目を細かく調整できるだけでなく、調整方法を知らなくてもおすすめの19項目の設定を瞬時に行うおまかせ設定もありますので、簡単に様々なピアノ調整を楽しむことが可能です。

また、これらの調整した設定を音色毎に保存することも可能です。

さらに、これらの設定は、フェイバリットに記憶することができます。「7. フェイバリットについて」(P. 79)をご覧ください。

■ おまかせ設定と詳細設定

おまかせ設定 コンサートチューナーの多くの調整機能をあらかじめ組み合わせたおすすめの設定です。ピアノ調整機能の内容を知らなくてもプリセットを選ぶだけで、ピアノ調整の変化を楽しむことができます。
※おまかせ設定は、Sound選択時のみの機能です。

詳細設定 ハンマー調整や、タッチカーブ調整、ダンパーペダル音調整など、ピアノ調整のディテールを調律師のように調整することができます。

■ 詳細設定の種類と内容、電源ON時の設定

種類	初期設定	効果のかかる音色
1. タッチカーブ	ノーマル	全音色
2. ボイシング	ノーマル	全音色
3. ダンパーレゾナンス	5	ピアノ音色のみ
4. ダンパーノイズ	5	ピアノ音色のみ
5. スtringレゾナンス	5	ピアノ音色のみ
6. 開放弦レゾナンス	5	ピアノ音色のみ
7. キャビネットレゾナンス	1	ピアノ音色のみ
8. キーオフエフェクト	5	ピアノ音色 クラシック E.ピアノ / 60's E.ピアノ / クラシック E.ピアノ 2
9. キーアクションノイズ	5	ピアノ音色 ハーブシコード / オクターブハーブシコード / ハーブシコード 2
10. ハンマーディレイ	オフ	ピアノ音色のみ
11. 大屋根の開閉	オープン3	ピアノ音色のみ
12. ディケイタイム	5	全音色
13. ミニマムタッチ	1	ピアノ音色 クラシック E.ピアノ / 60's E.ピアノ / クラシック E.ピアノ 2
14. ストレッチチューニング	(音色毎に異なる)	全音色
15. 音律の設定	平均律	全音色
16. 音律の主音の設定	C	全音色
17. 88鍵ボリューム	オフ	全音色
18. ハーフペダルポイント	5	全音色
19. ソフトペダルデプス	3	全音色

■ コンサートチューナーを表示する

- それぞれのメニュー画面のコンサートチューナーボタンをタップします。
コンサートチューナー画面が表示されます。

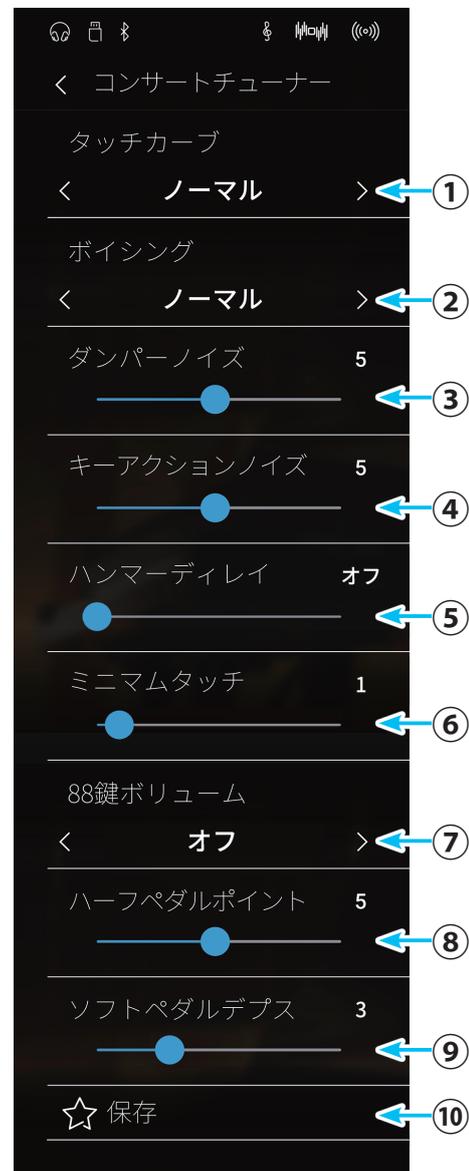


ピアニストメニュー画面

サウンドメニュー画面

コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面

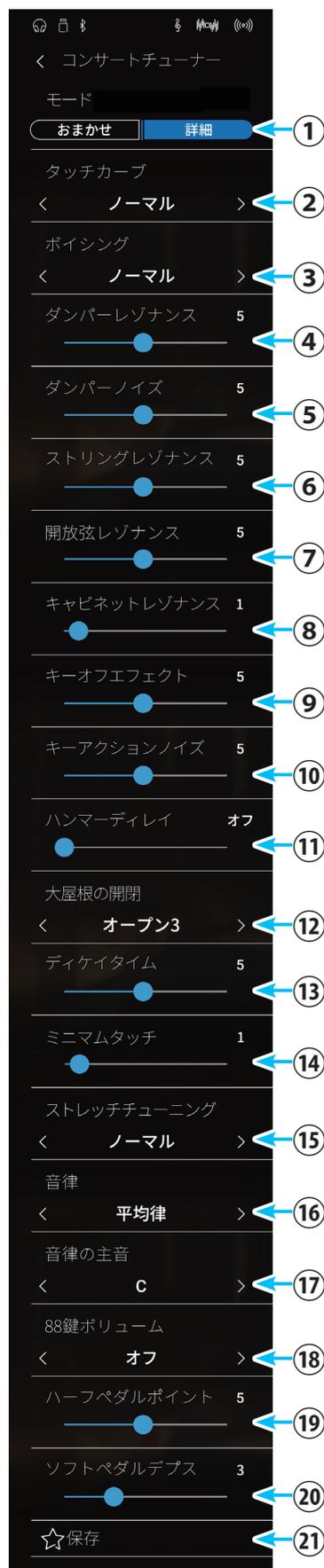
- タッチカーブ**
タッチカーブのタイプを選択します。(P. 114)
ユーザーが作成することもできます。
- ボイスング**
ボイスングのタイプを選択します。(P. 116)
ユーザーが作成することもできます。
- ダンパーノイズ**
ダンパーノイズの値を設定します。(P. 118)
- キーアクションノイズ**
キーアクションノイズの値を設定します。(P. 122)
- ハンマーディレイ**
ハンマーディレイの値を設定します。(P. 123)
- ミニマムタッチ**
ミニマムタッチの値を設定します。(P. 125)
- 88鍵ボリューム**
88鍵ボリュームのタイプを選択します。(P. 131)
ユーザーが作成することもできます。
- ハーフペダルポイント**
ハーフペダルポイントの値を設定します。(P. 133)
- ソフトペダルデプス**
ソフトペダルデプスの値を設定します。(P. 134)
- 保存**
コンサートチューナーの設定を音色に保存します。



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を全て表示しています。実際には一度に全部のメニューを表示することはできません。
上下にスワイプして表示します。

コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面

- ① **コンサートチューナーモードスイッチ**
コンサートチューナーモードを切り替えます。(P. 112)
- ② **タッチカーブ**
鍵盤のタッチレスポンスのカーブを選択します。(P. 114)
ユーザーが作成することもできます。
- ③ **ボイシング**
弦を叩くハンマーの状態をシミュレートした7種類のハンマータイプから選択します。(P. 116)
ユーザーが作成することもできます。
- ④ **ダンパーレゾナンス**
ダンパーペダルを踏んだときの共鳴音の音量を調整します。(P. 118)
- ⑤ **ダンパーノイズ**
ダンパーペダルを踏んだり離したりしたときに発生するノイズの音量を調整します。(P. 118)
- ⑥ **ストリングレゾナンス**
ピアノの弦の共鳴音の音量を調整します。(P. 119)
- ⑦ **開放弦レゾナンス**
ピアノの開放弦の高音部の共鳴音の音量を調整します。(P. 120)
- ⑧ **キャビネットレゾナンス**
グランドピアノの筐体そのものの余韻を調整します。(P. 121)
- ⑨ **キーオフエフェクト**
鍵盤を強く弾いてから離れたときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音の音量を調整します。(P. 121)
- ⑩ **キーアクションノイズ**
鍵盤を離れた後、鍵盤アクションが戻った時に発生するノイズ音の音量を調整します。(P. 122)
- ⑪ **ハンマーディレイ**
ハンマーが弦を叩くタイミングのわずかな遅れをシミュレートしたもので、演奏しやすいタイミングに調整します。(P. 123)
- ⑫ **大屋根の開閉**
グランドピアノの大屋根の開き具合を選択します。(P. 124)
- ⑬ **ディケイタイム**
鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調整します。(P. 125)



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を全て表示しています。実際には一度に全部のメニューを表示することはできません。上下にスワイプして表示します。

⑭ **ミニマムタッチ**

一番小さい音が出るタッチの強さを設定します。
(P.125)

⑮ **ストレッチチューニング**

通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のこと。2種類から選択します。(P.126)

⑯ **音律**

音律を選択します。(P.128)

⑰ **音律の主音**

音律の主音を設定します。(P.130)

⑱ **88鍵ボリューム**

ピアノでは、鍵盤によって音量が異なります。あらかじめ設定した4種類のボリュームの組み合わせから選択します。(P.131)
ユーザーが作成することもできます。

⑲ **ハーフペダルポイント**

ハーフペダルが掛かり始めるポイント(音が伸び始めるポイント)を調整します。(P.133)

⑳ **ソフトペダルデプス**

ソフトペダルの効き具合を調整します。(P.134)

㉑ **保存**

コンサートチューナーの設定を音色に保存します。

2. コンサートチューナーを終了するときには、画面上部の < (戻る) ボタンをタップします。
ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面に戻ります。
各設定項目については次項からの説明をご覧ください。



■ コンサートチューナーの各項目を設定する

★印の項目は、コンサートチューナー(サウンドメニュー)にのみ表示され、コンサートチューナー(ピアニストメニュー)では表示されません。

「おまかせ設定」を選ぶことで、コンサートチューナーの細かい調整内容を知らなくても、簡単に様々なピアノ調整を楽しむことができます。

● おまかせ設定のタイプ

タイプ	説明
オフ	詳細設定が全て初期値の設定です。
ノーノイズ	ダンパーを踏んだときの「シャーン」という音や、鍵盤を離れたときの「ゴト」という音を消したチューニングです。
ディープレゾナンス	ダンパーペダルを踏みながら音を出したときの響きや、弦の共鳴等をより深くしたチューニングです。
レスレゾナンス	ダンパーペダルを踏みながら音を出したときの響きや、弦の共鳴等を抑えたチューニングです。
ソフト	ハンマーを柔らかく調整し、鍵盤のタッチを重めにする事で響きをソフトにしたチューニングです。落ち着いた曲や静かな曲に適しています。
ブリリアント	ハンマーを固めに調整し、ダンパーやピアノ本体等の響きを明るくしたチューニングです。明るく華やかな曲、よく響かせたい曲に適しています。
クリーン	ハンマーを固めに調整し、鍵盤のタッチを軽くすることで響きをすっきりとさせたチューニングです。
ストロング	ハンマーの反応を強めて、各種ノイズや響きを強めにしたチューニングです。抑揚のあるダイナミックな曲に適しています。
グルーミー	ハンマーを固めに調整し、鍵盤のタッチを重くすることで独特な薄暗い響きを持たせたチューニングです。
リッチ	ハンマーの反応を強めて鍵盤を軽めにし、響きを豊かにしたチューニングです。
クラシカル	「古典派」から「ロマン派」にかけての時代に使われたピアノを再現したチューニングです。

おまかせ設定に切り替える

コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、コンサートチューナーモードスイッチのおまかせボタンまたは詳細ボタンをタップしてそれぞれの設定画面に切り替えます。

1. おまかせボタンをタップします。

コンサートチューナーおまかせ設定画面が表示されます。



コンサートチューナーおまかせ設定画面

① 戻るボタン

サウンドメニュー画面に戻ります。

② コンサートチューナーモードスイッチ

詳細設定とおまかせ設定を切り替えます。

③ おまかせ設定選択

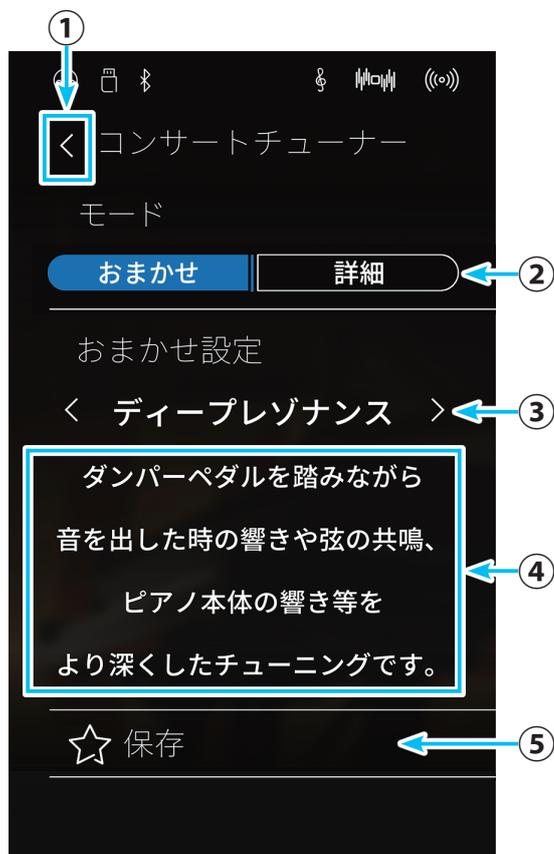
おまかせ設定のタイプを選択します。

④ 案内表示

選択されているおまかせ設定タイプの説明を表示します。

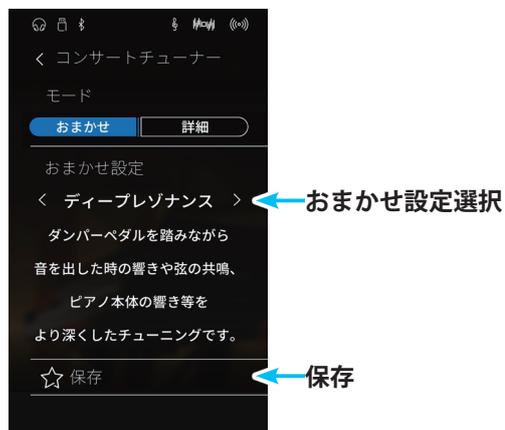
⑤ 保存

選択されている設定を現在の音色に保存します。



2. おまかせ設定選択の領域を左右にスワイプして、おまかせ設定のタイプを選択します。

3. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。



おまかせ設定を音色に保存する

おまかせ設定のタイプを現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したおまかせ設定のタイプが反映されます。

おまかせ設定のタイプを選択後、保存をタップします。

AURESを設定する

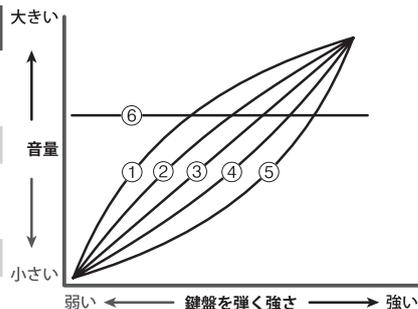
● タッチカーブ

ピアノでは鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。

AURESでは、6種類のタッチカーブに加え、演奏する人の力に最も適したタッチカーブを作るユーザータッチカーブ作成機能を搭載しています。

タッチカーブの種類

種類	効果
①ライト+	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
②ライト	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向けのタッチカーブです。
③ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
⑤ヘビー+	指の力の強い人向けのタッチカーブです。
⑥オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
ユーザー	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。



タッチカーブの種類を選択する

1. コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、タッチカーブの領域を左右にスワイプして種類を選択します。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。
「ユーザー」を選択した場合は次項をご覧ください。

※ タッチカーブは全音色に効果があります。



ユーザータッチカーブの作成

ユーザータッチカーブ作成機能とは、ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

1. タッチカーブの種類で「ユーザー」を選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザータッチカーブ作成画面が表示されます。



ユーザータッチカーブ作成画面

① 戻るボタン

コンサートチューナー詳細設定画面に戻ります。

② 案内表示

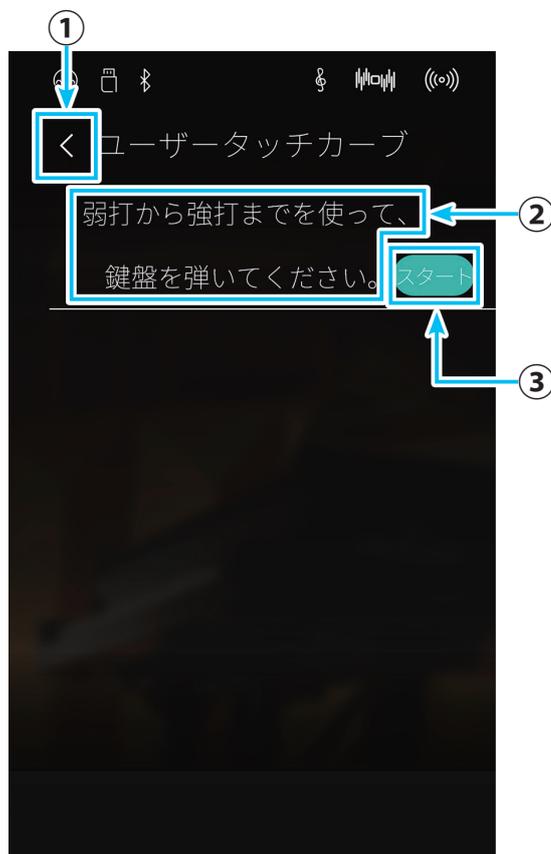
タッチカーブ作成状態を表示します。

③ タッチカーブ作成開始/終了ボタン

タップして作成を開始します。

操作の進行に応じてスタート、ストップ、OKと文字表示が変わります。

2. スタート(タッチカーブ作成開始/終了)ボタンをタップします。
ボタンの表示がストップに変わります。
3. 適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾きます。
4. 演奏が終わったら、ストップ(タッチカーブ作成開始/終了)ボタンをタップします。
案内表示が「アナライズコンプリート」に変わり、OK(タッチカーブ作成開始/終了)ボタンをタップしたら作成完了です。
5. < (戻る)ボタンをタップします。



タッチカーブ/ユーザータッチカーブの設定を音色に保存する

選択したタッチカーブの種類/作成したユーザータッチカーブの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したタッチカーブの設定が反映されます。
タッチカーブ/ユーザータッチカーブ設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



AURESを設定する

● ボイシング

アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、7種類のハンマータイプが選べます。

※ 任意の鍵盤だけにボイシングを行うこと(ユーザーボイシング)も可能です。

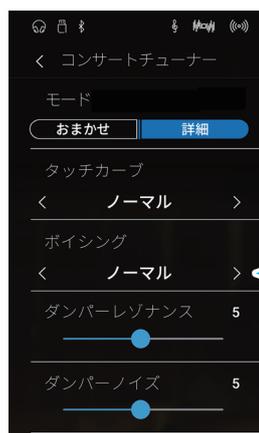
ハンマーの状態の種類

種類	効果
ノーマル	通常の設定です。
メロウ1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
メロウ2	メロウ1よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
ブライト1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
ブライト2	ブライト1より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。
ユーザー	任意の鍵盤に対してボイシング調整が可能になります。

ボイシングの種類を選択する

1. 詳細設定画面で、ボイシングの領域を左右にスワイプして種類を選択します。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。
「ユーザー」を選択した場合は次項をご覧ください。

※ ボイシングは全音色に効果があります。



ユーザーボイシング

任意の鍵盤に対してボイシング調整を行います。

1. コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、ボイシングの領域を左右にスワイプして「ユーザー」を選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザーボイシング作成画面が表示されます。



ユーザーボイスンク作成画面

① 戻るボタン

コンサートチューナー詳細設定画面に戻ります。

② 鍵盤表示

鍵盤を押すと、ユーザーボイスンクを設定する鍵盤番号が表示されます。

③ 案内表示

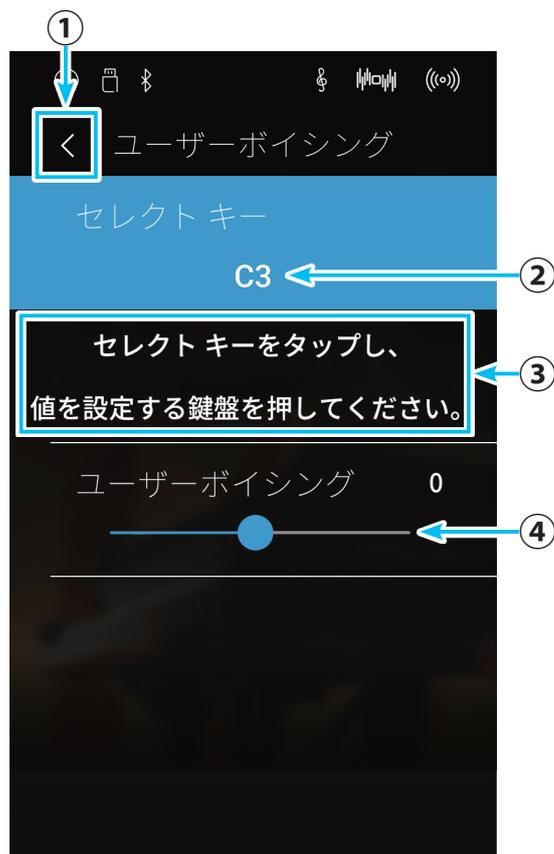
操作説明を表示します。

④ ユーザーボイスンク

ユーザーボイスンクの値を設定します。

- ユーザーボイスンクを設定したい鍵盤を押します。
鍵盤表示に押した鍵盤番号が表示されます。
- ユーザーボイスンクの●(スライダー)を左右に動かしてユーザーボイスンクを調節します。
値は-5~+5です。「-5」が最もメロウなボイスンク、「+5」が最もブライトなボイスンクになります。
- ◀ (戻る) ボタンをタップします。
設定を終了します。

※ ユーザーボイスンクはピアノ音色のみに効果があります。



ボイスンク/ユーザーボイスンクの設定を音色に保存する

選択したボイスンクの種類/作成したユーザーボイスンクの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したボイスンクの設定が反映されます。
ボイスンク/ユーザーボイスンク設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



AURESを設定する

● ダンパーレゾナンス★

ダンパーペダル(P. 11参照)を踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を設定することができます。

ダンパーレゾナンスの値を設定する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、ダンパーレゾナンスの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも弱く、「10」がもっとも強く響きます。「オフ」の場合は共鳴音はありません。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は<(戻る)ボタンをタップします。

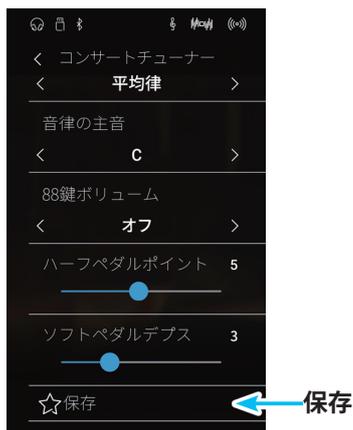
※ ダンパーレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。



ダンパーレゾナンスの設定を音色に保存する

設定したダンパーレゾナンスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したダンパーレゾナンスの値が反映されます。

ダンパーレゾナンスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



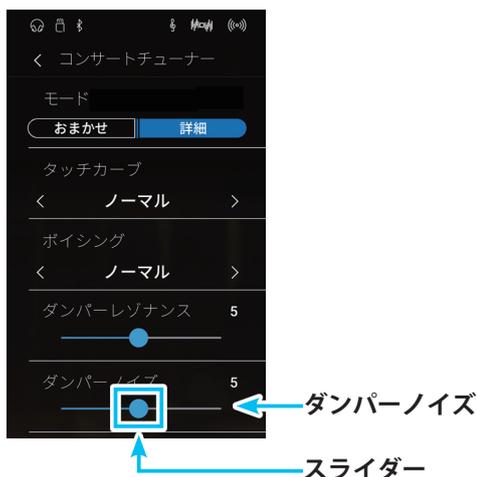
● ダンパーノイズ

ダンパーペダルを踏んだときと、離れたとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

ダンパーノイズを設定する

1. コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、ダンパーノイズの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きくなります。「オフ」の場合はダンパーノイズは鳴りません。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は<(戻る)ボタンをタップします。

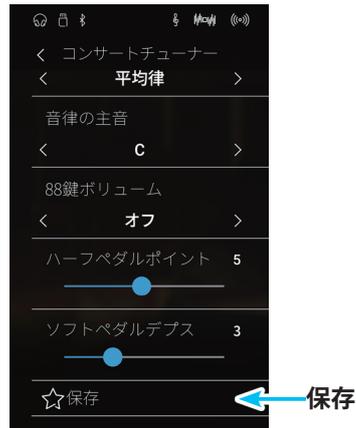
※ ダンパーノイズはピアノ音色のみに効果があります。



ダンパーノイズの設定を音色に保存する

設定したダンパーノイズの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したダンパーノイズの値が反映されます。

ダンパーノイズの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



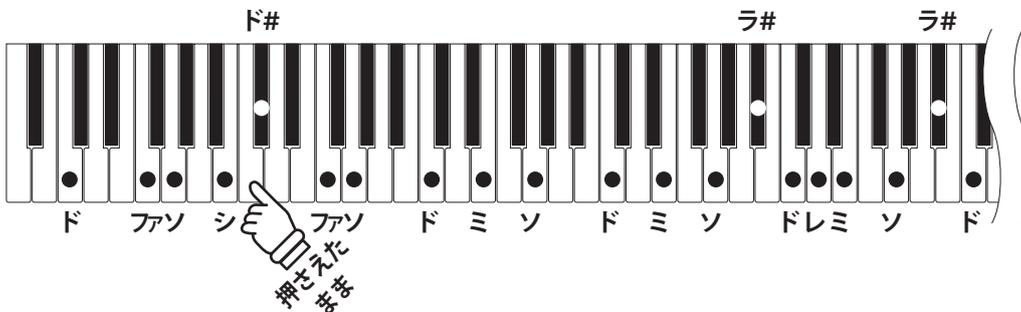
● スtring レゾナンス ★

ピアノの弦の共鳴効果(STRING レゾナンス)をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて変更することができます。

STRING レゾナンスとは？

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「STRING レゾナンス」です。

例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。



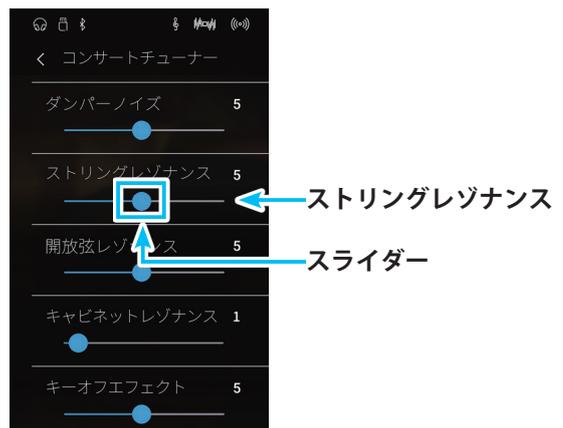
ピアノではある鍵盤を押さえたままにして隣の鍵盤を弾くと振動が伝わっておさえていた弦が共鳴して音が出ます。AURESではこの現象もシミュレートしています。

ダンパーペダルを踏んだまま弾いた場合はSTRING レゾナンス効果はありません。

STRING レゾナンスの値を設定する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、STRING レゾナンスの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きく鳴ります。「オフ」の場合は弦の共鳴音はありません。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。

※ STRING レゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。

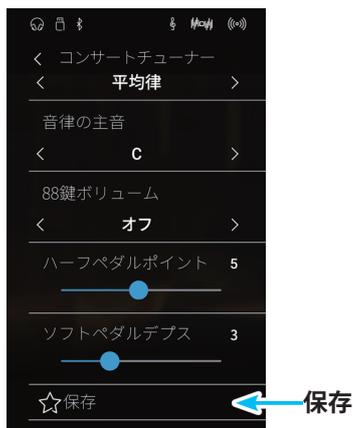


AURESを設定する

ストリングレゾナンスの設定を音色に保存する

設定したストリングレゾナンスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したストリングレゾナンスの値が反映されます。

ストリングレゾナンスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



● 開放弦レゾナンス★

グランドピアノの高音部はダンパーが付いておらず、その高音部の弦はダンパーペダルを踏む/踏まないに関わらず常に開放されている状態となっています。開放弦レゾナンスは、その常に開放されている高音部の弦共鳴をシミュレートします。

開放弦レゾナンスの値を設定する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、開放弦レゾナンスの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも弱く「10」がもっとも強く鳴ります。「オフ」の場合は弦の共鳴はありません。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。

※ 開放弦レゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。



開放弦レゾナンスの設定を音色に保存する

設定した開放弦レゾナンスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した開放弦レゾナンスの値が反映されます。

開放弦レゾナンスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



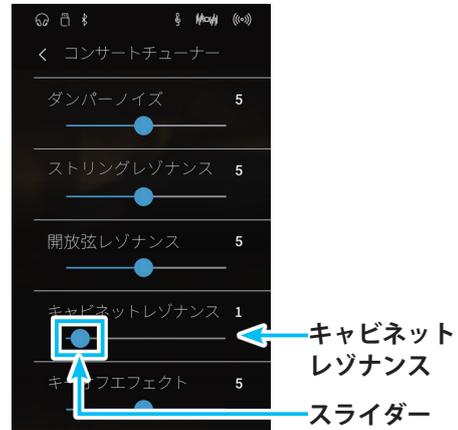
● キャビネットレゾナンス★

キャビネットレゾナンスはグランドピアノの筐体そのものの余韻をシミュレートします。

キャビネットレゾナンスの値を設定する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、キャビネットレゾナンスの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも弱く「10」がもっとも強く鳴ります。「オフ」の場合は筐体の余韻はありません。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は<(戻る)ボタンをタップします。

※ キャビネットレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。



キャビネットレゾナンスの設定を音色に保存する

設定したキャビネットレゾナンスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したキャビネットレゾナンスの値が反映されます。

キャビネットレゾナンスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



● キーオフエフェクト★

特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離れたときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたもので、この音量をお好みに合わせて調整することができます。

キーオフエフェクトの値を設定する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、キーオフエフェクトの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも弱く、「10」がもっとも強く鳴ります。「オフ」の場合効果はありません。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は<(戻る)ボタンをタップします。

※ キーオフエフェクトはピアノ音色、クラシック E.ピアノ、60's E.ピアノ、クラシック E.ピアノ2にのみ効果があります。

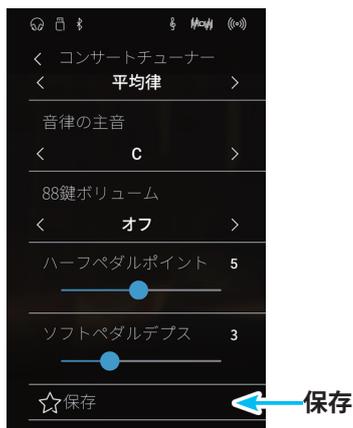


AURESを設定する

キーオフエフェクトの設定を音色に保存する

設定したキーオフエフェクトの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したキーオフエフェクトの値が反映されます。

キーオフエフェクトの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



● キーアクションノイズ

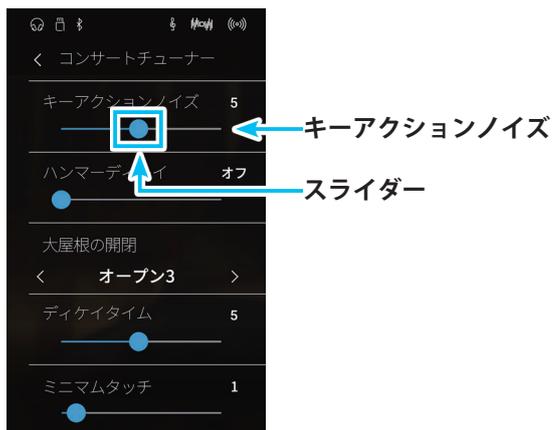
ピアノでは、鍵盤を離れた際に鍵盤アクションも同時に戻りますが、この際に鍵盤アクションからノイズ音が発生します。キーアクションノイズはこのノイズ音をシミュレートしたもので、このノイズの音量を設定することができます。

キーアクションノイズを設定する

1. コンサートチューナー（ピアニストメニュー）画面またはコンサートチューナー（サウンドメニュー）画面の詳細設定画面で、キーアクションノイズの●（スライダー）を左右に動かして、値を設定します。値はオフ、1～10です。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きく鳴ります。「オフ」の場合はキーアクションノイズは鳴りません。

2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は <（戻る）ボタンをタップします。

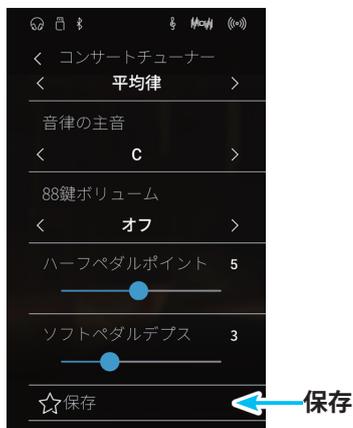
※ キーアクションノイズはピアノ音色、ハーブシコード、オクターブハーブシコード、ハーブシコード2に効果があります。



キーアクションノイズの設定を音色に保存する

設定したキーアクションノイズの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したキーアクションノイズの値が反映されます。

キーアクションノイズの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



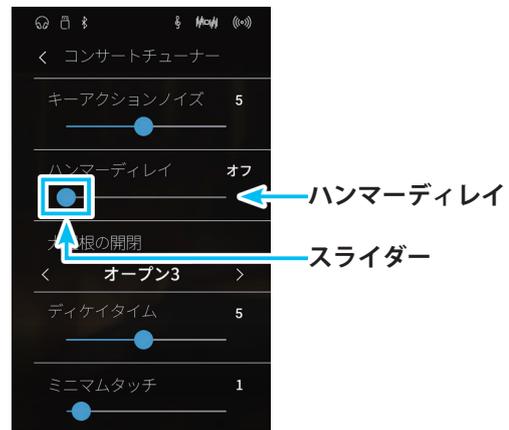
●ハンマーディレイ

ピアノでは、ピアノシモ(最弱打)で弾いた際、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。ハンマーディレイはこのハンマーの遅れをシミュレートしたもので、演奏しやすいタイミングに調整することができます。

ハンマーディレイを設定する

1. コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、ハンマーディレイの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっともハンマー遅れが小さく、「10」がもっともハンマー遅れが大きくなります。「オフ」の場合はハンマーディレイは発生しません。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は<(戻る)ボタンをタップします。

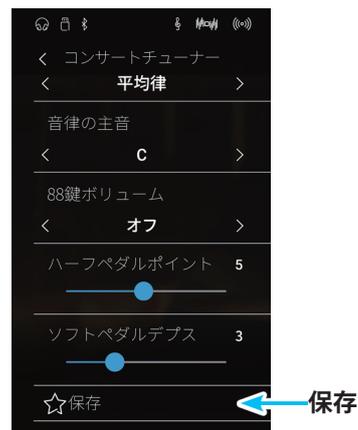
※ハンマーディレイはピアノ音色のみに効果があります。



ハンマーディレイの設定を音色に保存する

設定したハンマーディレイの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したハンマーディレイの値が反映されます。

ハンマーディレイの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



AURESを設定する

● 大屋根の開閉★

グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

種類	効果
オープン3	大屋根を一番開いた状態を再現します。
オープン2	大屋根を中程度開いた状態を再現します。
オープン1	大屋根を少し開いた状態を再現します。
クローズ	大屋根を閉じた状態を再現します。

大屋根の開閉を設定する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、大屋根の開閉の領域を左右にスワイプして、種類を選択します。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。

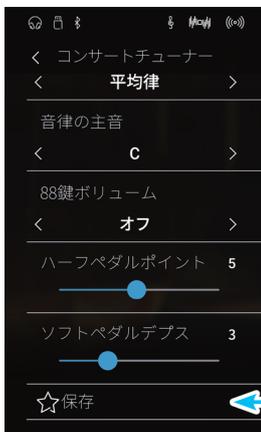
※ 大屋根の開閉はピアノ音色のみに効果があります。



大屋根の開閉の設定を音色に保存する

設定した大屋根の種類を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した大屋根の種類が反映されます。

大屋根の開閉の設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



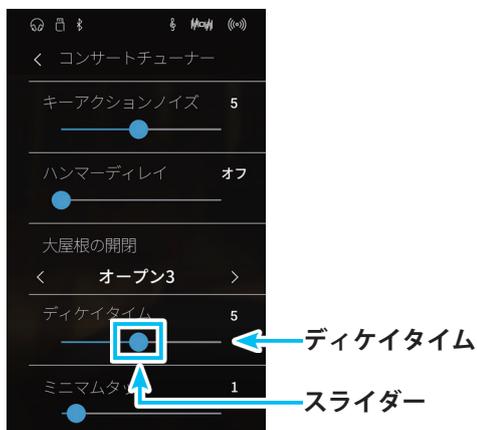
● ディケイタイム★

鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調整します。

ディケイタイムを設定する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、ディケイタイムの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値は1～10があります。「1」がもっとも減衰が短く、「10」がもっとも減衰が長くなります。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。

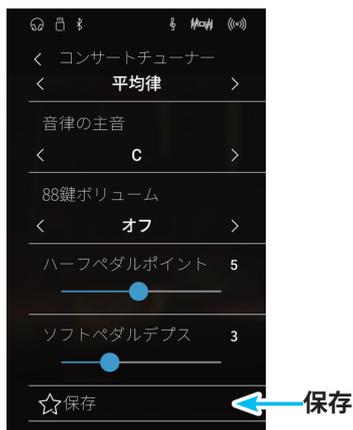
※ ディケイタイムは全音色に効果があります。



ディケイタイムの設定を音色に保存する

設定したディケイタイムの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したディケイタイムの値が反映されます。

ディケイタイムの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



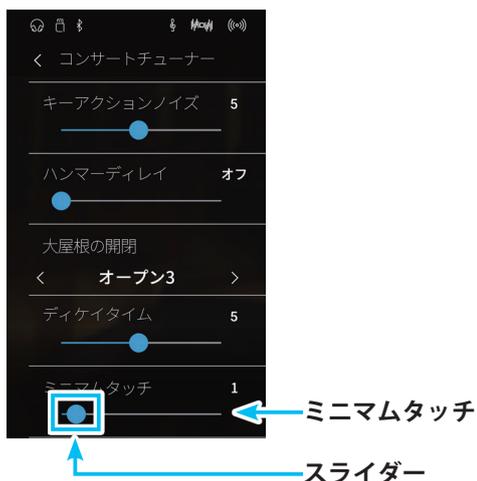
● ミニмумタッチ

ピアノによって、一番小さい音が出るタッチの強さは異なります。ミニмумタッチは、この一番小さい音が出るタッチの強さを設定することができます。

ミニмумタッチを設定する

1. コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、ミニмумタッチの●(スライダー)を左右に動かして、値を設定します。値は1～20があります。「1」がもっともミニмумタッチが小さく、非常に弱いタッチでも音が出ます。「20」がもっともミニмумタッチが大きくなり、非常に弱いタッチだと音が出なくなります。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。

※ ミニмумタッチはピアノ音色、クラシック E.ピアノ、60's E.ピアノ、クラシック E.ピアノ2に効果があります。

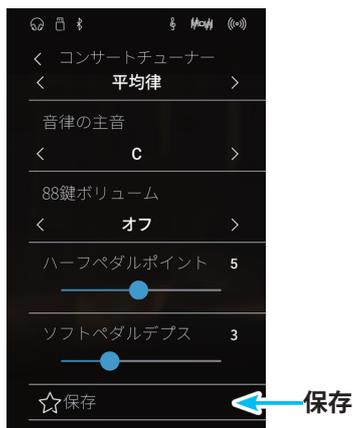


AURESを設定する

ミニマムタッチの設定を音色に保存する

設定したミニマムタッチの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したミニマムタッチの値が反映されます。

ミニマムタッチの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



● ストレッチチューニング★

ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことです。AURESは2種類のストレッチチューニングから選ぶことができます。この機能は音律の設定(P. 128)で平均律が選ばれているときのみ有効な機能です。

ストレッチチューニングの種類

種類	説明
オフ	通常の平均律のチューニングそのままの状態です。
ノーマル	通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くなります。
ワイド	通常の平均律に比べ低音側はより低く、高音側はより高くなります。
ユーザー	1鍵1鍵ごとにチューニングを設定できます。

ストレッチチューニングを選択する

1. コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、ストレッチチューニングの領域を左右にスワイプして、種類を選択します。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。
「ユーザー」を選択した場合は次項をご覧ください。

※ ストレッチチューニングの設定は全音色に効果があります。



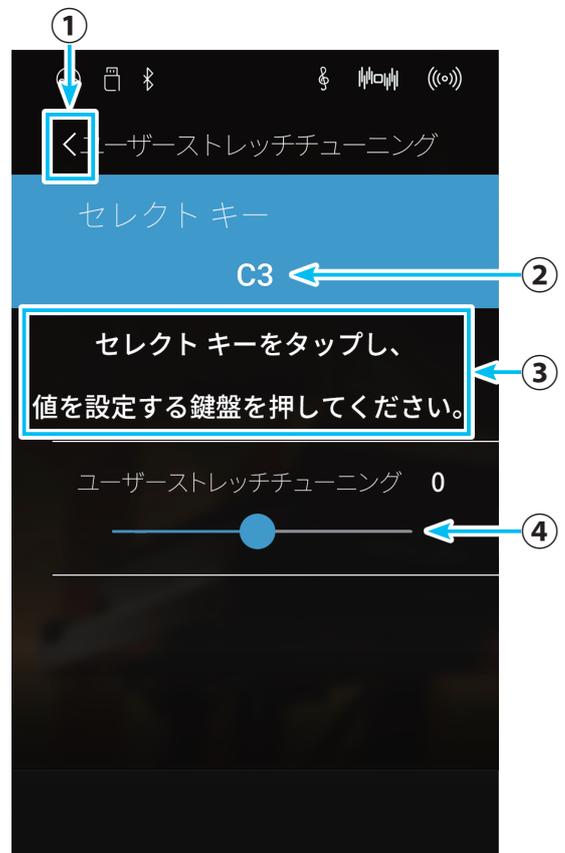
ユーザーチューニングを設定する

1. ストレッチチューニングの種類で「ユーザー」を選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザーチューニング画面が表示されます。



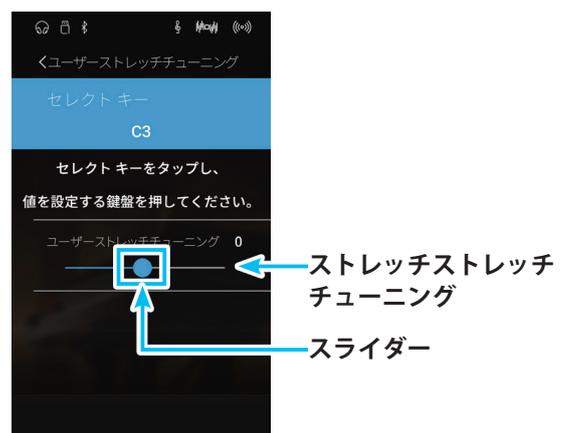
ユーザーチューニング画面

- ① 戻るボタン
コンサートチューナー詳細設定画面に戻ります。
 - ② 鍵盤表示
鍵盤を押すと、ユーザーチューニングを設定する鍵盤番号が表示されます。
 - ③ 案内表示
操作説明を表示します。
 - ④ ユーザーストレッチチューニング
ストレッチチューニングの値を設定します。
2. チューニングする鍵盤を押します。



3. ● (スライダー) を左右に動かして値を設定します。-50 ~ +50まで設定できます。
4. < (戻る) ボタンをタップします。ユーザーチューニング画面が閉じます。

※ ユーザーチューニングは全音色に効果があります。

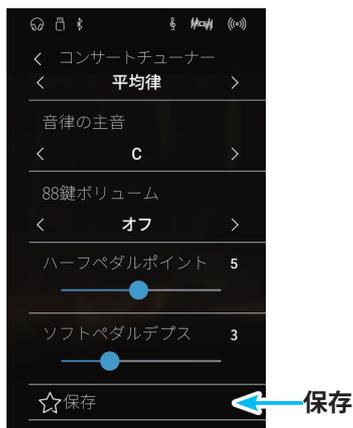


AURESを設定する

ストレッチチューニング/ユーザーチューニングの設定を音色に保存する

設定したチューニングの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したチューニングの値が反映されます。

ストレッチチューニング/ユーザーチューニングの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



● 音律の設定★

AURESではピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律にも設定することができます。

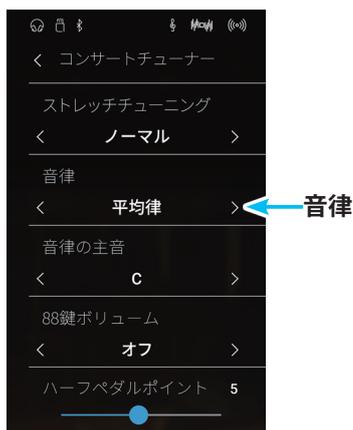
音律の種類

種類	音律の説明
平均律	現在のピアノの調律方法として最も一般的なもので、どのように転調や移調をしても和音の響きが変わらないという特長があります。
純正律(長調/短調)	主要な3度と5度のうなりをなくした調律法です。 主要3和音が美しく響きますが、それ以外の和音は濁るものがあります。 ※ 演奏する楽曲の調に合わせて主音を設定してお使いください。
ピタゴラス音律	ほとんどの5度のうなりをなくした調律法で、多くの3度がうなるため和音を演奏すると響きが濁りますが、旋律を演奏するとその個性が良く出るのが特長です。
中全音律	主要な長3度のうなりをなくすために少しだけ5度のうなりを許した調律法で、古い時代の鍵盤楽器で広く使用されました。
ヴェルクマイスター第Ⅲ法 キルンベルガー第Ⅲ法	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるにしたがって、旋律の個性が良く出るピタゴラス音律に近づく調律法です。古典音楽の作曲家の意図した“調性の性格”を反映することができます。
ユーザー音律	オリジナルの音律を設定できます。

音律を選択する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、音律の領域を左右にスワイプして、種類を選択します。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。
「ユーザー」を選択した場合は次項をご覧ください。

※ 音律の設定は全音色に効果があります。



ユーザー音律の設定

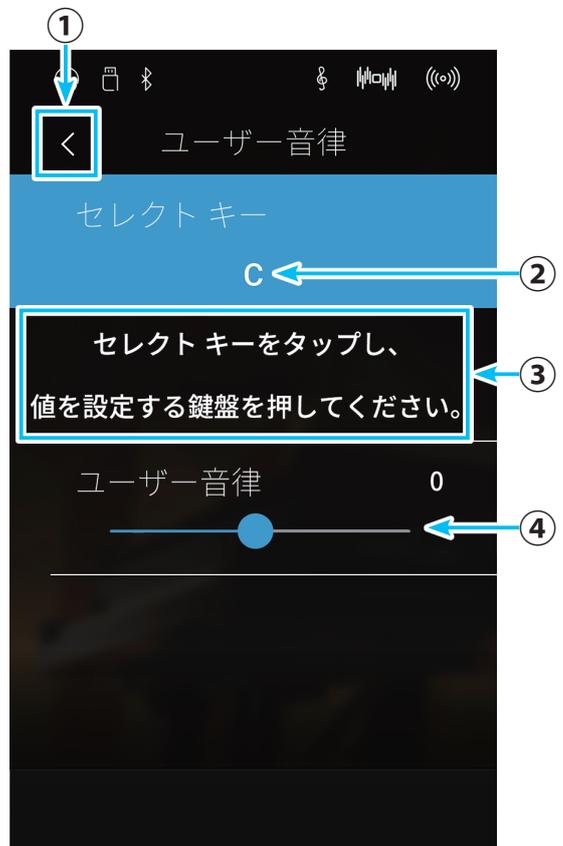
ユーザー音律では各音のセント値(100セント=半音)が設定できます。

1. 音律の種類で「ユーザー」を選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザー音律画面が表示されます。



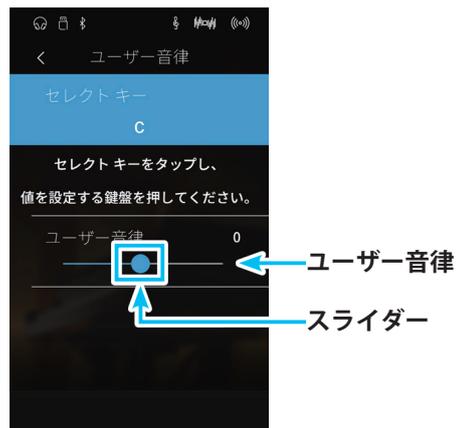
ユーザー音律画面

- ① 戻るボタン
コンサートチューナー詳細設定画面に戻ります。
 - ② 鍵盤表示
鍵盤を押すと、音律を設定する鍵盤番号が表示されます。
 - ③ 案内表示
操作説明を表示します。
 - ④ ユーザー音律
音律の値を設定します。
2. 設定する鍵盤を押します。



3. ● (スライダー)を左右に動かしてセント値を設定します。
-50～+50まで設定できます。
4. < (戻る) ボタンをタップします。
ユーザー音律画面が閉じます。

※ ユーザー音律は全音色に効果があります。



AURESを設定する

音律/ユーザー音律の設定を音色に保存する

設定した音律/ユーザー音律の値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した音律の設定が反映されます。

音律/ユーザー音律の設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



● 音律の主音の設定★

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。演奏する曲の調号に合わせます。

主音を選択する

1. コンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、音律の主音の左右にスワイプして、音律の主音を選択します。「C～B」の間で設定できます。平均律(フラット)を選択している場合は主音の設定しても変化はありません。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。

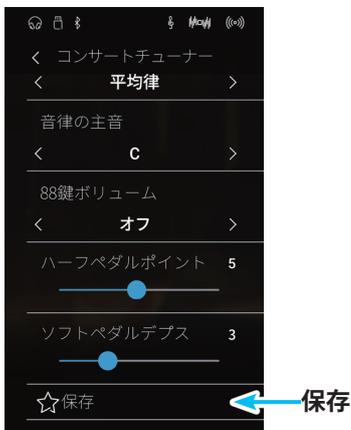
※ 音律の主音の設定は全音色に効果があります。



音律の主音の設定を音色に保存する

設定した音律の主音の値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した音律の主音の値が反映されます。

音律の主音の設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



● 88鍵ボリューム

ピアノでは、鍵盤によって音量が異なります。これを88鍵ボリュームと呼びます。AURESでは、4種類の88鍵ボリュームに加え、演奏する人の好みに88鍵それぞれの音量を調整できるユーザー88鍵ボリュームを搭載しています。

88鍵ボリュームの種類

種類	説明
オフ	通常の状態です。
ハイダンピング	上の音域に行くに従って、音量が次第に減少します。
ローダンピング	下の音域に行くに従って、音量が次第に減少します。
ハイ&ローダンピング	上と下の音域に行くに従って、音量が次第に減少します。
センターダンピング	中央の鍵盤の音量が次第に減少します。
ユーザー	88鍵それぞれの音量をお好みに調整できます。

88鍵ボリュームを選択する

1. コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、88鍵ボリュームの領域を左右にスワイプして、種類を選択します。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。
「ユーザー」を選択した場合は次項をご覧ください。

※ 88鍵ボリュームは全音色に効果があります。



88鍵ボリューム

ユーザー88鍵ボリュームを設定する

1. 88鍵ボリュームの種類で「ユーザー」を選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザー88鍵ボリューム設定画面が表示されます。



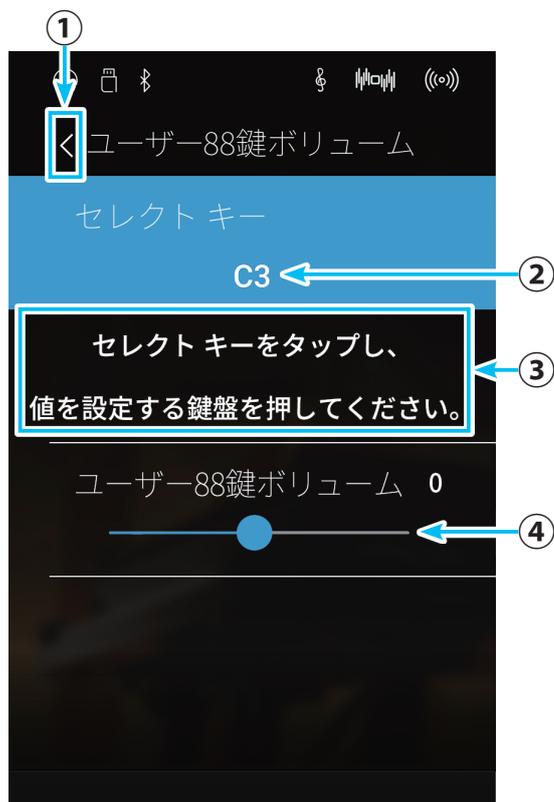
編集ボタン

AURESを設定する

ユーザー88鍵ボリューム設定画面

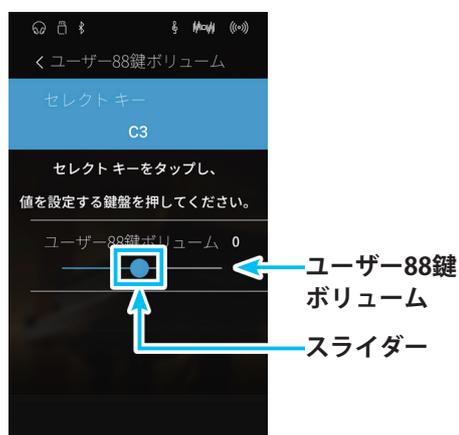
- ① 戻るボタン
コンサートチューナー詳細設定画面に戻ります。
- ② 鍵盤表示
選択された鍵盤番号を表示します。
- ③ 案内表示
操作方法などの説明を表示します。
- ④ ユーザー88鍵ボリューム
88鍵ボリュームを調節します。

2. 設定する鍵盤を押します。



3. ● (スライダー) を左右に動かしてユーザー88鍵ボリュームを設定します。
-50～+50まで設定できます。

4. < (戻る) ボタンをタップします。
ユーザー88鍵ボリューム設定画面が閉じます。



88鍵ボリューム/ユーザー88鍵ボリュームの設定を音色に保存する

設定した88鍵ボリューム/ユーザー88鍵ボリュームの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した88鍵ボリュームの設定が反映されます。

88鍵ボリューム/ユーザー88鍵ボリュームの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



● ハーフペダルポイント

ハーフペダルポイントでは、ダンパーペダルにおいてハーフペダルが掛かり始めるポイント（音が伸び始めるポイント）を調整することができます。

ハーフペダルポイントを設定する

1. コンサートチューナー（ピアニストメニュー）画面またはコンサートチューナー（サウンドメニュー）画面の詳細設定画面で、ハーフペダルポイントの●（スライダー）を左右に動かして、ハーフペダルポイントの値を設定します。値は1～10です。「1」がもっともハーフペダルスタートが早く、「10」がもっとも遅くなります。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は <（戻る）ボタンをタップします。

※ ハーフペダルポイントは全音色に効果があります。



スライダー

ハーフペダルポイントの設定を音色に保存する

設定したハーフペダルポイントの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したハーフペダルポイントの値が反映されます。
ハーフペダルポイントの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



保存

AURESを設定する

● ソフトペダルデプス

ソフトペダルデプスでは、ソフトペダルにおいてソフトペダルの効き具合を調整することができます。

ソフトペダルデプスを設定する

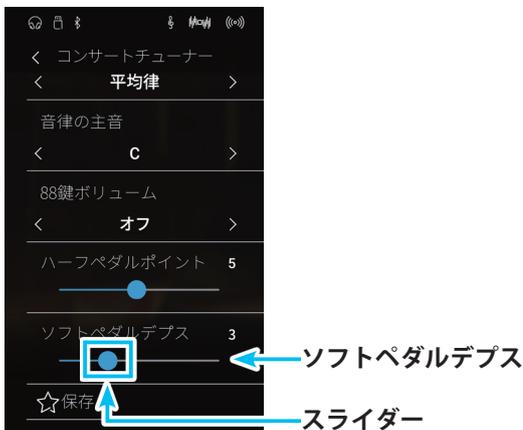
1. コンサートチューナー(ピアニストメニュー)画面またはコンサートチューナー(サウンドメニュー)画面の詳細設定画面で、ソフトペダルデプスの●(スライダー)を左右に動かして、ソフトペダルデプスの値を設定します。値は1～10です。「1」がもっともソフトペダルの効きが弱く、「10」がもっとも強くなります。
2. 設定を終了したら、音色に保存しない場合は < (戻る) ボタンをタップします。

※ ソフトペダルデプスは全音色に効果があります。

ソフトペダルデプスの設定を音色に保存する

設定したソフトペダルデプスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したソフトペダルデプスの値が反映されます。

ソフトペダルデプスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面を一番下までスワイプして、保存をタップします。



4. サウンドセッティング

AURESの音量や音質に関する設定を行います。

サウンドセッティングの種類と初期設定

種類	初期設定	説明
チューニング	440.0Hz	音のピッチ(音程)を調整します。
ダンパーホールド	OFF	ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離れた後も音を持続させます。
トーンコントロール	オフ	音質を調整します。
スピーカーボリューム	ノーマル	スピーカーの音量を選択します。
ラインインレベル	0	ライン入力レベルを調節します。
ウォールEQ	OFF	壁際に設置したときに適した音質に設定します。
スペシャルヘッドホンサウンド	ノーマル	ヘッドホンでの演奏時に自然な立体感や臨場感を再現します。
ヘッドホンタイプ	ノーマル	お手持ちのヘッドホンに最適な音質に設定します。
ヘッドホンボリューム	ノーマル	ヘッドホンの音量を設定します。

サウンドセッティング画面を表示する

1. ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面で、サウンドセッティングボタンをタップします。サウンドセッティング画面が表示されます。ピアニストメニュー画面から表示されたサウンドセッティングとサウンドメニュー画面から表示されたサウンドセッティング画面が一部異なります。



ピアニストメニュー画面

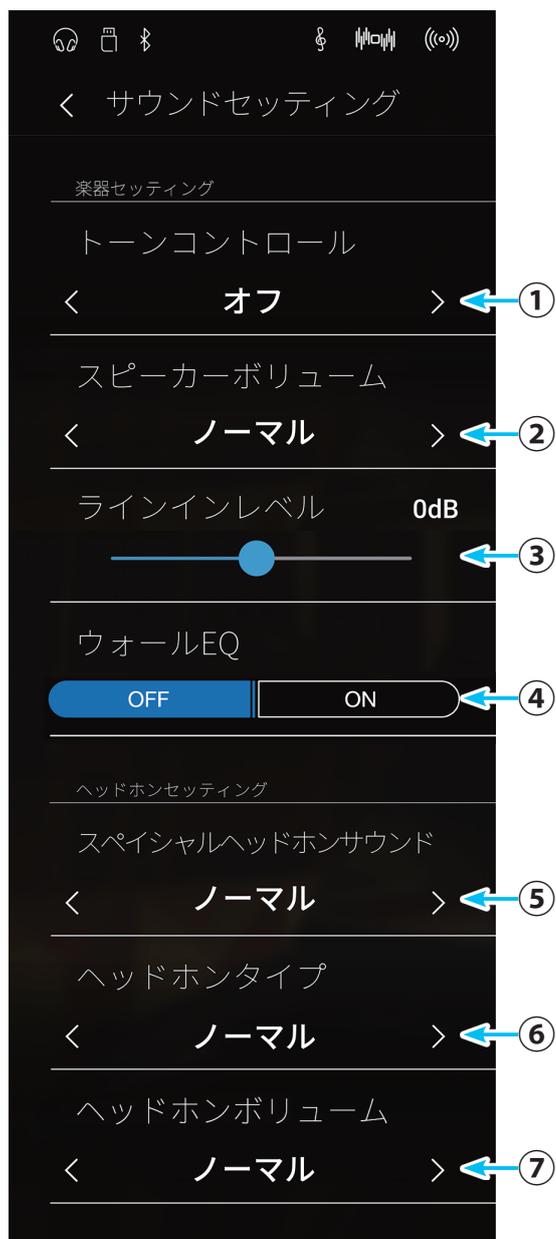


サウンドメニュー画面

AURESを設定する

サウンドセッティング(ピアニストメニュー)画面

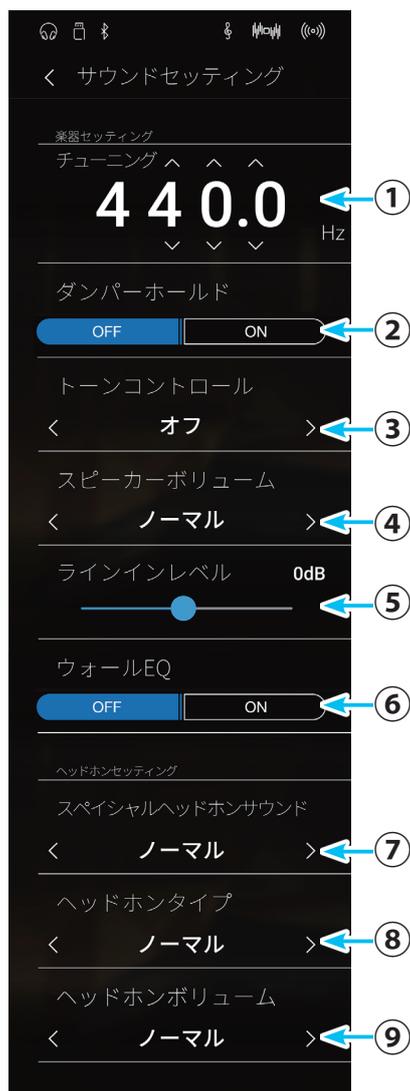
- ① トーンコントロール
音質を調整します。(P.139)
- ② スピーカーボリューム
スピーカーの音量を選択します。(P.142)
- ③ ラインインレベル
ライン入力レベルを調節します。(P.142)
- ④ ウォールEQ ON/OFFスイッチ
ウォールEQをON/OFFします。(P.143)
- ⑤ スペシャルヘッドホンサウンド
スペシャルヘッドホンサウンドを選択します。
(P.143)
- ⑥ ヘッドホンタイプ
ヘッドホンのタイプを選択します。(P.144)
- ⑦ ヘッドホンボリューム
ヘッドホンの音量を選択します。(P.144)



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を全て表示しています。実際には一度に全部のメニューを表示することはできません。上下にスワイプして表示します。

サウンドセッティング(サウンドメニュー)画面

- ① **チューニング**
音のピッチ(音程)を調整します。(P. 138)
- ② **ダンパーホールドON/OFFスイッチ**
ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離れた後も音を持続させる機能をON/OFFします。(P. 138)
- ③ **トーンコントロール**
音質を調整します。(P. 139)
- ④ **スピーカーボリューム**
スピーカーの音量を選択します。(P. 142)
- ⑤ **ラインインレベル**
ライン入力レベルを調節します。(P. 142)
- ⑥ **ウォールEQ ON/OFFスイッチ**
ウォールEQをON/OFFします。(P. 143)
- ⑦ **スペシャルヘッドホンサウンド**
スペシャルヘッドホンサウンドを選択します。(P. 143)
- ⑧ **ヘッドホンタイプ**
ヘッドホンのタイプを選択します。(P. 144)
- ⑨ **ヘッドホンボリューム**
ヘッドホンの音量を選択します。(P. 144)



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を全て表示しています。実際には一度に全部のメニューを表示することはできません。上下にスワイプして表示します。

2. サウンドセッティングを終了するときには、画面上部の < (戻る) ボタンをタップします。
ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面に戻ります。



AURESを設定する

■ サウンドセッティングの各項目を設定する

★の項目は、サウンドメニュー画面から表示されたサウンドセッティング画面にのみ表示されます。

● チューニング★

音のピッチ(音程)を調整することができます。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使います。

ピッチを設定する

1. サウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、チューニングの数字の各桁を上下方向にスワイプして数値で設定します。
ピッチ周波数を0.5きざみで切り替えることができます。
427.0~453.0(Hz)の間で設定します。

2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



数字の各桁を上下にスワイプします。

● ダンパーホールド★

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色(鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色)に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離れた後も音を持続させる機能です。

ダンパーホールドのON/OFFを設定する

1. サウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、ダンパーホールドON/OFFスイッチをタップして、ON/OFFを切り替えます。
「ON」にするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後も音が持続します。
「OFF」にするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後、音が減衰します。

2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



ダンパーホールド ON/OFFスイッチ

● トーンコントロール

トーンコントロールによって演奏や設置場所にに応じて、適した音質に設定することができます。トーンコントロールの種類は以下のようになっています。

トーンコントロールの種類

種類	効果
オフ	トーンコントロールはかかりません。
ブリリアンス	音色の明るさを調整します。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
バスブースト	低音を強調した音質です。
トレブルブースト	ブースト高音を強調した音質です。
ミッドカット	やわらかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。低域(20-100Hz)と中域1(250-4000Hz)、中域2、高域(5000-20000Hz)をそれぞれ調節することが可能です。中域1と中域2については周波数を選択することも可能です。

トーンコントロールの種類を選択する

1. サウンドセッティング(ピアニストメニュー)画面またはサウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、トーンコントロールの領域を左右にスワイプして種類を選択します。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。

※「ブリリアンス」と「ユーザー」はさらに設定値を変更することができます。次項「ブリリアンスを設定する」、「ユーザー設定をする」をご覧ください。



ブリリアンスを設定する

1. トーンコントロールの種類で、「ブリリアンス」を選択します。
編集ボタンをタップすると、ブリリアンス設定画面が表示されます。



AURESを設定する

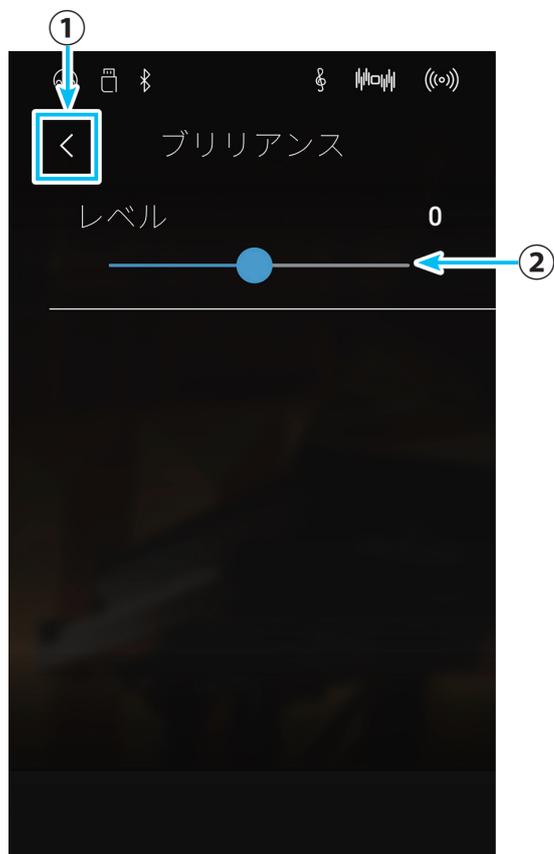
ブリリアンス設定画面

① 戻るボタン

サウンドセッティング画面に戻ります。

② レベル

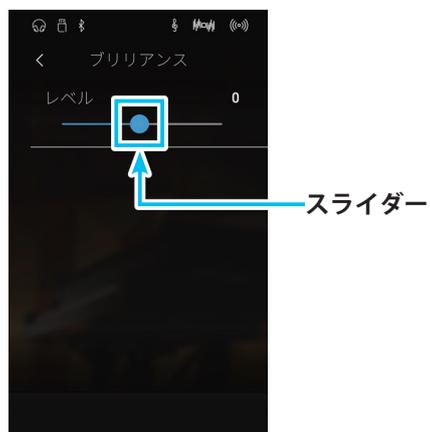
ブリリアンスのレベルを調節します。



2. ● (スライダー) を左右に動かしてブリリアンスを設定します。

値は、-10~+10の範囲で調節できます。+10がもっとも音色が明るく、-10がもっとも暗くなります。

3. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。サウンドセッティング画面に戻ります。



ユーザー設定をする

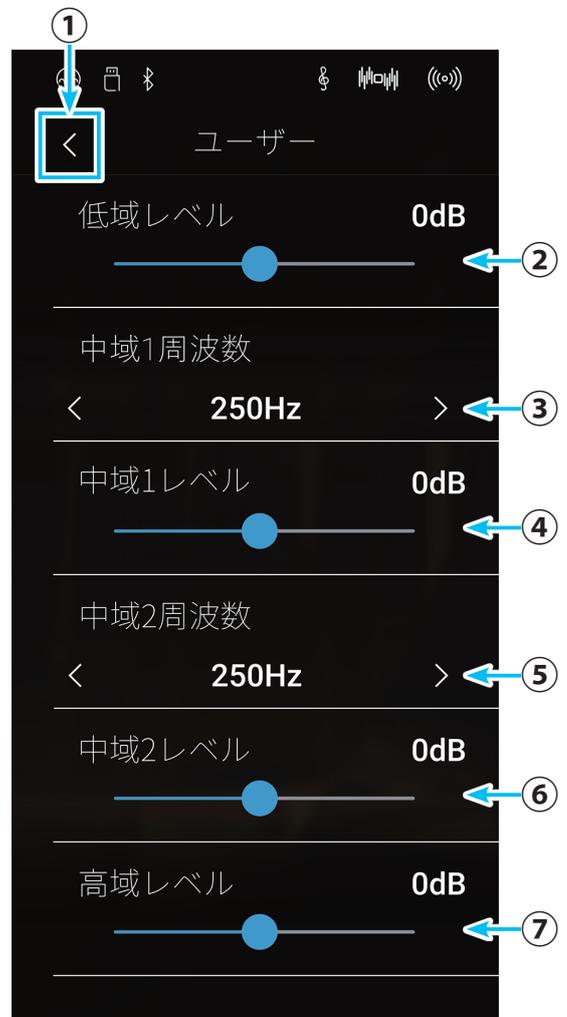
各音域ごとに音量、周波数を設定し、オリジナルの音質を作成することができます。

1. トーンコントロールの種類で、「ユーザー」を選択します。
編集ボタンをタップすると、トーンコントロールユーザー設定画面が表示されます。



トーンコントロールユーザー設定画面

- ① **戻るボタン**
サウンドセッティング画面に戻ります。
 - ② **低域レベル**
低域レベルを設定します。
 - ③ **中域1周波数**
中低域周波数を設定します。
 - ④ **中域1レベル**
中低域のレベルを設定します。
 - ⑤ **中域2周波数**
中高域周波数を設定します。
 - ⑥ **中域2レベル**
中高域のレベルを設定します。
 - ⑦ **高域レベル**
高域のレベルを設定します。
2. 周波数はそれぞれ領域を左右にスワイプして設定します。
 3. レベルはそれぞれの●(スライダー)を左右に動かして調節します。
 4. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。
サウンドセッティング画面に戻ります。



※ 上記の画面は説明のために、設定項目を全て表示しています。実際には一度に全部の項目を表示することはできません。上下にスワイプして表示します。

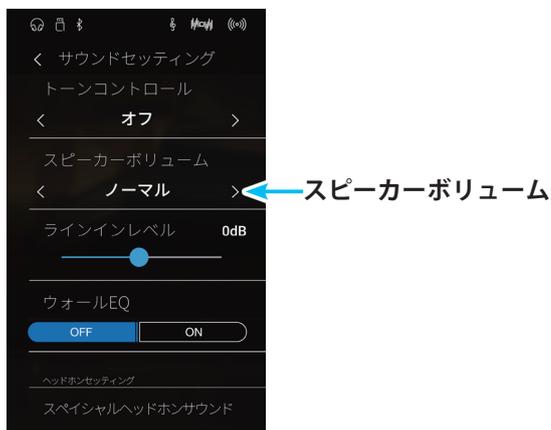
AURESを設定する

●スピーカーボリューム

初期設定は、「ノーマル」になっています。「小さい」に設定すると、スピーカーの最大音量が小さくなります。大きな音量が必要な場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

ボリュームを設定する

1. サウンドセッティング(ピアノストメニュー)画面またはサウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、スピーカーボリュームの領域を左右にスワイプして「ノーマル」または「小さい」を選択します。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



●ラインインレベル

[LINE IN]端子の入力レベルを調整します。

ラインインレベルを設定する

1. サウンドセッティング(ピアノストメニュー)画面またはサウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、ラインインレベルの●(スライダー)を左右に動かして、入力レベルを設定します。-10～10dBの範囲で設定します。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



● ウォールEQ

ウォールEQとは、壁際に設置したときに適した音質に設定する機能です。

ウォールEQを設定する

1. サウンドセッティング(ピアニストメニュー)画面またはサウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、ウォールEQ ON/OFFスイッチをタップして、ON/OFFを切り替えます。

「ON」： AURESを壁際に設置したときに最適な音質になります。

「OFF」： ステージなど、壁のない場所に設置したときに最適な音質になります。

2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



ウォールEQ ON/OFF
スイッチ

● スペシャルヘッドホンサウンド

イヤホンやヘッドホンでの演奏をより快適にするために、まるでアコースティックピアノから音が出ているような立体感/臨場感のあるサウンドを再現するのが「スペシャルヘッドホンサウンド」です。ヘッドホンやイヤホンを装着していても聴感上の違和感が少なく長時間でも疲れにくい演奏が可能になります。

スペシャルヘッドホンサウンドの種類

種類	説明
オフ	効果をかけない状態です。
フォワード	前方への定位を強調した立体感が得られます。
ノーマル	全方向バランスのとれた立体感が得られます。
ワイド	左右の広がりを強調した立体感が得られます。

スペシャルヘッドホンサウンドを設定する

1. サウンドセッティング(ピアニストメニュー)画面またはサウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、スペシャルヘッドホンサウンドの領域を左右にスワイプして種類を選択します。

2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



スペシャル
ヘッドホンサウンド

AURESを設定する

●ヘッドホンタイプ

世の中には色々なイヤホンやヘッドホンが存在しています。ヘッドホンには大きく分けて“オープンタイプ / セミオープンタイプ / クローズタイプ / インナーイヤータンタイプ / カナルタイプ”という5つのタイプがあります。AURESは、これらのタイプそれぞれの特徴に合わせた専用の設定を内蔵していますので、お手持ちのヘッドホンに最適な音で演奏することができます。

ヘッドホンタイプの種類

種類	説明
ノーマル	ヘッドホン専用の設定がされていない状態です。
オープン	オープン(開放)タイプのヘッドホンに適した設定です。
セミオープン	セミオープン(半開放)タイプのヘッドホンに適した設定です。
クローズ	クローズ(密閉)タイプのヘッドホンに適した設定です。
インナーイヤータン	インナーイヤータンタイプのヘッドホンに適した設定です。
カナル	カナルタイプのヘッドホンに適した設定です。

ヘッドホンタイプを設定する

1. サウンドセッティング(ピアニストメニュー)画面またはサウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、ヘッドホンタイプの領域を左右にスワイプして種類を選択します。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



←ヘッドホンタイプ

●ヘッドホンボリューム

初期設定は、「ノーマル」になっています。「大きい」に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

ボリュームを設定する

1. サウンドセッティング(ピアニストメニュー)画面またはサウンドセッティング(サウンドメニュー)画面で、ヘッドホンボリュームの領域を左右にスワイプして種類を選択します。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



←ヘッドホンボリューム

5. その他のセッティング

Bluetooth、USB、MIDI、カラー液晶タッチパネル(LCD)の設定などを行います。

■ その他のセッティングの種類と初期設定

Bluetoothの設定

種類	初期設定
Bluetooth MIDI	ON
Bluetoothオーディオ	ON
Bluetoothオーディオボリューム	0dB

USBの設定

種類	初期設定
リネームファイル	—
デリートファイル	—
USBフォーマット	—

MIDIの設定

種類	初期設定
MIDIチャンネル	1
プログラムナンバー送信	—
ローカルコントロール	ON
プログラムナンバー送信のON/OFF	ON
マルチティンバーモード	オフ
チャンネルミュート	プレイ

画面他の設定

種類	初期設定
LCDコントラスト	5
オートディスプレイオフ	OFF
オートパワーオフ	オフ
表示言語の設定	日本語
ファクトリーリセット	—
バージョン	— (※任意のバージョン)

■ セッティング画面を表示する

1. ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面で、セッティングボタンをタップします。セッティング画面が表示されます。

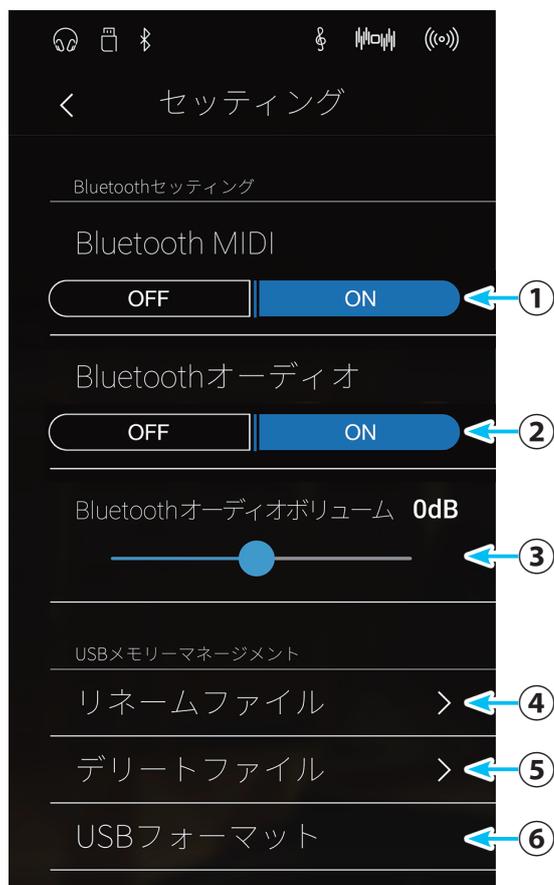


● セッティング画面

設定項目が多いので分類ごとに表示していますが、実際の画面では①から⑩まで上下にスワイプして続けて表示することができます。

BluetoothとUSBの設定

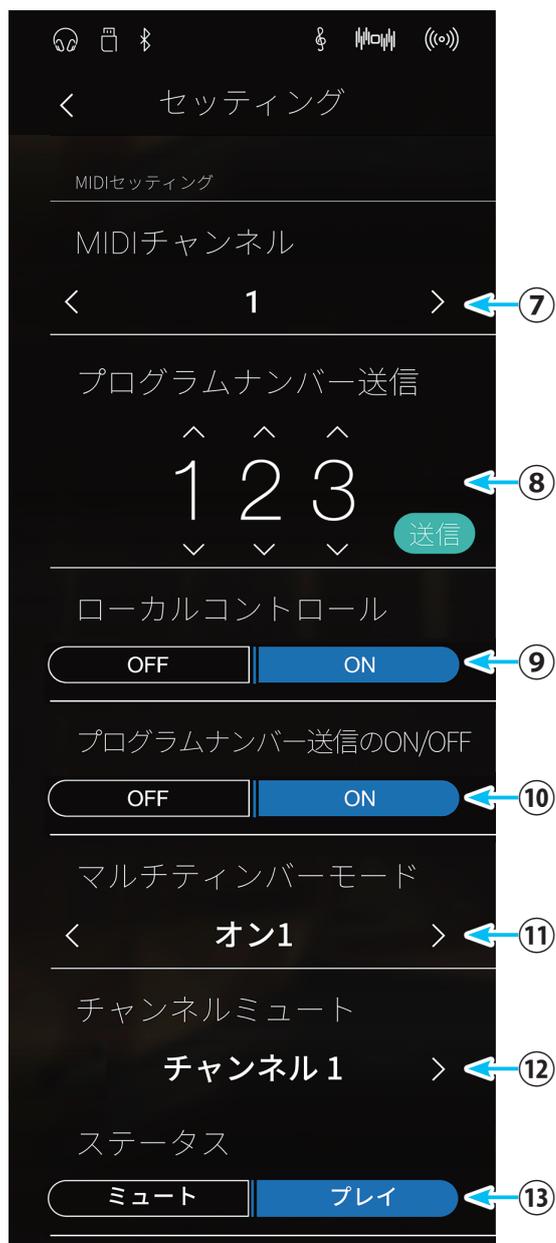
- ① **Bluetooth MIDI ON/OFFスイッチ**
Bluetooth MIDIをON/OFFします。(P. 149)
- ② **BluetoothオーディオON/OFFスイッチ**
BluetoothオーディオをON/OFFします。(P. 149)
- ③ **Bluetoothオーディオボリューム**
Bluetoothオーディオの音量を調節します。(P. 150)
- ④ **リネームファイル**
USBメモリー内のファイルの名前を変更します。(P. 151)
- ⑤ **デリートファイル**
USBメモリー内のファイルを削除します。(P. 152)
- ⑥ **USBフォーマット**
USBメモリーをフォーマットします。(P. 153)



※ 上記の画面は説明のために、設定項目を分割して表示しています。実際には①から⑩まで上下にスワイプして続けて表示することができます。

MIDIの設定

- ⑦ **MIDIチャンネル**
MIDIチャンネルを選択します。(P. 156)
- ⑧ **プログラムナンバー送信**
プログラムナンバーを設定、送信します。(P. 156)
- ⑨ **ローカルコントロールON/OFFスイッチ**
ローカルコントロールをON/OFFします。(P. 157)
- ⑩ **プログラムナンバー送信のON/OFFスイッチ**
プログラムチェンジナンバーの送信をON/OFFします。
(P. 157)
- ⑪ **マルチティンバーモード**
マルチティンバーモードを選択します。(P. 158)
※ Pianist画面の機能を選んで演奏しているときは機能しません。
- ⑫ **チャンネルミュート**
ミュートするチャンネルを選択します。(P. 158)
※ Pianist画面の機能を選んで演奏しているとき、およびマルチティンバーモードがオフのときは機能しません。
- ⑬ **ミュートスイッチ**
選択したチャンネルミュートをミュート/プレイします。
(P. 158)

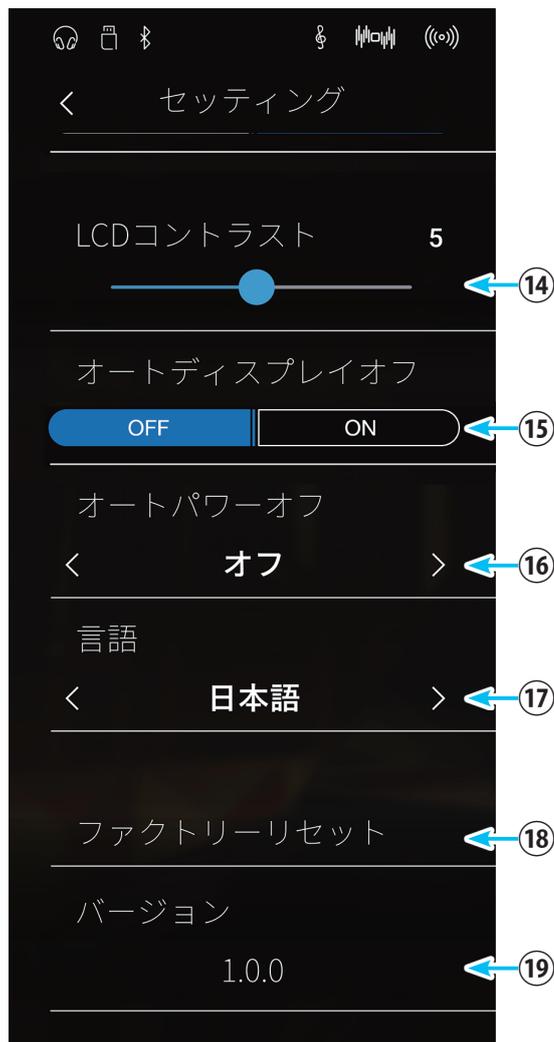


※ 上記の画面は説明のために、設定項目を分割して表示しています。実際には①から⑩まで上下にスワイプして続けて表示することができます。

AURESを設定する

カラー液晶タッチパネル(LCD)などの設定

- ⑭ **LCDコントラスト**
スライダーで液晶画面のコントラストを調整します。
(P. 159)
- ⑮ **オートディスプレイオフON/OFFスイッチ**
画面を自動的に非表示にする機能をON/OFFします。
(P. 159)
- ⑯ **オートパワーオフ**
自動的に電源をOFFにする機能のタイプを選択します。
(P. 160)
- ⑰ **言語**
画面表示の言語を選択します。(P. 160)
- ⑱ **ファクトリーリセット**
AURESを工場出荷時の状態に戻します。これまでに設定された内容はすべて消去されます。(P. 161)
- ⑲ **バージョン**
バージョン情報が表示されます。(P. 161)



※ 上記の画面は説明のために、設定項目を分割して表示しています。実際には①から⑳まで上下にスワイプして続けて表示することができます。

- 2. 設定を終了するときには、< (戻る) ボタンをタップします。
それぞれの元の画面、ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面に戻ります。



Bluetoothを設定する

本機はスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと無線で繋がります。弊社提供のアプリケーションをスマートデバイスにインストールすると、本機をアプリケーションから操作したり、MIDIデータの送受信をすることができます。

アプリケーションのご使用前に、下記の河合ホームページより各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。

<http://www.kawai.jp/>

本機のBluetooth MIDIまたはオーディオをオンにした状態で、本機の周辺でスマートデバイスのアプリケーションのBluetooth機能をオンにすると、接続候補としてBluetooth Audioの場合は「ATX3,AR Audio」、Bluetooth MIDIの場合は「ATX3,AR」と表示されますので、タップして接続してください。

スマートデバイスの周辺にAURESが複数ある場合は、接続するAURESのみのBluetooth MIDIまたはBluetoothオーディオをONにしてください。

Bluetoothを使用しているときは、本機およびスマートデバイスの近くで医療機器を使用しないでください。また、心臓ペースメーカーの装着部位からは22cm程度以上離して使用してください。

Bluetooth MIDIをON/OFFする

※ スマートデバイスと接続している状態では、本機のUSB MIDIおよびMIDIは使用できません。

1. セッティング画面のBluetooth MIDI ON/OFFスイッチをタップして、ON/OFFを切り替えます。
2. 設定を終了したら、 (戻る) ボタンをタップします。



Bluetooth MIDI ON/OFFスイッチ

BluetoothオーディオをON/OFFする

1. セッティング画面のBluetoothオーディオON/OFFスイッチをタップして、ON/OFFを切り替えます。
2. 設定を終了したら、 (戻る) ボタンをタップします。

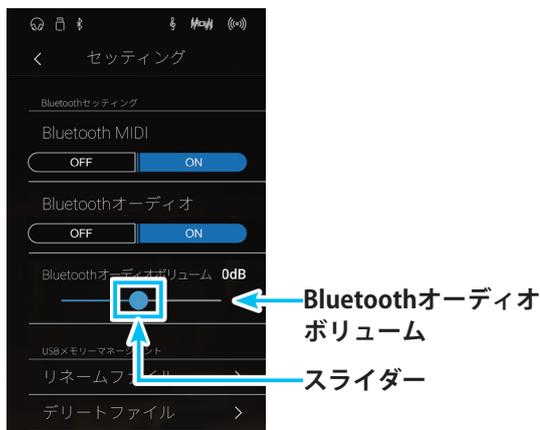


Bluetoothオーディオ ON/OFFスイッチ

AURESを設定する

● Bluetoothオーディオの音量を調節する

1. セッティング画面のBluetoothオーディオボリュームの●(スライダー)を左右に動かして、音量を調節します。スマートデバイスで本機の演奏を再生したときの音量が大きすぎたり、小さすぎたりするときに調節します。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



■ USBを設定する

AURESにはUSB [TO DEVICE] 端子があります。USB [TO DEVICE] 端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご覧ください。

使用できるUSB機器

USB対応の記憶装置(フラッシュメモリー)動作確認済みUSB機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど)は、接続しても動作は保証できません。

USB機器の接続

USB [TO DEVICE] 端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

本機はUSB2.0に準拠しています。USB1.1対応の機器も使用できますが、転送スピードはその機器の転送スピードに制限されます。この楽器にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB [TO DEVICE] 端子にUSB記憶装置を接続したとき(またはUSB記憶装置にメディアを挿入したとき)に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください(P.153)。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。

必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットしてください。

他の機器でを使用したUSBメモリーには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

USB記憶装置の抜き差し

USB記憶装置を抜くときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

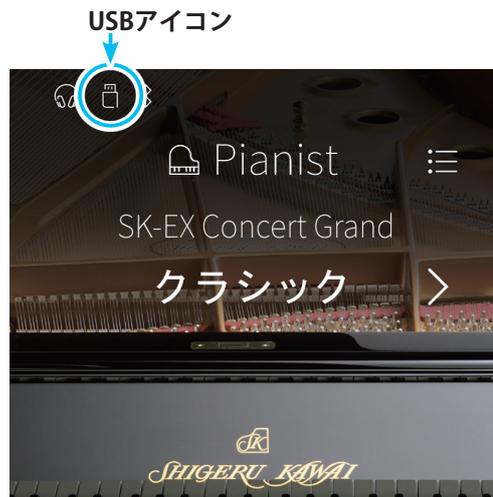
また、抜き差しするときは、静電気を体から放電してから行ってください。

※ AURESを起動中にUSBメモリーが差し込まれると、USBメモリーによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

※ USBメモリーが差し込まれた状態で、本機の電源スイッチをONにして起動すると、USBメモリーによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

USB記憶装置の接続状態を確認する

USB記憶装置が本機に差し込まれている場合、ホーム画面の画面上部に  (USB) アイコンが表示されます。



● リネームファイル

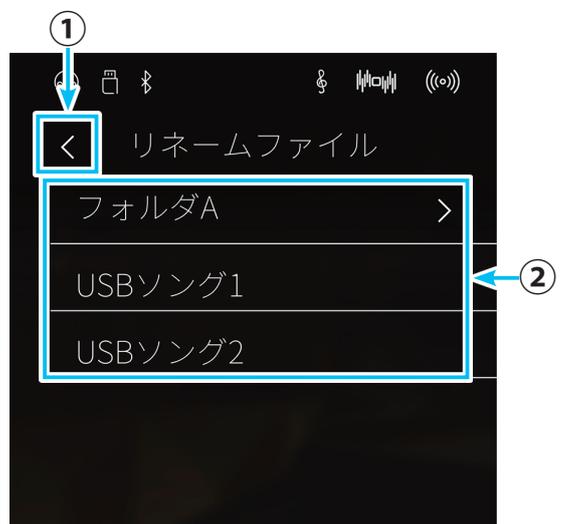
AURESに接続したUSBメモリー内のファイル名を変更します。

ファイル名を変更(リネーム)する

1. セッティング画面でリネームファイルボタンをタップします。
ファイル選択画面が表示されます。

ファイル選択画面

- ① 戻るボタン
セッティング画面に戻ります。
- ② ファイルリスト
USBメモリー内のファイル名が表示されます。



AURESを設定する

- 名前を変更するファイル名をタップします。
リネーム画面が表示されます。
- 名前を入力し、リターンキーをタップします。
ファイル名が変更され、セッティング画面に戻ります。
※すでに同じファイル名のファイルが存在する場合にはリネームすることはできません。



● デリートファイル

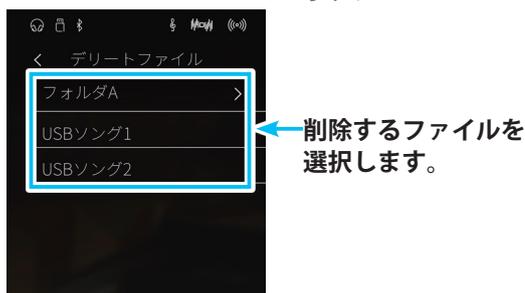
AURESに接続したUSBメモリー内の曲を削除します。

ファイルを削除(デリート)する

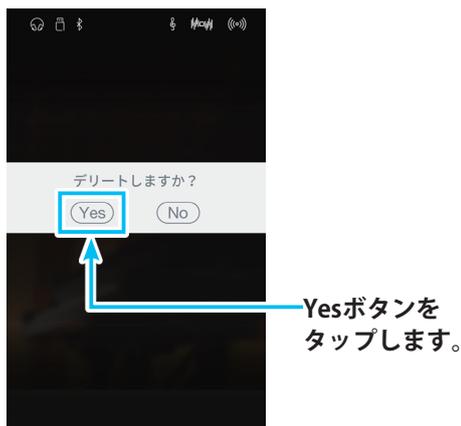
- セッティング画面でデリートファイルボタンをタップします。



ファイル選択画面が表示されます。



- 削除するファイルをタップします。
確認画面が表示されます。
- Yesボタンをタップします。
ファイルが削除され、セッティング画面に戻ります。



● USBフォーマット

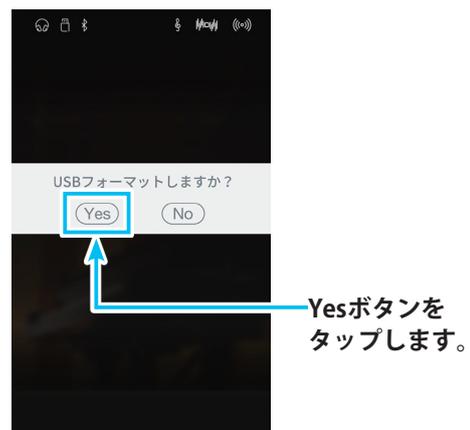
AURESは接続したUSBメモリーをフォーマットすることができます。フォーマットを実行するとUSBメモリー内のデータがすべて消去されます。他の機器でを使用したUSBメモリーには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

フォーマットを実行する

1. セッティング画面でUSBフォーマットボタンをタップします。
確認画面が表示されます。



2. Yesボタンをタップします。
フォーマットが実行されます。
終了するとメッセージが表示され、< (戻る) ボタンをタップするとセッティング画面に戻ります。



AURESを設定する

■ MIDIを設定する

MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

● MIDIについて

MIDI端子の種類

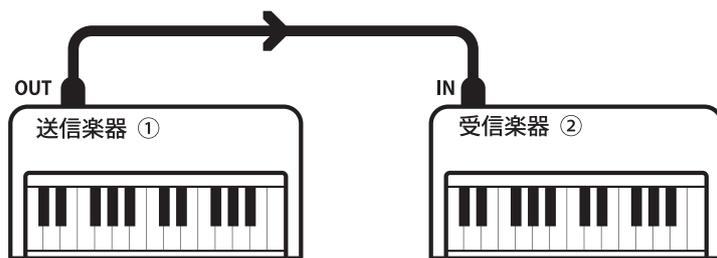
MIDI端子には、IN、OUTの2つの種類があります。いずれもMIDI専用ケーブルで接続します。

種類	機能
IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

MIDIチャンネルについて

MIDIにはチャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常MIDI機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。



例えば2台の楽器を次のように接続して演奏するとします。

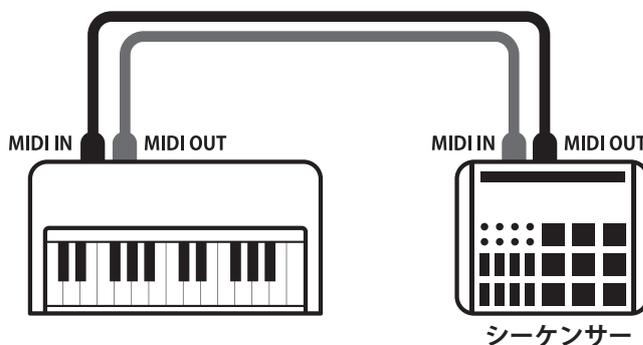
送信楽器①は送信チャンネルと共に鍵盤情報などを受信楽器②に送ります。

受信楽器②には①からの情報が送られてきます。基本的には受信楽器②の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

チャンネル番号は、送信 / 受信とも1～16までの番号を使用することができます。

MIDIの使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、AURESの演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、AURESの設定をマルチティンバーオン(P.158参照)にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハーブシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。



AURESのMIDI機能

AURESのMIDI機能は以下のとおりです。

鍵盤情報の送信・受信

AURESを弾いてMIDIで接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

送信・受信チャンネルの設定

送信受信チャンネルを1～16の範囲で設定することができます。

プログラム(音色)ナンバーの送信

AURESを弾いてMIDIで接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

ペダル情報の送信・受信

ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのON/OFF情報の送信・受信ができます。

ボリューム情報の受信

シンセサイザー等を弾いて、AURESの音を出しているとき、シンセサイザーでAURESの音量をコントロールすることができます。

マルチティンバーの設定

AURESが受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

エクスクルーシブデータの送信・受信

フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

レコーダーの再生情報の送信

レコーダーに録音した演奏をMIDIで接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

AURESのMIDI機能についての詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」(P.180)をご覧ください。

著作権について

市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFファイルなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること以外は著作権法上、権利者に無断で使用できませんので十分注意をお願いします。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

AURESを設定する

● MIDI送受信チャンネル

接続されたMIDI楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておく必要があります。チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの2種類がありますが、AURESでは送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

チャンネルを設定する

1. セッティング画面で、MIDIチャンネルの領域内を左右にスワイプして送受信チャンネルを選択します。チャンネルの値を「1～16」の間で設定できます。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



オムニオン/オムニオフについて

AURESは電源オン時には、1～16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信できるようになります。オムニオフで1chに設定したい場合は、一度チャンネルを2に設定してから1に戻してください。

マルチティンバーモードがオンのとき

◎ スプリット演奏時

低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。
例えばここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

◎ デュアル演奏時

第2音色は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。
(ただし、チャンネルを16に設定した場合は、1チャンネルで送信します。)

● プログラムナンバー送信

AURESでは1～128までのプログラムナンバーを送信することができます。

プログラムナンバーを選択し送信する

1. セッティング画面で、プログラムナンバー送信の数字の各桁を上下方向にスワイプして、送信するプログラムナンバーを数値で設定します。プログラムナンバーは「1～128」の間で設定できます。
2. プログラムナンバー送信の送信ボタンをタップします。プログラムナンバーの送信が実行されます。
3. 終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



● ローカルコントロール

本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。

ローカルコントロールがオンの時は、通常どおり鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報を送信するだけでMIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。

ローカルコントロールのON/OFFを設定する

1. セッティング画面で、ローカルコントロールON/OFFスイッチをタップして、ONまたはOFFにします。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



ローカルコントロール ON/OFFスイッチ

● プログラムナンバー送信のON / OFF

AURESでは音色を切り替えることにより、各音色に対応する送受信プログラムナンバーを送信します。マルチティンバーモードをオンに設定したときは、マルチティンバーオン2の時のプログラムナンバーを送信します。各音色に対応する送受信プログラムナンバーについては付録の一覧(P.168)をご覧ください。

プログラムナンバー送信のON/OFFを設定する

1. セッティング画面で、プログラムナンバー送信のON/OFFスイッチをタップして、ONまたはOFFにします。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



プログラムナンバー送信のON/OFFスイッチ

デュアル・スプリットモードのときについて

デュアル・スプリットモード時には、デュアル・スプリット各モードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。

マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

AURESを設定する

● マルチティンバーモード

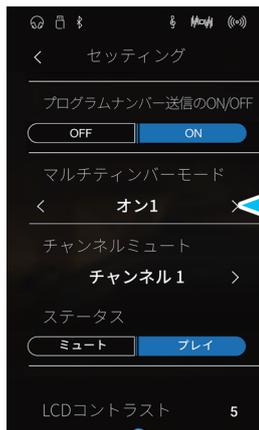
通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル(1~16のどれか1つ)で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。(受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧(P. 168)をご覧ください。)

この機能により、外部にシーケンサーを使って、1台で複数の音色(マルチティンバー)によるアンサンブル演奏が可能です。

※ Pianist画面の機能を選んで演奏しているときは機能しません。

マルチティンバーモードのオン1・オン2・オフを設定する

1. セッティング画面で、マルチティンバーモードの領域を左右にスワイプして選択します。「オン1」「オン2」「オフ」が順次切り替わります。使用するマルチティンバーモードを選択します。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



オン1・オフのとき

付録の「6. 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」(P. 168)の左側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

オン2のとき

付録の「6. 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」(P. 168)の右側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

また、受信チャンネルごとに発音のオン/オフを設定することができます。(●チャンネルミュート 次項参照)
マルチティンバーモードがオンのとき、スプリット演奏中でも各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで鳴ります。

● チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、有効な設定です。各チャンネルのプレイ・ミュートが設定できます。

※ Pianist画面の機能を選んで演奏しているときは機能しません。

チャンネルミュートの設定に入る

1. セッティング画面で、チャンネルミュートの領域を左右にスワイプしてミュートするチャンネルを選択します。
2. ミュートスイッチをタップして、ミュート/プレイを切り替えます。
3. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。

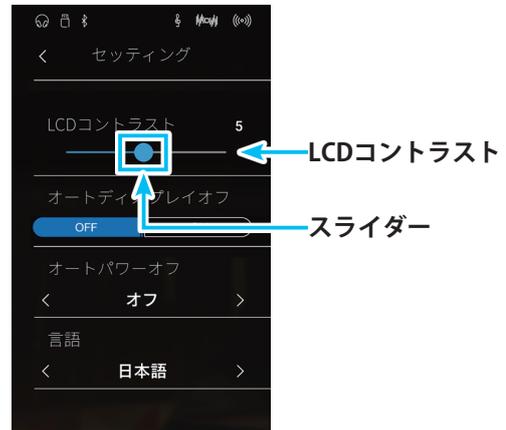


■ カラー液晶タッチパネル(LCD)などを設定する

AURESのカラー液晶タッチパネル(LCD)の非表示、パネル操作、コントラスト調整を行います。

● カラー液晶タッチパネル(LCD)のコントラストを調整する

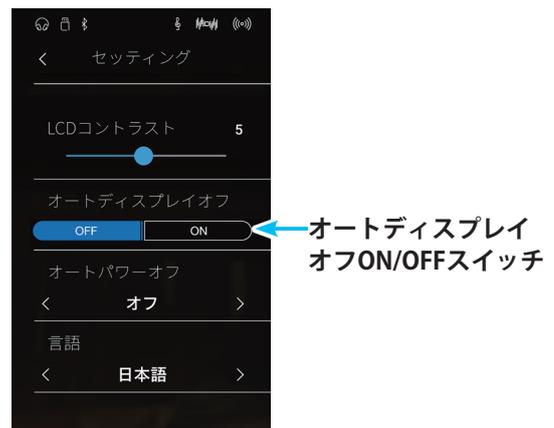
1. セッティング画面のLCDコントラストの●(スライダー)を左右に動かして、コントラストを調整します。
値が小さいほうが暗く、大きいほうが明るくなります。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



● カラー液晶タッチパネル(LCD)の表示をオフにする

1. カラー液晶タッチパネル(LCD)を自動的に非表示にします。
ディスプレイセッティング画面のオートディスプレイオフ ON/OFFスイッチをタップして切り替えます。

OFFにすると画面が徐々に暗くなります。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



オフにしたカラー液晶タッチパネル(LCD)の表示をオンにする

オフにした画面の任意の場所をタップします。

AURESを設定する

● オートパワーオフ

何も動作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行います。

オートパワーオフの設定内容

種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期値はオフに設定されています。
15min	15分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60min	60分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120min	120分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

オートパワーオフを設定する

1. セッティング画面で、オートパワーオフの領域を左右にスワイプして種類を選択します。「オフ」、「15min」、「60min」、「120min」の順に切り替わります。目的の種類を選択します。
2. 設定を終了したら、 (戻る) ボタンをタップします。



● 表示言語を設定する

1. 画面に表示される言語を設定します。
セッティング画面で、言語の領域を左右にスワイプして「日本語」か「English」を選択します。
2. 設定を終了したら、 (戻る) ボタンをタップします。

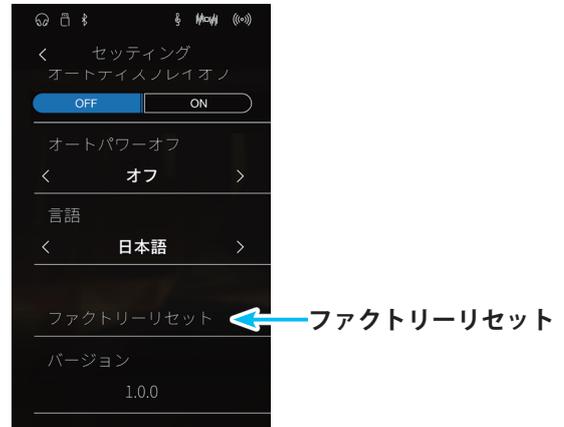


● ファクトリーリセット

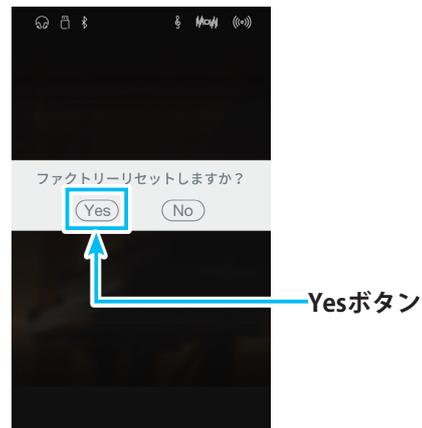
ファクトリーリセットを行うと設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

ファクトリーリセットを実行する

1. セッティング画面で、ファクトリーリセットをタップします。
確認画面が表示されます。

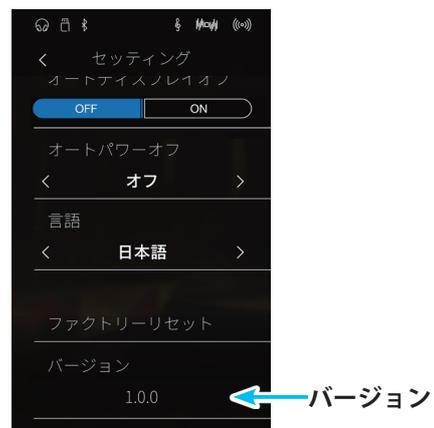


2. Yesボタンをタップします。
設定が初期化されます。



● バージョン

バージョン情報が表示されます。



1. 困ったときは？

電源が入らない

電源コードが正しく接続されていますか？

コンセント側と本体側の両方をご確認ください。
接続されていても、抜けかかっていることがあります。
一度抜いて接続しなおしてみてください。(P. 12参照)

電源が突然切れた。いつの間にか切れていた。

オートパワーオフを設定されていませんか？
(P. 160参照)

電子音が出ない

音量が0になっていませんか？ (P. 13参照)

ローカルコントロールがオフになっていませんか？ (P. 157参照)

電子音のピアノの音がおかしい、異音やノイズがする

グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことにより、弱い音から強い音まで実に多彩な音色変化を見せます。そして、その複雑な響きの中には、キーンという金属的な音の成分やノイズ系の音も含まれるため、ある一部の倍音等にだけ注目して聴くと、特定の音が大きく感じられたり、音程がずれたように聴こえること、あるいは隣同士の鍵盤で音色が不連続に感じられることもあります。これらは異常ではなく、総合的にコンサートグランドピアノの響きを忠実に再現したカワイのこだわりでもあります。しかし、本機ではお客様がお好みに合わせて、ピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することも可能ですので、次の項目をご覧ください。

ノイズやキーンという金属的な音がする

トーンコントロール(P. 139参照) キーアクションノイズ(P. 122参照)
ダンパーノイズ(P. 118参照)

ある音だけ音量が大きい

88鍵ボリューム(P. 131参照)

ある音だけピッチがずれたように聴こえる

ユーザーチューニング(P. 127参照)

音がこもった感じ、キンキンする

大屋根の開閉(P. 124参照) トーンコントロール(P. 139参照)
ボイスイング(P. 116参照) タッチカーブ(P. 114参照)

ペダルを踏むとノイズがする

鍵盤弾いても弾かなくても、ダンパーペダルを踏むとダンパーが開放されたときに生ずる弦の共鳴音(ノイズ)がしますが、これは異常ではありません。(P. 118参照)

鍵盤を離す時にノイズがする

キーアクションノイズ(P. 122参照)
キーオフエフェクト(P. 121参照)

特定の演奏、特定の音域で音が歪む

ボリュームを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。

電子音の特定のピアノ音色で音程や音質がおかしい

内蔵のピアノ音色は、ピアノ本来の音を可能な限り忠実に再現しています。ピアノ音は複雑な響きを持っているため、聴く位置や環境によって音の感じ方が変わります。また単音で強打した場合と曲の流れの中で弾いた場合でも音の感じ方は変わります。そのため音域によっては倍音が強く聴こえ、音程や音質が異質に感じられる場合があります。これは異常ではありません。
音程や音質が気になる場合は次の項目を調整してみてください。

トーンコントロール(P. 139参照)
ストレッチチューニング(P. 126参照)
88鍵ボリューム(P. 131参照)

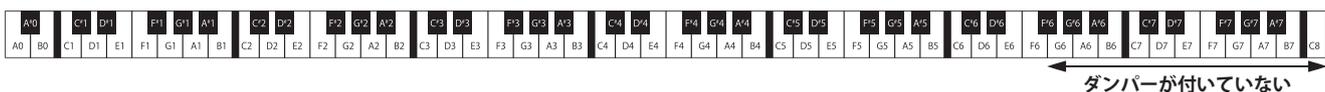
鍵盤を弾くとカタカタ音がする

鍵盤を弾くとカタカタと打鍵音がしますが、異常ではありません。

電子音のときペダルが効かない

高音域で、ダンパーが効かない

ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤(下図)にはダンパーという止音装置が付いておりません。AURESではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。



曲の再生

レッスン曲がスタートしない	曲を選んだあと、[PLAY / STOP] ボタンを押してください。(P. 53参照)
曲(MP3,WAVE)を再生しても音が出ない	USBレコーダーのボリュームが0になっていませんか?(P. 95参照)
USBメモリーに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。(P. 86参照) お使いのUSBメモリーの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリーをお試しください。(P. 150参照)
USBメモリーに保存されているSMFファイルが変な音で再生される	AURESはGM規格には対応しておりません。一部のSMF(スタンダードMIDIファイル)は、GM機器と異なる音色で再生されることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。
MP3 / WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる(歪んでいる)	録音レベルの設定を調節してください。(P. 95参照)

USBメモリー

USBメモリーが認識されない、または動作しない	動作確認されているUSBメモリーをご使用ください。(弊社ホームページから使用できるUSB装置を確認できます。)
USBメモリーを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリーを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

Bluetooth

接続できない	本機のBluetooth機能がオフになっていませんか?スマートデバイスのBluetooth設定ではなく、アプリケーション内の設定から接続してください。
接続したスマートデバイスが繋がらない	接続してもすぐに切れてしまう場合は、スマートデバイス側のBluetoothスイッチを一度オフにして再度オンにすると、接続される場合があります。
内蔵曲の演奏データが送信されない	内蔵曲の演奏データはBluetooth MIDIから出力されません。
ペアリングできない	本製品は常にBluetooth®接続がスタンバイの状態になっているため、一度接続したお手持ちの機器側の自動再接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に再接続される場合があります。 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。

2. デモ曲一覧

音色名	曲名	作曲者名
PIANO1		
SK-EX コンサートグランド	スケルツォ第2番	ショパン
EX コンサートグランド	ラ・カンパネラ	リスト
SK-5 グランドピアノ	無言歌第18番「二重唱」	メンデルスゾーン
ジャズ グランド	オリジナル	カワイ
メロー グランド	ソナタ第30番	ベートーベン
メロー グランド2	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
スタンダード グランド	子犬のワルツ	ショパン
PIANO2		
ポップ グランド	カワイオリジナル	カワイ
ポップ ピアノ	カワイオリジナル	カワイ
スタジオ グランド	カワイオリジナル	カワイ
アップライト ピアノ	ノクターン第20番「遺作」	ショパン
モダン ピアノ	カワイオリジナル	カワイ
ELECTRIC PIANO		
クラシック エレクトリック ピアノ	オリジナル	カワイ
モダン エレクトリック ピアノ	オリジナル	カワイ
モダン エレクトリック ピアノ2	オリジナル	カワイ
ORGAN		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ブルースオルガン	オリジナル	カワイ
ドローパーオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲「目覚めよ、と呼ぶ声あり」	バッハ
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
フルアンサンブル	オリジナル	カワイ
HARPSI & MALLETS		
ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
オクターブハープシコード	プレリュード 変イ長調	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
STRINGS		
スロースtringス	オリジナル	カワイ
シンセStringス	オリジナル	カワイ
Stringアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
VOCAL & PAD		
クワイア	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
クワイア2	オリジナル	カワイ
ジャズボーカル	オリジナル	カワイ
ファンタジー	オリジナル	カワイ
ファンタジー2	オリジナル	カワイ
BASS & GUITAR		
ウッドベース	オリジナル	カワイ
エレクトリックベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
ウッドベース & シンバル	オリジナル	カワイ
バラードギター	オリジナル	カワイ
ピックナイロンギター	オリジナル	カワイ

3. ピアノミュージック/レッスン曲集一覧

■ ピアノミュージック

曲名	作曲者名
1 タンブラン	ラモー
2 調子のよいかじ屋	ヘンデル
3 メヌエット ト長調(BWV.Anh.114)	バッハ
4 メヌエット ト短調(BWV.Anh.115)	
5 メヌエット ト長調(BWV.Anh.116)	
6 かつこう	ダカン
7 ガヴォット	ゴセック
8 メヌエット	ポッケリーニ
9 主題と変奏「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第1楽章	モーツァルト
10 トルコ行進曲「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第3楽章	
11 メヌエット	
12 ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章	ベートーベン
13 ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章	
14 エリーゼのために	
15 ロンド・ファヴォリ	フンメル
16 即興曲 作品90の4	シューベルト
17 楽興の時 作品94の3	
18 間奏曲	
19 即興曲 作品142の3	
20 歌の翼に	メンデルスゾーン
21 春の歌	
22 ロンド・カプリッチョーソ	
23 別れの曲	ショパン
24 雨だれの前奏曲	
25 子犬のワルツ	
26 ノクターン第2番	
27 幻想即興曲	
28 軍隊ポロネーズ	
29 英雄ポロネーズ	

■ レッスン曲集

1. バイエルピアノ教則本 全曲 (ただし予備練習、付録を除く) (カワイ出版)
2. ブルクミュラー25の練習曲 全曲 (カワイ出版)
3. チェルニー100番練習曲 全曲 (カワイ出版)
4. チェルニー30番練習曲 全曲 (カワイ出版)
5. ソナチネ・アルバム1 全曲 (カワイ出版)
6. バッハ・インベンション 15曲 (カワイ出版: バッハ・インベンションとシンフォニア)
7. ショパン・ワルツ集 全曲 (全音楽譜出版社)
8. ショパン・エチュード集 作品10 (全音楽譜出版社)

※ 指のトレーニングとして「ハノン」(第一部20曲)も内蔵しています。

4. コンサートマジック曲目一覧

曲名	作曲者名	曲名	作曲者名
テレビアニメ/ジブリ/ディズニー			
1 アンパンマンのマーチ	三木たかし	45 アニーローリー	スコットランド民謡
2 おどるポンポコリン	織田哲郎	46 ロンドン橋	イギリス民謡
3 夢をかなえてドラえもん	黒須克彦	47 こぎつね	ドイツ民謡
4 勇気100%	馬飼野康二	48 山の音楽家	ドイツ民謡
5 きかんしゃトーマスのテーマ2	E.ウェルチ	49 ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
6 サザエさん	筒美京平	50 きらきら星	フランス民謡
7 さんぽ	久石譲	51 フニクリフニクラ	デンツァ
8 となりのトトロ	久石譲	52 サンタルチア	ナポリ民謡
9 崖の上のポニョ	久石譲	53 こいぬのマーチ	外国曲
10 海に見える街	久石譲	クラシック	
11 いつも何度でも	木村弓	54 喜びの歌	ベートーベン
12 レット・イット・ゴー ～ありのままで～	K.アンダーソン、 R.ロペス	55 ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
13 アンダー・ザ・シー	A.メンケン	56 天国と地獄	オッフエンバック
14 ミッキーマウスマーチ	J.ドッド	57 新世界より「家路」	ドボルザーク
15 小さな世界	シャーマン兄弟	58 エンターティナー	ジョプリン
16 ビビディバビディブー	マーク・デイヴィッド 他2名	59 メヌエット ト長調	バッハ
17 ハイホー	F.チャーチル	60 花のワルツ	チャイコフスキー
18 星に願いを	L.ハーライン	61 スケートーズワルツ	ワルトトイフェル
19 狼なんかこわくない	F.チャーチル	62 美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス
20 チムチムチェリー	シャーマン兄弟	63 闘牛士の歌	ビゼー
日本の歌		64 ピチカートポルカ	ヨハン・シュトラウス
21 春が来た	岡野貞一	65 ブラームスの子守歌	ブラームス
22 さくら さくら	日本古謡	66 ワシントンポストマーチ	スーザ
23 ふるさと	岡野貞一	67 アメリカンパトロール	ミーチャム
24 七つの子	本居長世	68 眠りの森の美女	チャイコフスキー
25 かたつむり	文部省唱歌	69 ガボット	ゴセック
26 虫のこえ	文部省唱歌	70 軍隊行進曲	シューベルト
27 もみじ	岡野貞一	71 ジムノペディ 1番	サティ
28 タヤけこやけ	草川信	72 前奏曲 作品28-7	ショパン
29 ゆき	文部省唱歌	73 皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス
30 ひらいたひらいた	わらべうた	74 メープルリーフラグ	ジョプリン
31 かくれんぼ	下総皖一	75 双頭のわしの旗のもとに	ワーグナー
アメリカン・クラシック/世界の民謡		76 びっくりシンフォニー	ハイドン
32 聖者の行進	アメリカ民謡	77 凱旋行進曲	ヴェルディ
33 おじいさんの古時計	アメリカ民謡	78 エリーゼのために	ベートーベン
34 リパブリック賛歌	アメリカ民謡	79 アヴェマリア	シューベルト
35 アルプス一万尺	アメリカ民謡	80 ハバネラ	ビゼー
36 線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡	81 ジプシーの歌	ビゼー
37 10人のインディアン	アメリカ民謡	82 未完成交響曲	シューベルト
38 わらの中の七面鳥	アメリカ民謡	83 結婚行進曲	メンデルスゾーン
39 森のくまさん	アメリカ民謡	84 婚礼の合唱	ワーグナー
40 ゆかいな牧場	アメリカ民謡	クリスマス曲	
41 ケンタッキーの我が家	フォスター	85 おめでとうクリスマス	イギリス民謡
42 故郷の人々	フォスター	86 ジングルベル	ピアポント
43 草競馬	フォスター	87 もろ人こぞりて	賛美歌
44 ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡	88 きよしこの夜	グルーバー

5. リズム一覧

ビート	No.	リズム
8ビート	1	8ビート1
	2	8ビート2
	3	8ビート3
	4	ポップ1
	5	ポップ2
	6	ポップ3
	7	ポップ4
	8	ポップ5
	9	ポップ6
	10	ライドビート1
	11	ライドビート2
	12	ダンスポップ1
	13	カントリーポップ
	14	スムーズビート
	15	リムビート
8ビートロック	16	モダンロック1
	17	モダンロック2
	18	モダンロック3
	19	モダンロック4
	20	ポップロック
	21	ライドロック
	22	ジャズロック
	23	サーフロック
16ビート	24	16ビート
	25	インディーポップ1
	26	アシッドジャズ1
	27	ライドビート3
	28	ダンスポップ2
	29	ダンスポップ3
	30	ダンスポップ4
	31	ダンスポップ5
	32	ダンスポップ6
	33	ダンスポップ7
	34	ダンスポップ8
	35	インディーポップ2
36	ケイジャンロック	
8ビートバラード	37	ポップバラード1
	38	ポップバラード2
	39	ポップバラード3
	40	ロックバラード1
	41	ロックバラード2
	42	スロージャム
	43	6/8 R&Bバラード
	44	トリプレットバラード1
	45	トリプレットバラード2
16ビートバラード	46	16バラード1
	47	ダンスバラード1
	48	ダンスバラード2
	49	ダンスバラード3
	50	エレクトロポップ

ビート	No.	リズム
16ビートダンス	51	16バラード2
	52	モダンポップバラード
	53	ダンス1
	54	ダンス2
	55	ダンス3
	56	ディスコ
	57	テクノ1
	58	テクノ2
16ビートスウィング	59	16シャフル1
	60	16シャフル2
	61	16シャフル3
	62	アシッドジャズ2
	63	アシッドジャズ3
	64	ニュージャックスウィング
	65	モダンダンス
8ビートスウィング	66	インディーポップ3
	67	スウィングビート
	68	モータウン
	69	カントリー2ビート
	70	ブギ
トリプレット	71	8シャフル1
	72	8シャフル2
	73	8シャフル3
	74	ダンスシャフル
	75	トリプレット1
	76	トリプレット2
	77	トリプレットロック
	78	レゲエ
ジャズ	79	H.H. スウィング
	80	ライドスウィング
	81	ファスト4ビート
	82	アフロキューバン
	83	ジャズボッサ
	84	ジャズワルツ
	85	5/4スウィング
ラテン/ワールド	86	H.H. ボサノバ
	87	ライドボサノバ
	88	ビギン
	89	ルンバ
	90	チャチャ
	91	マンボ
	92	サンバ
	93	サルサ
	94	メレンゲ
	95	タンゴ
	96	ハバネラ
	97	ワルツ
	98	ラグタイム
	99	マーチ
	100	6/8マーチ

6. 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
Piano1				
SK-EX コンサートグランド	1	1	121	0
EX コンサートグランド	2	1	95	27
SK-5 グランドピアノ	3	1	95	30
ジャズ グランド	4	1	121	1
ジャズ グランド 2	5	1	95	32
メロー グランド	6	1	121	2
メロー グランド 2	7	1	95	29
スタンダード グランド	8	1	95	16
Piano2				
ポップ グランド	9	1	95	28
ポップ グランド 2	10	1	95	31
ポップ ピアノ	11	2	95	10
スタジオ グランド	12	1	95	17
アップライト ピアノ	13	1	95	25
モダン ピアノ	14	2	121	0
ブギウギ ピアノ	15	1	95	33
ホンキートンク ピアノ	16	4	121	0
Electric Piano				
クラシック エレクトリック ピアノ	17	5	121	0
60's エレクトリック ピアノ	18	5	121	3
モダン エレクトリック ピアノ	19	6	121	0
クラシック エレクトリック ピアノ 2	20	5	121	1
クラシック エレクトリック ピアノ 3	21	5	95	1
クリスタル エレクトリック ピアノ	22	6	95	1
モダン エレクトリック ピアノ 2	23	6	121	1
モダン エレクトリック ピアノ 3	24	6	121	2
Organ				
ジャズ オルガン	25	18	121	0
ブルース オルガン	26	17	121	0
バラード オルガン	27	17	95	5
ゴスペル オルガン	28	17	95	3
ドローバー オルガン	29	17	95	1
ドローバー オルガン 2	30	17	95	2
ドローバー オルガン 3	31	18	121	2
ドローバー オルガン 4	32	17	121	3
チャーチ オルガン	33	20	121	0
ディアパソン	34	20	95	7
フルアンサンブル	35	21	95	1
オクターブ ディアパソン	36	20	95	6
ティピア オルガン	37	20	95	17
オクターブ プリンシパル	38	20	95	24
プリンシパル コーラス	39	20	95	23

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
バロック オルガン	40	20	95	19
ソフト ディアパソン	41	20	95	45
ソフト スtringス	42	20	95	41
メロー フルート	43	20	95	48
ミディアム アンサンブル	44	20	95	42
ラウド アンサンブル	45	20	95	43
ブライト アンサンブル	46	20	95	47
フルオルガン	47	20	95	44
リード アンサンブル	48	20	95	46
Harpsi & Mallets				
ハーブシコード	49	7	121	0
オクターブハーブシコード	50	7	121	1
ビブラフォン	51	12	121	0
クラビ	52	8	121	0
マリンバ	53	13	121	0
チェレスタ	54	9	95	1
ハーブシコード 2	55	7	121	3
スプリット ベル	56	15	95	5
Strings				
スロー スtringス	57	45	95	1
シンセ スtringス	58	49	95	8
メロー スtringス	59	49	95	1
String アンサンブル	60	49	121	0
メロー オーケストラ	61	50	95	1
スモール スtringス	62	49	95	14
ハーブ	63	47	121	0
ピチカート	64	46	121	0
Vocal & Pad				
クワイア	65	53	121	0
ポップ ボーカル	66	54	95	39
ポップ ボーカル 2	67	54	95	40
クワイア 2	68	54	95	53
ジャズ ボーカル	69	54	95	2
ポップ ボーカル 3	70	54	95	7
スロー クワイア	71	53	95	2
ブレス クワイア	72	53	95	1
ファンタジー	73	89	121	0
ファンタジー 2	74	100	121	0
ファンタジック クワイア	75	92	121	1
ファンタジー 3	76	101	95	1
ファンタジー 4	77	89	95	2
ファンタジック ブラス	78	62	95	2
コスミック パッド	79	93	121	0
コスミック パッド 2	80	90	95	1

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
Bass & Guitar				
ウッド ベース	81	33	121	0
エレクトリック ベース	82	34	121	0
フレットレス ベース	83	36	121	0
ウッドベース & シンバル	84	33	95	1
エレクトリック ベース & シンバル	85	34	95	2
バラードギター	86	26	95	6
ピックナイロンギター	87	25	95	3
フィンガーナイロンギター	88	25	95	4
MIDI Tones				
ロック ピアノ	—	2	121	1
エレクトリック グランド	—	3	121	0
エレクトリック グランド 2	—	3	121	1
ワイドホンキートンクピアノ	—	4	121	1
クラシック エレクトリック ピアノ 4	—	5	121	2
レジェンド エレクトリック ピアノ	—	6	121	3
フェイズ エレクトリック ピアノ	—	6	121	4
ワイド ハープシコード	—	7	121	2
シンセ クラビ	—	8	121	1
チェレスタ	—	9	121	0
グロッケン	—	10	121	0
ミュージックボックス	—	11	121	0
ワイド ビブラフォン	—	12	121	1
ワイド マリンバ	—	13	121	1
シロホン	—	14	121	0
チューブラベル	—	15	121	0
チャーチベル	—	15	121	1
カリヨン	—	15	121	2
ダルシマー	—	16	121	0
ドローパー オルガン 5	—	17	121	1
60's オルガン	—	17	121	2
パーカス オルガン	—	18	121	1
ロック オルガン	—	19	121	0
チャーチ オルガン 2	—	20	121	1
チャーチ オルガン 3	—	20	121	2
リード オルガン	—	21	121	0
パフ オルガン	—	21	121	1
フレンチ アコーディオン	—	22	121	0
アコーディオン	—	22	121	1
ハーモニカ	—	23	121	0
タンゴアコーディオン	—	24	121	0
ナイロンギター	—	25	121	0
ウクレレ	—	25	121	1
ナイロンギター 2	—	25	121	2

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
ナイロンギター 3	—	25	121	3
フォークギター	—	26	121	0
12ゲンギター	—	26	121	1
マンドリン	—	26	121	2
フォークギター 2	—	26	121	3
ジャズギター	—	27	121	0
ペダルスチール	—	27	121	1
エレクトリックギター	—	28	121	0
エレクトリックギター 2	—	28	121	1
リズムギター	—	28	121	2
ミュートギター	—	29	121	0
カッティングギター 2	—	29	121	1
エレクトリックギター 3	—	29	121	2
カントリー リードギター	—	29	121	3
オーバードライブギター	—	30	121	0
ダイナミックオーバードライブ	—	30	121	1
ディストーションギター	—	31	121	0
ディスト フィードバック	—	31	121	1
ディストリズム	—	31	121	2
エレクトリックギターハーモニクス	—	32	121	0
ギター フィードバック	—	32	121	1
フィンガースラップベース	—	34	121	1
ピックベース	—	35	121	0
スラップベース	—	37	121	0
スラップベース 2	—	38	121	0
シンセベース	—	39	121	0
ウォームシンセベース	—	39	121	1
シンセベース 3	—	39	121	2
クラビベース	—	39	121	3
ハンマーベース	—	39	121	4
シンセベース 2	—	40	121	0
シンセベース 4	—	40	121	1
ラバーベース	—	40	121	2
アタックベース	—	40	121	3
バイオリン	—	41	121	0
スローバイオリン	—	41	121	1
ビオラ	—	42	121	0
チェロ	—	43	121	0
コントラバス	—	44	121	0
トレモロストリングス	—	45	121	0
ケルティックハーブ	—	47	121	1
ティンパニー	—	48	121	0
ストリングス & ブラス	—	49	121	1
60's ストリングス	—	49	121	2

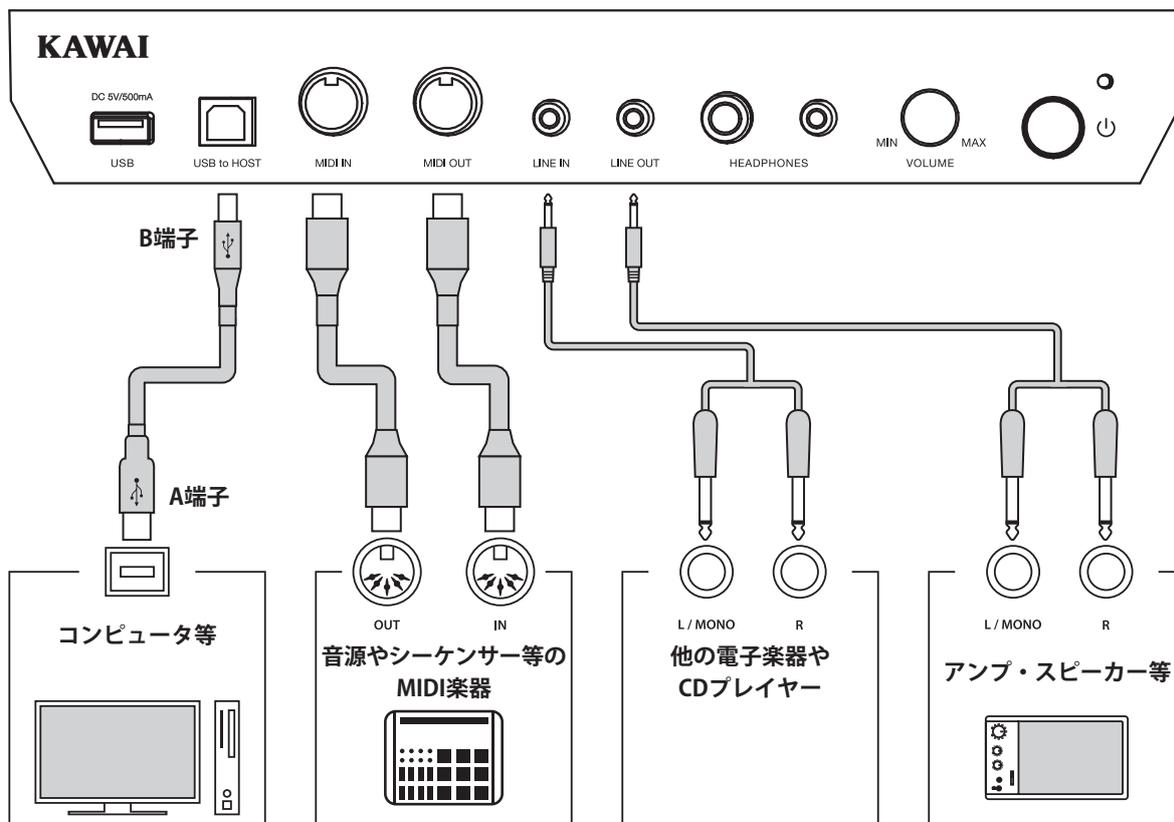
音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
ストリング アンサンブル 2	—	50	121	0
シンセ スtringス	—	51	121	0
シンセ スtringス 3	—	51	121	1
シンセ スtringス 2	—	52	121	0
クワイア 3	—	53	121	1
ボイス ウー	—	54	121	0
ハミング	—	54	121	1
シンセ ボーカル	—	55	121	0
アナログ ボイス	—	55	121	1
オーケストラ ヒット	—	56	121	0
ベース ヒット プラス	—	56	121	1
6th ヒット	—	56	121	2
ユーロ ヒット	—	56	121	3
トランペット	—	57	121	0
ソロ トランペット	—	57	121	1
トロンボーン	—	58	121	0
トロンボーン 2	—	58	121	1
ブライ トロンボーン	—	58	121	2
チューバ	—	59	121	0
ミュート トランペット	—	60	121	0
ミュート トランペット 2	—	60	121	1
フレンチ ホルン	—	61	121	0
ウォーム フレンチ ホルン	—	61	121	1
ブラス セクション	—	62	121	0
ブラス セクション 2	—	62	121	1
シンセ ブラス	—	63	121	0
シンセ ブラス 3	—	63	121	1
アナログ ブラス	—	63	121	2
ジャンプ ブラス	—	63	121	3
シンセ ブラス 2	—	64	121	0
シンセ ブラス 4	—	64	121	1
アナログ ブラス 2	—	64	121	2
ソプラノ サックス	—	65	121	0
アルト サックス	—	66	121	0
テナー サックス	—	67	121	0
バリトン サックス	—	68	121	0
オーボエ	—	69	121	0
イングリッシュ ホルン	—	70	121	0
バスーン	—	71	121	0
クラリネット	—	72	121	0
ピッコロ	—	73	121	0
フルート	—	74	121	0
リコーダー	—	75	121	0
パンフルート	—	76	121	0

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
ブローボトル	—	77	121	0
シャクハチ	—	78	121	0
ホイッスル	—	79	121	0
オカリナ	—	80	121	0
スクエアリード1	—	81	121	0
スクエアリード2	—	81	121	1
サイン	—	81	121	2
クラシックシンセ	—	82	121	0
クラシックシンセ2	—	82	121	1
リードオルガン	—	82	121	2
クラシックシンセ3	—	82	121	3
シーケンスアナログ	—	82	121	4
カリオペ	—	83	121	0
チフ	—	84	121	0
チャラング	—	85	121	0
ワイアーリード	—	85	121	1
ボイスリード	—	86	121	0
フィフスリード	—	87	121	0
ベース & リード	—	88	121	0
ソフトワイアーリード	—	88	121	1
ウォームパッド	—	90	121	0
サインパッド	—	90	121	1
ポリシンセ	—	91	121	0
クワイアパッド	—	92	121	0
メタリックパッド	—	94	121	0
ハロパッド	—	95	121	0
スィープパッド	—	96	121	0
レインパッド	—	97	121	0
サウンドトラック	—	98	121	0
クリスタル	—	99	121	0
シンセマレット	—	99	121	1
ブライトネス	—	101	121	0
ゴブリン	—	102	121	0
エコーズ	—	103	121	0
エコーベル	—	103	121	1
エコーパン	—	103	121	2
サイエンスフィクション	—	104	121	0
シタール	—	105	121	0
シタール2	—	105	121	1
バンジョー	—	106	121	0
シャミセン	—	107	121	0
コト	—	108	121	0
タイショウゴト	—	108	121	1
カリンバ	—	109	121	0

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
バグパイプ	—	110	121	0
フィドル	—	111	121	0
シャナイ	—	112	121	0
ティンクルベル	—	113	121	0
アゴゴ	—	114	121	0
スチールドラム	—	115	121	0
ウッドブロック	—	116	121	0
カスタネット	—	116	121	1
タイコ	—	117	121	0
コンサートバスドラム	—	117	121	1
メロディック タム	—	118	121	0
メロディック タム 2	—	118	121	1
シンセドラム	—	119	121	0
リズム ボックス タム	—	119	121	1
エレクトリックドラム	—	119	121	2
リバーズシンバル	—	120	121	0
ギターフレットノイズ	—	121	121	0
ギターカッティングノイズ	—	121	121	1
ウッドベーススラップ	—	121	121	2
プレスノイズ	—	122	121	0
フルートキークリック	—	122	121	1
ナミ	—	123	121	0
アメ	—	123	121	1
カミナリ	—	123	121	2
カゼ	—	123	121	3
オガワ	—	123	121	4
アワ	—	123	121	5
トリ	—	124	121	0
イヌ	—	124	121	1
ウマノヒツメ	—	124	121	2
トリ 2	—	124	121	3
デンワ	—	125	121	0
デンワ 2	—	125	121	1
ドア	—	125	121	2
ドア 2	—	125	121	3
スクラッチ	—	125	121	4
ウインドチャイム	—	125	121	5
ヘリコプター	—	126	121	0
カーエンジン	—	126	121	1
カーストップ	—	126	121	2
カーパス	—	126	121	3
カークラッシュ	—	126	121	4
サイレン	—	126	121	5
キシヤ	—	126	121	6

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
ジェットキ	—	126	121	7
ウチュウセン	—	126	121	8
バーストノイズ	—	126	121	9
ハクシュ	—	127	121	0
ワライゴエ	—	127	121	1
サケビゴエ	—	127	121	2
パンチ	—	127	121	3
シンゾウ	—	127	121	4
アシオト	—	127	121	5
ジュウセイ	—	128	121	0
マシンガン	—	128	121	1
レーザーガン	—	128	121	2
バクハツ	—	128	121	3
ポップセット	—	1	120	0
バラードセット	—	9	120	0
パワーセット	—	17	120	0
エレクトロニックセット	—	25	120	0
アナログセット	—	26	120	0
ジャズセット	—	33	120	0
ブラシセット	—	41	120	0
オーケストラセット	—	49	120	0
SFXセット	—	57	120	0

7. 他の機器との接続



- ・他の機器と接続する時はAURESの電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行くとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働きAURESの音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直してください。
- ・AURESのラインイン (LINE IN) とラインアウト (LINE OUT) を直接ケーブルで接続しないでください。発振音が発生し、故障の原因になります。

1. LINE OUT (ライン出力端子) ＜ミニステレオジャック＞

AURESの音を他の外部機器 (アンプ、ステレオ) などで聴いたり、外部機器に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは本体のボリューム (P. 13) で調節できます。

3. MIDI (ミディ)

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

2. LINE IN (ライン入力端子) ＜ミニステレオジャック＞

他の電子楽器やCDプレイヤーなどの音を聴きたいときは、その出力端子とこの端子を接続します。音量調節は接続した機器で調節するか、「ラインインレベル」 (P. 142) を利用して調整してください。

また、ラインイン端子には過大入力が入らないようにご注意ください。常識を超える過大入力に対しては故障の原因になりますのでご注意ください。

4. USB端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータ側はA端子、AURES側はB端子でそれぞれ接続します。

■ USBドライバーについて

コンピュータとAURESをUSB接続してデータをやりとりするためには、AURESを正しく動作させるためのソフトウェア (USB-MIDIドライバー)がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows XP (SPなし, SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 Windows 7 64-bit Windows 8 Windows 8 64-bit Windows 8.1 Windows 8.1 64-bit Windows 10 Windows 10 64-bit	Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとしてWindows XP / XP 64bitの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bit / 8 / 8 64-bit / 8.1 / 8.1 64-bit / 10 / 10 64-bitの場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista (SPなし)	指定の専用USB-MIDIドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vistaの場合は必ずXP互換モードでインストールしてください。 http://www.kawai.jp/download/ <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバーの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit (SPなし)	USB-MIDIをサポートしておりません。SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9以前のMacintosh	OS9以前のMacintoshにはサポートしておりません。市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

■ iPadについて

AURESはiPadと接続し、楽器に対応したiPadアプリケーションを使ってお楽しみいただけます。

ご使用前に、下記のカワイホームページよりiPad、各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。

<http://www.kawai.jp/>

■ USBに関するご注意

MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。ただし、Bluetooth MIDIでスマートデバイスと接続されている場合、Bluetooth MIDIが優先されます。

AURESとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからAURESの電源を入れてください。

AURESとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

AURESとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

下記の動作中、AURESの電源オン / オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやAURESの動作が不安定になる場合があります。

「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」

お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

※ "MIDI"は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

※ Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

※ MacintoshとiPadは、Apple Inc.の登録商標です。

※ その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※ MIDI : Bluetooth (Ver4.0 GATT対応) / Bluetooth Low Energy MIDI Specificationに準拠。

※ Audio : Bluetooth (Ver3.0)

■ Bluetoothに関するご注意

Bluetooth機能が使用する2.4GHz帯は、さまざま機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

本製品は常にBluetooth接続が待機状態になっております。複数のBluetooth対応機器がある場合は、接続したい機器以外のペアリングに注意してください。

8. AURES仕様

ハンマーセンサー	IHSS(Integrated Hammer Sensing System)非接触型光センサーシステム
音源	Pianist選択時: SK-EXレンダリング Sound選択時: HI-XL音源
同時発音数※	最大256音(音色により異なる)
音色	Pianist選択時: 1音色/10レンダリングキャラクター Sound選択時: 88音色 (P.31参照)
ディスプレイ	800×480dot カラー液晶タッチパネル
効果	Pianist選択時: レゾナンスデプス(10段階)、アンビエンス(10種)、アンビエンスデプス Sound選択時: リバープ(6種)、コーラス3種、ディレイ3種、トレモロ3種、オートパン2種、フェイザー2種、ロータリー6種、コンビネーション5種、トーンコントロール
レッスン	全377曲(練習曲:357曲、指のトレーニング:20曲)
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子、リズム100種類
内部レコーダー	Pianist選択時: 1パート×3ソング 10分/曲 ※MP3形式/USBメモリーへの保存不可 Sound選択時: 2パート×10ソング、総記憶音数 約90,000音 ※内部フォーマット形式
USBレコーダー	再生:MP3(ビットレート:8k~320kbps, サンプル周波数:44.1kHz, 48kHz, 32kHz),WAV(44.1kHz, 16bit), SMF, KSO(内部ソングファイル) レコーダー録音:MP3(ビットレート:256kbps固定, サンプル周波数:44.1kHz), WAV(44.1kHz, 16bit)
ラインイン録音	対応
デモ曲	全39曲
ピアノミュージック	全29曲
コンサートマジック	全88曲
コンサートチューナー	Pianist選択時: タッチカーブ、ボイスイング、ダンパーノイズ、キーアクションノイズ、ハンマーディレイ、ミニマムタッチ、88鍵ボリューム、ハーフペダルポイント、ソフトペダルデプス Sound選択時: タッチカーブ、ボイスイング、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、ストリングレゾナンス、開放弦レゾナンス、キャビネットレゾナンス、キーオフエフェクト、キーアクションノイズ、ハンマーディレイ、大屋根の開閉、ディケイタイム、ミニマムタッチ、ストレッチ/ユーザーチューニング、音律の設定、音律の主音の設定、88鍵ボリューム、ハーフペダルポイント、ソフトペダルデプス
キートランスポーズ	-12~+12半音
ソングトランスポーズ	-12~+12半音
オートパワーオフ	オフ、15分、60分、120分
ヘッドホン機能	スペシャルヘッドホンサウンド、ヘッドホンタイプ、ヘッドホンボリューム
その他機能	Pianist選択時: トーンコントロール、スピーカーボリューム、ラインインレベル、ウォールEQ、LCDコントラスト、ファクトリーリセット、MIDI設定機能、Bluetooth設定機能、フェイバリット Sound選択時: デュアル、スプリット、4ハンズ(連弾演奏)、トーンコントロール、スピーカーボリューム、ラインインレベル、ウォールEQ、チューニング、ダンパーホールド、LCDコントラスト、ファクトリーリセット、MIDI設定機能、Bluetooth設定機能、フェイバリット
ペダル	ダンパー(ハーフペダル対応)、ソフト、ソステヌート
キーカバー	回転式
外部記憶	USBメモリー
外部端子	ヘッドホン(2)、MIDI(IN, OUT)、LINE OUT(L/MONO,R)、LINE IN-LINE INボリューム付、USB to HOST、USB to DEVICE
無線接続	Bluetooth Audio、Bluetooth MIDI
響板加振システム	中低音域用2基、高音域用2基
定格電圧	AC100V, 50 / 60Hz
消費電力	58 W
同梱品	ヘッドホン/ACアダプタ(PS-241) / 取扱説明書(本書) / クラシカルピアノコレクション(楽譜集)

※ デジタル音源そのものの性能を表現する数値であり、すべての音色で同時発音数を保証するものではありません。

MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1～16	1 1～16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード1 モード1,3** ×	** 電源ON時オムニオン。 MIDIチャンネル設定操作 によりオムニオフ。
ノートナンバー	音域	21 - 108* *****	0 - 127 0 - 127	* 9-120 トランスポーズを 含む。
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ ×	○ ×	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	0,32 7 10 11 64 66 67	○ × × × ○(右ペダル) ○(左ペダル) ○(左ペダル)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト ボリューム パンポット エクスプレッション ダンパー ソステヌートに設定可能 ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○(0 - 127) *****	○(0 - 127)	
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × × ×	○ ○(123～127) ○ ×	
備考				

モード1:オムニオン、ポリ モード2:オムニオン、モノ
 モード3:オムニオフ、ポリ モード4:オムニオフ、モノ

○:有り
 ×:無し

株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地

<http://www.kawai.co.jp/>

■ お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用ください。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

◆お客様サポート・お問合せフォーム

<http://www.kawai.jp/> より「お客様サポート」へお進み
ください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。